

# 産児調節問答

山本宣治

## 其一 時期と性病予防薬

〔客〕あなたは、医師相手に色々な避妊法の批判を試みて、銘々其理屈はもつともらしいが、其実行に際してそれぞれ特別な欠陥や困難を具えて居り、一つとしてそれ自身確實だと断言できぬと、結論されたと聞き及びましたが、一体本当の事ですか。

〔主〕東京・京都両帝大や其他各所での講演で、實際そう申しました。

〔客〕もし確實な法が無いのに、大多数の素人共が信じてる様に、辛苦万苦して自分で工夫したり、或は所謂性慾学大家の高価な本を買込み其中の○○○○という風なドッサリな伏字を考え物、宝探しの様に探偵式の頭を働かせて判じ読みしたり、或は恥ずかしい思いをして薬屋の店先で何かをつかんで、兼ねて用意の金を其場へおくや否や後をも見ずに逃げ帰ったり、色々もがいた末に得た策にひたすら依頼して居るならば、その結果思わぬ不幸、思わぬ悲劇にぶつかって、しまいに無分別にもあたら尊い人命を棄てる迄に到る者もなきにしもあらずと信じます。

### 安全期の法と哺乳継続

〔主〕お説の通りです。現に欧米諸国では、子をうんだ後できるだけ長く母乳をのませ、乳離れを精々おそくさせると、其間妊娠せぬと信ずる人も多く、現代のイギリスでも、メリー・シャルリーブという女医の所謂大家の如きは、産児調節を罪惡視してストープス女博士にガミガミかみついて居る癖に、万やむ

を得ずんば此母乳給与延引による避妊法によるも可なり、なぞと申しておりますが、こんな事は何事も猥褻わいせつよばわりの表看板だけで押通そうとあせる旧式なイギリスの老人なら信ずるかも知れませぬ。併し乍しから我日本のように家屋の構造や平生の暮らし方考え方が、少しあけはなしすぎる程の国柄では、赤ん坊に乳をのましており、まだ月経も始まらない中に早、おなかに子を宿してるといふ年子の実例なんか、ウジャウジャ眼前にあるのですから、いくら西洋崇拜の人でもそんなイギリス式「吉岡弥生女史」に信頼する人はありますまい。

なおそんな頑固な連中の多いイギリスでは、あまり産児調節の実行に対する要求が盛んなので、今迄そんな「神のみこころにそむく行為」を厳禁して居たアングリカン教会即ちカンターベリーやウエストミンスターの大僧正をとりまきとし、イギリス国王を管長とした堂々たる国教会迄が、人工の器具薬品を用いる事だけが自然冒瀆ぼうとくであり、其他これ迄の「自然の成行き」を少し許り加減するやり方、たとえば前申した哺乳継続や、次に中す「安全期」による避妊の試みは、信者達に於て行つても差支えがないと申し出すぐらいに讓歩した程です。

所でその「安全期」の法というのは、つまり月経が始まってから数えて約十日余りは妊娠の「おそれある危険期」だから、其間だけ差控さしひかえて、其後に夫婦の道を全うまっとうすれば、「自然を冒瀆ぼうとくもせず」又多産の苦から貧乏人を救うことができるという触れだしなのですが、元来その坊様達の「安全期」(セーフ・ピリオド)という文句からして、随分人を馬鹿にしたものですね。

およそ物事を調べるに学者は、便利上ものに区切りをつけますが、たとえば歴史上織田・豊臣時代と徳川時代とどこでわけけるか、或は日常生活の事で昼と夜とを何時しきるか、さてそのギリギリの境目のそば

迄押詰めると何だか話が分らぬようになります。それで理学博士丘浅次郎氏が論文集『煩悶と自由』にも詳しく申された通り、自然界にしても人間社会でも、差別はあるが境界が無いという事は、どこにでもあてはまります。そこで唯今考えて居る調節にしても、その「危険期」と「安全期」との間に丁度芝居の幕が引かれる時みたいに、チョンと拍子木、それからスーッとたぐった後の舞台面のように、キツパリ段がつくものでありません。

個人銘々の身体の変化に、こういう風に境界が地図の上の国々のように、キツパリ存在するわけでもありません。なお其上に人間の身体はセルロイドの人形の如く、百人が百人皆寸分違わぬ様なできばえでもなく、皆少々大きさや形も違い、従つて其働きも多少銘々違います。それで今申すような、月経後の後半月に於ても亦妊娠が起る人もある。ただ妊娠の率が割合少なくなるという統計的予想だけをいうて居るにすぎないので、その所謂安全期に入つて後、縦横無尽に活躍しても大丈夫、安全だなどと大船にのつた心地で居て、そして凶らずも妊娠したとなると、随分色々な結果にも立到る次第です。

こういう風な無効に近い制限法を有効だというて、勿体らしく伝授しておけば、馬鹿でお人よしの素人共がひつかかる。それで少し邪推がすぎるようですが、子を産む事を拒む連中をペテンにかけて、子供を無理に産ませるのでは無いかとも考えられない事もあります。併しこんな筈ではなかつたと思つて居る親に産れる児の境遇は、決して理想的だと云えないのですから、どこの国のお上にしても、イギリスの国教会でも、無効と知り乍ら馬鹿な連中にうませるといふ様な、社会政策上危険極まる策、又道徳上から詐欺同然の不道徳を行うとしか考えられません。唯一部の当事者に生物学の新智識が欠けて居る為に、こんな善意からのあやまちに陥るのだらうと思ひます。

## 予防薬のききめ

〔客〕たしかでない法というので思い出しましたが、私の知人の中に、世間で盛んに売って居る性病予防薬を買い求め、其能書の片隅に小さく書きこんである「此薬を用いる時は、妊娠を妨げるおそれあるに就き使用者は特に注意せられたししの文句を信仰して、避妊薬として使うて居た所、予想に反して、玉の如き児を儲けたという話が、一箇所ならず、そこここにあります。一体それはどうしたわけなのですか。

〔主〕どうもこうもありません。性病予防と精子淘汰とは問題のケタが違います。むろん性病の病原体と精子とは大してケタの違わぬ微生物ですけれ共、病の予防なら双方の身体の接触した表面にいつもある目に見えぬこまかい傷口を保護し、其処や其附近に附着した微生物を殺せばいいのです。併し産児制限の方は表面につくもの丈でなく、女の体内に入った液の中に活躍して居る微生物悉くを少なくも麻酔させなければ、目的は達せられません。私の講演でおききになった通り、唯一回の射精量の中に三億乃至六千万の精子が居り、そして其中のたった一つだけがいき残って、滞り無く卵に達すればそれで完全に受胎する筈です。所で素人考えですれば、其全部を淘汰する為に十分な量を用いなければいだろうというのですが、併しそんな事をいうても消毒殺精は、セメントの床の上をブラシや竹箒で洗う様な粗雑なまねはできません。何しろ人体の中で最も大切な微妙な敏感な場所ですからね。内腔粘膜の表皮にしてもやはり精子や病原体と同じ生きて居る細胞ですから、其上皮をぶらついて居る生物を徹底的にやつつけければ、其余波は下へも及ぶわけです。

それで思い出した話ですが、性病予防の為に疑わしい性交のすぐ後ショーコー（昇汞。塩化第  
二水銀のこと）の水溶液で局部を洗へばいいという事をうろ覚えに思い出した青年が、何でもショーコーであればいいと思ひ、ど

こからか探してきた結晶をとけるだけ水にほりこみ、飽和溶液を整へ、之で洗うた所が局部の表皮が見る中に爛れて、遂に其部分の更始一新そして復興に立到ったそうです。消毒も徹底すれば元も子もやつけます。同居人と家主が小さい家に居る時、災難がふり掛ったら大概両方共に其難を免れないのと同じ事です。薬が弱ければ、手ぬかり目こぼしがあり、強すぎれば今申した様な難儀に陥る。忠ならんと欲すれば孝ならずとも申しますか、何しろ厄介な事です。

斯様な次第で、性病予防薬は却つて其主な目的に、「頭のいい悟りの早い」素人に用いられて居ますが、併し其人々の予期に反した結果に屢々立到った事は私の手元に多数の報告が参つて居ります。但し斯様な試みの後にうまれた児に何か其薬の悪影響はあるまいかと注意して見ましたが、中には弱い児があつても、それは親が弱いから弱いのであつて、必ずしも薬の悪影響ではなさそう、つまり大勢に就いて数を見れば、其薬はうまれる児の健康に害は及ぼして居ない。即ち情況不利なるにも拘らず、不撓不屈目的地に到達する程の活力を具えた精子こそ、受胎能力があるので、それ迄に弱り刀折れ矢つきるといふ風に衰弱したもので、到底生殖細胞として終りを全うする事もできまいとも、考えられる次第です。

〔客〕それでは、大多数の予防薬は有害ではないが、まず可もなし不可もなしという事に帰するのですか。  
 〔主〕まあそうです、併しそういうのは産児制限の見地から万全を期した場合のいい種です。つまり学者の気難しい注文なのですが、性衛生の立場から早速急場のこととして、そう悪口はいえませんが、なぞといえ、新しく処女から妻となつた人に於て、性病予防薬の必要は特に必要ですから、私はいつも新婚生活の初め数箇月ぜひ何か信用のできるものを新婦の側で用いる事を、すすめて居るのです。

## 花よめの性病予防策

〔主〕 一人人間の身体は初めてぶつかつた危険に対して割に抵抗力が乏しい。性病の病原体でも精子でも、一生を通じて最初の接触と同時にはいりこんだものは、易々<sup>やすやす</sup>と其所<sup>そこ</sup>に落着く事が多い。血清学の方で申すと、抵抗物質又は免疫素質がまだ準備せられて居ないからだといひ、世人の俗語で申せば「まだ慣れ<sup>な</sup>がつかぬ中」の事で、一般に病気に冒され易い。

現に過去に秘密をおさめて居る新夫から、純潔無垢の新婦に淋菌が移つた場合の如きは、数日ならずして新しく侵入した病原体が無数に繁殖して、血管内を血もろともに全身に渡り、毒素をこしらえては手足の節々を冒し、すぐ発熱と同時に足腰のたためわづらひになる。医者は急性淋毒性関節炎と名を下します。病の血統を知らぬ里方の方では、うちの娘も妻たるつとめもできぬ不束者<sup>ふつつかもの</sup>で申しわけがないなどと恐縮する。併し<sup>しか</sup>事の真相を詮索して見れば、本当に不届<sup>ふとど</sup>きな責任者は平左で居る夫たる事が多い。

〔産児調節評論〕 四号

所で誰も彼も花婿となる者が、過去の秘密の活動で体内に淋菌をひそめて居るとは申しませんが、まあ人を見たら泥棒と思へ、用心に如く<sup>し</sup>はなし、というたとえもあり、抵抗力の乏しい時期にはやはり之等の予防薬を用いて、以て万一の危険を予防する事が必要になります。

調節問答もまだこれから、「オナンに帰れ」などと笠<sup>べらぼう</sup>棒極まる問題など、また次にゆつくりお答えしましょう。

## 其二 「オナンに帰れ」

〔客〕 此前には避妊に有効であると暗に広告して居る薬の多数が、たとい性病予防の役に立つても、避妊には無効だというお説を承りましたが、つい此間『サンデー毎日』を見ましたら、「ナナンに帰れ」という事が労働者の中で簡單有効だと○○入りで書いてありました。一体それは何のことですか。

〔主〕 どうもあの記事は困ったものです。私も忙しい身ですから、そんな読物迄目を通さなかつた所、あちこちから盛んに「オナンに帰れ」とは何の事かと尋ねられ、其返事に閉口しております。問の数が多から小冊子でも書いてみたいけれど、問題ですから一般むきに徹底的に書けば筆禍を生ずるおそれがある。新聞あてに詰問書つきたを突出しても、紙屑籠かごにほりこまれて暗殺されかねない、というて、みすみす間違いだと知りつつ其ままにしておけないという実に面倒な事です。

〔客〕 どういう面倒か知りませんが、できる範囲内で詳しくくわ知らして下さい。

〔主〕 よろしい。では原文をよんで見て下さい。

〔客〕 本年（一九二五）二月十五日発行の『サンデー毎日』に諸名家を招待して結婚問題に関して色々所謂「御高見」を吐かせ、議論を戦わした中に、第十五頁の中段に次の様な問答があります。一字一句の修正もせず、よんで見ます。

石渡氏。社会国民の智識が向上すれば、産児制限が行はれて来ると思ひます。それが智識階級の人が講じて下層社会に於ておそれが無関心であります。

伊賀氏。下層社会には本当に教へてやらなければならぬと思ひます。

舟岡博士。それが現在の方法ですと幾分か材料がある、下層の人にはできない。それでオナンに帰れといふ事が最も良いと思ひます。オナンといふ事は私は知らないが、聖書に出てくるキリスト基督の弟子で、自分



の意に添はない嫂あによめと結婚したが、自分の子を産まさない、子を造らない目的で、大分話がなんですが……  
 ○○伏字(射)しない。女子と接触しても○○○伏字(射)しないで外に出すといふ方法を採用。近頃は労働社会で  
 オナニに帰れといふて○○○伏字(避)を奨励して居ります。産児制限のできないものには○○○伏字によつて産児制  
 限をする。さういうやうなこともあるといふから、さういふやうな完全な方法をもつと労働者階級の人に  
 知らせる、或はさういふ方法で問題が解決し、或は緩和されると思ひます。サンガーの方法だとか、い  
 ろう方法がありますが確かでない。

なお其座談会記事の初めに「医学博士舟岡省五氏は京大医学部で解剖学、組織学、発生学に没頭する青年学者ですが、実生活としての結婚問題に多大の興味を持つて出席されました」と紹介してあります。

〔主〕いかにも医学博士舟岡省五氏は京都帝国大学教授（医学部勤務）で、我国の解剖学の一家たる岳父鈴木文太郎博士の後をついで、京大解剖学教室に勤めておられます。特に断つておきますが、舟岡博士は主に解剖学者です。つまり素人しろうとにわかりやすく申せば、職務上屍体に就いての研究者であり、死人の骨と肉と殺した動物とに親しんでおられるけれ共ども、外来患者の脈を握つて見るとか健康上文句のある素人しろうとの身の上相談に答えるとか、生きた人間との交渉の割に少ない方です。但し近頃は二、三の雑誌の遺伝学研究の紹介並びに報告を試みておられますから、まんざら性学にも没交渉だとも申されません。

〔客〕所で先程一寸伺いますと、其記事に対してあなたは大変憤慨しておられる様ですが……。

〔主〕ささよう。笹棒べらぼうな記事だと思ひますが、扱さて誰に對して嘯みつく事もできぬ性質の笹棒べらぼうさです。——  
 というわけは、其記事は一読してもわかる通り、テニヲハがごたごたしていかにもナマデキの速記記事ら

しい。一体速記というものは、私自身度々その御厄介ごやっかいになつて経験しておる事ですが、あまり有能でない速記者にかかるると随分ひどい変化も致します。肯定が否定にかわる位の事は朝飯前、實際速記だからとて決して安心ができません。

それ故、其記事の「オナンに帰れ」の内容に文句があつても、舟岡博士に対しては抗議を申し込む事もできません。議会でも政府委員が新聞記事に關しては一切責任を負わぬというでしょう。あれです。我々は政治屋の真似ではありませんが、社会に一廉ひとかどの意見を吐く公人の身になつた上は、色んな記者が訪問記事や感想をかきます。それが大抵話す当人よりも聞いた方で勝手にかいてしまうのです。もつと露骨に申せば、訪問記事なんかは当人に会わずに勝手に書いた方がおもしろい報道ができるのです。

多少暗黒面に偏しすぎるようですが、そういう内幕を知る以上、果して舟岡博士がそういう事をいわれたか疑問です。だから、学者として論戦をするなら双方新しく學術誌上にかき下して明らかに自分の署名したもので以て、堂々とやるべき筈はず、そんな新聞記事に就ついて別段舟岡博士に対してとやかく云う必要はありません。

〔客〕 何にせよ「オナンにかえれ」とは、どんな事ですか。

〔主〕 「……」（約二、三分話しつつける）

〔客〕 なる程、そんな事ですか。そんな事なら「性慾研究」の本に〇〇入りでかいてある事でしょう。なぜあなたの雑誌に書かないのですか。

〔主〕 所がごらんの通り『産児調節評論』と堂々と看板をあげて。一般人に対する無条件啓蒙を目的とする此ような雑誌に対しては。特に当局の目が光りやすい。我々とても殊更ひやうけいに「前号発売禁止」などと悪

ラツな宣伝をしたくないから、できるだけ平地に波瀾を起さぬようぼつぼつ前進して居る次第です。齒がゆいように見えるかも知れませんが、暫く我慢して見て居て下さい。何も卑怯臆病からの躊躇でない事は、過去数年間の私の身のまわりの変化を見てもおわかりでしょう。

「客」そうきけば、なる程そうかなあとも思われます。併し私のようにあなたに直接に面会して問答できぬ地方の読者に対して、何とかしてそのオナン問題の真相を知らせませんか。

「主」さよう、丁度今私の手元にキリスト教の聖書があります。これを読んで見て下さい。聖書を引用したつて発売禁止になるきづかいはありますまいから……。場所は旧約聖書のズツト初めの方、天地開闢やノアの洪水の話もある例の創世紀、第三十八章を開いて、読んで下さい。

一当時ユダ兄弟を離れて下り、アドラム人、名はピラといふ者の近辺に天幕をはりしが、ニユダ、カナン人、名はシエアといふ者の女子を見、これをめとりてその所に入る。三彼はらみて男子をうみければ、ユダ其名をエルと名づく。四後再びはらみて男子をうみ、その名をオナンと名づけ、五又かさねて子をはらみ男子をうみ、其名をシラと名づく。此子をうみける時ユダはクジブにありき。六ユダ其長子エルの為に妻をむかふ、其名をタマルといふ。七ユダの長子エル、エホバの前に悪をなしたれば、エホバ之を死なしめたまふ。八ここにエダ、オナンに云ひけるは、汝の兄の妻の所にいたり、之をめとり、汝の兄をして子を得せしめよ。九オナン其子の己のものとならざる事を知りたれば、兄の妻の所に入りし時、兄に子を得せしめざらん為に、地にもらしたり。十かくなせし事エホバの目に悪しかりければ、エホバ彼をも死なしめたまふ。

〔主〕 どうです。此文句でおわかりになる通り、オナンという男はキリスト以前数千年前の人です。『サデー毎日』にあるキリストの弟子オナンなどは、足利尊氏の長子が和氣の清磨だと申すような滑稽な間違いです。併しそんな事は歴史の問題であり、産児調節の問題とは没交渉です。舟岡博士の記憶が間違うたか、大阪毎日新聞の速記の翻訳がチャンポラであったか、医学博士がバイブルの事を間違えたつて、人命に直接害がありますまい。又忙しい新聞社の仕事で此位の間違いがあつたとて、それは一笑に附していいでしょう。

所が殊によれば人命にも関るといふ様な問題が、其後にかいてあるのです。私が何と見ようとあなたはこの舟岡博士の意見を一体どう受けとりますか。

〔客〕 どうというわけもありません。たとえバイブルの智識が間違つて居ても、医学上の判断は医学博士の云う通り丸呑みするより、外に素人には仕方がありません。

〔主〕 そこであなたは、どういう風に丸呑みしたのですか。

〔客〕 つまりこう書いてある。オナン式「そういうような事もあるというから、そういうような完全な方法をもつと労働者階級の人に知らせる。或はそういう方法で問題が解決し、或は緩和されるかと思ひます」、この書き方は我々素人には、一寸わかりにくく、ごたごたして居るようであるけれ共、何しろ無産階級にとって完全な法であり、或は解決し、或は緩和される程に有効だと、博士が断案を下されたと、解しているでしょう。

〔主〕 それが困る。一体「オナン風」の名の中に暗示される方法は、どこの国でも独立に工夫され、そ

して別に特別な仕かけもいらぬ為に、どこでも実行されて居る避妊法なのですが、一向にその目的通りに効を奏しません。即ち前に書いた「安全期」の法と同じように、すこぶるアテにならぬ。その上に、そんな習慣を長く続けて居る時、夫の方は無難であるけれども、妻君の方がともすれば慢性のヒステリーに陥り易い。そのあてにならぬ程度は最近に米国の婦人科大家の寄りあいたるニューヨーク母体健康委員会の報告によれば、女子大学出の婦人との間の失敗率は一割三分、それから一般人で婦人健康相談所に来た女達の間では七割、米国の女医デーヴィスの調査では一割、英国のヘーアの調査は七割、つまり有識階級の間で割に効を奏しても、一般人の間ではまず百人が七十人迄は見込みにいなるという調べです。

〔客〕それでは此「オナン風」は、たとい医学博士舟岡氏が推奨されたとして、やはり駄目だというのですか。

〔主〕いかにもその通り、博士が幾十人いうたとして、結局あてにならぬという事は多数決できめるわけには行きませぬ。元来精子が体外に出るのは、男が明らかに意識して居るばかりでなく、猥本なぞを見てそそられた後の放尿の中にも顕微鏡で見れば、よく発見される位でありますから、それを保留しようとして懸念にガンばつたとて、やはり持主の知らぬ中に、泳ぎ出す事が多いらしい。斯様な次第ですから、そんな無効であり、なお又時によっては妻の健康に害を及ぼす様な事は、医学者の方から推奨される事は差控えて貰いたい。

〔客〕あれも之もいかぬというのですか。

### 其三 あてにならぬ避妊法

〔客〕これ迄伺つた事をざっとまとめて申せば、安全期の法、座薬の大抵のものの使用、それから「オナン風」、どれも皆あてにならぬものばかりだそうですが、それでは一体避妊法としてはあてになるのはどんな法なのですか。

私も忙しい素人なので、此素人にてつとり早くわかる様に、簡単に教えて下さい。

〔主〕そうせきこまれては困る。私とても、わざと思わせ振りで、あなた方をじらす積りではないけれど、此問題は素人の考える様に簡単な解決がつく位だったら、我々だって顕微鏡で精液をしらべたり、色々の濃度の薬液の中に入れ、温度や気圧をかせ精虫の寿命を測ったり、いろんな苦勞はせずにすむ筈なのです。一体毎日毎日私に宛てて、返信料封入で避妊法伝授の要求が何十通もとびこんでくるのですが、三銭の郵券をはった封書の中の返信だけで、要求者銘々の望みがかなうようなら、私も思い切つて一枚ずりのビラを沢山すらせて、それから飛行機を雇つて日本全国とび廻つて、それをまき散らせば問題はひと思いに解決する筈です。もしそれ程簡単なら研究も何もありません。私もそんな事で埒があく位なら廻りくどい地方行脚の講演や雑誌発行なんか馬鹿らしくてやるものですか。どうせ何らかの犠牲は避け難いのですから、何事も自分一身にひきかぶつて、ガツンとやりますね。

〔客〕いわば性的テロリズムですか。性智識普及にかけても、やはりテロリストはだめですか。

〔主〕そうですね。あらかじめ色々な条件が具わつて居たら、ヨーロッパ大戦（第一次世）みたいに、サラエボの町でピストル一発ズドンとやれば。全世界がドカンガラガラと大騒ぎが勃発します。併し一度兎に角おさまった後、いくらピストルや爆弾を持ってきたつて始まりません。オットまった、私共は政治論をしてると違ふ。そこで避妊法の講義でも、今あなたが専門の医学者で十分な予備智識を具えてある

と仮定して、そして要点をお話してみましよう。横文字なしにやりますよ、よく耳を澄まして聞いて下さい。できれば筆記したらいいでしょう、よござんすか。

(約三十分間、講義つづく)

〔主〕 どうです、その筆記を読み返して見て、何が書いてあるか、合点がてんが行きますか。

〔客〕 へへえ、どうもわかりません。一体輸卵管の、やれペッサリー、そらオルガスムだのと、横文字なしと約束しておき乍らなが、やはり横文字片仮名でしょう。それに輸卵管というのは、一体子宮のどつちにくつついて居るのですか。ミサンプとかケーサンプというのは、やはり横文字ですか。

〔主〕 いやどうもお気の毒です。専門学というものには、何しろ素人しらうとおどかしの術語が多いので、それを知った者には便利ですが、門外漢にはチンプンカンプンです。所であなたが、既に輸卵管は子宮にどう風につながって居るか、未産婦、経産婦という語は横文字でないかとか知っていられたら、今の三十分の話で、大体避妊術の事は卒業できる筈はずですが、結局暇つぶしてわからないという事を納得した丈だけですね。

〔客〕 まずそうですね。丁度ちやうどアインシュタインの相対性原理の通俗講演(一九三二年アインシュタインは出版社改造社の招きで来日し、各地で講演した)を聞かされた後の感じと同じ事で、結局わからないものだという事を呑込んだだけの事ですが、併ひか私共素人には結局わからぬものとあきらめて、避妊法を覚えようという望みはすてなければなりませんか。

〔主〕 いいえ、避妊法を知る必要のある人は誰でも知らねばなりません。又専門学者は、できるだけ簡明瞭に知らせなければなりません。ただ私のいう意味はこうです。生理解剖等の予備智識も無い人に、早速三銭郵券はりつけてお返事ができ、それで万事解決すると無造作に考えて居られると、大分あてが違

う、というわけを申して居るのです。

所で惜しむのではないから、あなたに分る様に徹底的にお話ししましょう。学者だったら三十分ですむ所ですが、術語の説明やイロハから始めるのですからよほど暇が掛る事だけは、あらかじめ覚悟しておいて下さい。

扱さて話に先立ちよつとって一寸尋ねます。あなたは男女の性的器官のくみたてカラクリを御存じですか、卵巣はどこにありますか、月経というのはどんな事か御承知ですか。

〔客〕いろいろな名前だけは新聞の売薬広告でなじみですけれ共ども、何がどう列つらなってるか、そんな事は中学校の生理衛生教科書にも書いてありません。月経というのは、女の体内から血液がでるとか、何でも物騒な事件らしいようですね。

〔主〕（苦笑しながら）大方おおたかそんな事だろうと思つた。併しかし世間の人の性智識は、大抵あなた位の所ですね。それでもまだ、月経というものは何でも赤いものじゃそうなど心得ておる位なら結構、丁度警官が社会主義、共産主義の名だけにおびえて、其語の内容も知らずに、何でも赤い物だ、こわい物だそうなど思ひ込んで居るように、月経の二字を見てさえその赤さに興奮する中学生や青年団員の多いのには困ります。扱さて余談は打切り、兎とに角かく避妊法を知る為には、第一に妊娠がどうして起るか、つまり妊娠の為の必要条件を知る事が先決問題ですから、まず妊娠の生理学から始めましょう。

（掛図数十枚を持来り、順々に壁に張りつけ、講義の続く事四時間余り）

〔主〕どうです。今度は大体おわかりでしょう。中々人間一人がうまれてくる手続だつて、学問研究の材料となれば、オギヤアオギヤア迄七面倒臭い説明がつくでしょう。



〔客〕 いや今度はよくわかりました。こんな話なら誰にきかせても為になり、『評論』にのせても別に発売禁止をくらう氣遣いきづかはありますまい。のせたらどうですか。

〔主〕 いずれ追つて「性教育講話」のつづきとして、のせる予定ですが、曲線や解剖図など図版を準備する都合上少し先の事になります。扱さつていよいよよからあてになる避妊法の話を致しましょう。

（妊娠生理の講義に用いた掛図に就いて説明、それから色々な器具の実物を出して講義わ凡そ二時間）

〔客〕 いやどうもありがとうございます。なる程此問題は郵券三銭がとこで、答えられぬわけですね。併しかし素人としての所感を露骨に告白しますと、今日は講義せめ説明せめで、うだつたせいか、あまり方法が多すぎて頭の中がゴタゴタして居り、雲をつかむような氣持です。又簡単という事を申しますが、もつと簡単に行きませんか。

〔主〕 私のつもりでは、できる丈だけ簡単に申したのですが、心残りのないように全部を一時にぶちまけたので、之迄秘密に附した事柄に食傷したのじゃありませんか。

も一度色んな方法に就ついて申します。方法は多いが、避妊を要求する人が、（一）男で女に知らそうとせぬ時、（二）女で男に知らせたくない時、（三）当事者双方共避妊を希望する時、斯か様な場合銘々めいめいに応じて別々の法がある。

なお又女で避妊を求める人が、（一）まだ分娩の経験がない（未産婦）、（二）既に分娩の経験がある（経産婦）かに従つて執るべき処置がかわつてくる。

こういう風に、多くある法を分けた上で、避妊の処置を必要とする当人にジカにあえば、何も話はゴタゴタする心配は無い筈はずです。

〔客〕 そう聞けば成程とも思いますが、大分予想外の処どもがあります。

〔主〕 一体どんな点が予想外ですか。

〔客〕 実は調節というものも、もつと無造作にできる事と思うて居たのです。つまり今聞いた方法の中で或ものは医師、産婆の世話になったり、或はその度毎たびごとに可成注意かなりを要する処置があるとか、或は相当に高価な薬品、器具、装置の用意が必要だとか、何にせよ予備智識や道具めんどうだてが面倒めんどうなのは、一寸驚きちよつとしました。どうかしてもつとアツサリとやれる法はありませんか。

〔主〕 そうそう簡単簡単と注文されても現今まだ発達の途中にある避妊術の中には、あなたの御注文通りの手軽な安上りのものではありません。

簡単で思いましたでしたが、インドから西はヨーロッパ諸国へ、東は支那を経て日本迄もつたえられた避妊法の一つに、その後には女は冷水をウンとのめば、目的を達するとあります。此頃はやりの「水をのむべし」が避妊に迄応用されたわけですが、冷水をのんだら下腹がひえて精子が死ぬだろうとのあて推量、しかし女の体内に入った精子を殺す程に下腹をひやそうと思えば、随分水をのまねばなりません。それだけのめば避妊の目的は兎とも角かど、通じがよすぎて下痢する事は確かです。

此冷水服用に關しても一つの笑話、東京の花柳界かりゆうかい（芸者や売春せいかんてん）の一部に伝えられたという法、事後に女が冷水をのみ腹ばいになり、臍下丹田せいかんてん（へソの下にあたる部分、ここに力を入れる）に力を入れてモツタイらしくエヘンといえ、雄性生殖細胞は全部体外に放逐されるそうなど、口伝えがあつたそうです。「水をのむべし……腹ばい……エヘン」主義で、避妊が完全に実現されたら、学者の研究も『産児調節評論』の発行も、又あなたの様な質問者の熱心も全く無用に帰するわけですね。

笑い話はさておき、簡単な技巧を要求する方の事情を考えて見ると、色々の問題があります。次にその簡単な法を要求する心理に就いて、よくお話ししたいものです。

『産児調節評論』六号

#### 其四 簡単な方法を求める人の心持

〔客〕色々の避妊法をきいた上で、私はもつと簡単な法を聞かせてくれとお頼みしたのですが、あなたの答の口振りでは、何だかその要求が素人の虫のよすぎる注文のように解して、水を飲んでからエヘンという余興まで持出して、私共のまじめな質問を冷かに掛つてるのは少々ならず癪にさわるのです。

一体私は工場労働者なのですが、いつも取扱う機械を見ても、少々作業能率の低い装置でも、簡単に頑丈でこわれ難く、又よしんばこわれてもすぐ修繕の利くようなものがどこまでも幅を利かせて居る。して又その方が複雑精巧で高価な機械よりも、のべつ能率が低くてエネルギーの損失が多くても、結局の算盤勘定では得なのです。交通機関でいくら飛行機や電気機関車やガソリン・モーターによる自動車が現れてきたとて、やはり蒸気機関車と鉄道がすたらぬ訳はそこにあります。

その理屈から割出して私共が、簡単な避妊法、つまり少々結果が不確かでも大体安上りで手軽くやれる法を要求するのが、なぜ虫がいいのですか。

〔主〕いや一々お説は尤もです。所で今あなたが「少々結果が不確かでも」といわれましたが、初めから不確かでもと覚悟の上なら既に前に批評した法はみんなそれです。例えばオナン風にしても、何も道具がいらぬから早速実行できる。併しききめは頗る不確かである上に、妻の健康に害があるから、之は絶対

におすすめ致し兼ねる。

次に、月経の始まってから約二週間は慎しんで、其後の半月に於て遺憾無く人生を楽しむという「安全期」の法、丁度「後の半年や寝て暮す」という歌の文句の通りだから、私は之を「デカンション式調節法」と名づけたが、之も亦道具がいらぬから至極安上り簡単である。不確かではあるが無害であるから、あなたが蒸気機関なみにそれにたよられても不都合は無い。

ただ特にお断りしておくべき事は、全くそれにたよらずに無制限な其日送りの生活に比べて、妊娠率は割に低くなるが、それでも全く有効ではない。即ち其効力は相対的にあるという丈で、絶対的なものではないという事を予め納得していたら、教える者も聞く者も其間に後でイザコザはない筈です。

こういう風に「割にきく丈で悉く目的通りには行きませぬぞ」とダメを押しておいても、人間という者は大抵虫のいい者ときまって居る。いつのまにやら自分の都合のいい方にこじつけて、俺の所だけは全く大丈夫だなぞ一人ぎめ、其あげくたまたま手ぬかりの為や其他の原因で、思惑通りに行かぬ事件が突発した時、急にヤイヤイ騒ぎ出す人も素人の中に多いのですから、念を入れて説明しておく必要があるのです。所がその「念には念を入れ」すぎると、又世人は誤解して、「たまには利かぬ事があるから万一の時の御用心」というたのをば、まるきり利かぬから行うなと申したようにとる事もあり、随分変な解釈をする人も多いのです。

〔客〕「変な解釈」というお話ですが、どういふわけですか、私もそういう感に打たれました。此法も利かぬ、そらあの法も利かぬ、利かぬ利かぬの話ばかりで、そんな利かぬ法ばかりなら、何も産児調節運動なぞと大きな看板をあげて宣伝する必要もあるまいと思うのですが、雑誌を売附けるので金儲けができ

るからやるのですか。

〔主〕大分手きびしい質問で恐縮です。世間には運動で売名や金儲けをやる人が多いのですから世間並にそうとられても仕方がないでしょう。併し外はいざ知らず、我評論社の同人を初め、事務経営の任に当る社員諸君に至る迄、憚り乍らプロレタリアの苦しみとものがきに附け込んで僅かばかりの金儲けをしようという風な、さもしい根性を持った者は一人だつてありません。皆誰も彼も自分自身の大仕事を控えて獅子奮迅の活動をして居る片手間です。だから労働総同盟が割れ掛けると、評論の印刷所にひびき、組合の離合や何かが関係して、雑誌の発行日なんか後れたつてそれ所でない。問題は社内インテリゲンチアに任せる外に仕様がなない。所が社内の智識階級にしても暇に苦しみカフエーにごろつく文学青年なんかは一人もない、或は学生として、或は教師としてコマ鼠の様に走り廻つて居る者ばかりだから、其連中だけでは思う様に事は運ばぬ。つい発送が遅れては読者に叱られ、月の二十日すぎに市場に出せばみすみす売れるとわかつて居るのに、一日すぎにならなければ売出せない。営業として実にお話にならぬ迂遠さです。

無論そんな訳ですから、金の儲かりそんな事は無い。同人諸君の拠金を仰ぐは勿論、ポケットの底をはたいて出すにしても高が知れて居る。資金の工面ができたなら、新聞広告もしたい、写真や図版を多く入れた通俗生物学講座ものせたい、注文は時々あつても先立つものがなないので、手も足も出せぬテイタラクです。有意義な社会事業に金を出したがつて居るお金持に、ちと紹介して呉れませんか。タダで呉れ、てな虫のいい事はいわない。十年据置で定期預金なみの利子を払いますから。

〔客〕オヤオヤこいつは驚いた。あなたはブルジョアの寄生虫、暇に苦しんだ拳句の生物学者だと思つ

て居たのに今の文句では頗るすこぶエゲツナイ商人ですな。まだ「何ぞボロイ事おまへんか」といわぬだけ丈が取柄だ。何しろ失業におびやかされている我々無産者に金の工面くめんを頼んだつて、仕方がない。金儲けかねもちもできず、雑誌で損する一方なら、あなたも学士様で元帝大講師ならちと協会にでも頼んで、補助金でも絞り取つたらどうです。

〔主〕そんな金が頂戴できる位なら、何も帝国大学から飛出さず共、性教育運動もできた筈はずです。いくら感じのにぶい学者にしても、一般の読者がもう性慾に飽きはてた頃に、やっと雑誌を出す様な手おくれする位ですから、とてもそんな金を探す器量はありません。それ程腕利きだったら前の好景氣時代に性慾売文成金になって、今頃は土地でも買込んで泥足を洗つてすましこんで居るか、それ共此頃の不景氣に悩む無産者の多産苦につけこんで、婦人雑誌と結託して避妊用具を目の玉の飛出る様な値段で売りつけ、解放運動を看板にして相当な暮しを立てるとか、兎とに角金儲けかくもち商売として口すぎをやつて居られる筈はずですが、幸か不幸かそんな腕前もありません。別段潔癖けつぺきすぎるといふのでもない。まあ生れつきの偏屈へんくつなんですよ。内のおやじが偏屈屋を分類して、偏屈で得の行くのと損をするのと、ヘントクとヘンソンの二種だといふたのですが、私なんか確かに其ヘンソン型に属する生物ですな。

〔客〕いやなに、悪口がちと過ぎるのですよ。悪口でも相当な所迄突込んでおいて、そこでピタッとやめると、どこからか甘い汁を吸わしてくれませぬ。売葉のあら探してもよし、学校の内幕や学者のウンチクの種類しゅるいかしでもいい、工場の悲惨な生活の実状報告でもいい、政界の裏面や国際外交のカラクリ、何でもいから握るものを握つて、これだけの物をつかんで居るぞ、ぶちまけるぞ、と大見得おおみえを切ると、いつの間にか金が入るそうですね。それからさきはみんな此悪口をうまく使いわけた連中だそうですね。あな

たも潔癖で、調節調節といい乍ら、自分の筆と舌とを調節せず、評論社の貧乏世帯の泣言なんかならべて居らずに、ちと〇〇〇〇（伏字）「避妊」（か）ピンの広告でものせたらどうです。

〔主〕いやそれ許りは御免蒙る。君もプロレタリア・インテリゲンチアの一員丈（だけ）あつて、人のいい癖に口が悪い。こつちも其点に掛けて負けず劣らずだから、ついからかわれるとムキになって、調節法問答から評論社のヤリクリ問答に迄脱線してしまつた。閑話休題としましょう。

〔客〕脱線も宜（よ）しい。一体あなたの性教育講話なんか読んでと、鹿爪（しかづめ）らしい事を云うて居る。どこかでは「専門学者以外携わる事を許さず」などと、ブルジョア学者以上に目をむいてるから、どだいこわい山あらしの様なバケモノかと思つたら、こう会つて見ると面は案外小僧だし、講演をやらすと徹頭徹尾ヨタと脱線ばかり、脱線するのが常態で、もし軌道へ正しくはまつて進行したらそれこそ地震の前兆と違ひますか。柄に無い生真面目にならずに梅雨の暑さの折柄、ちと人助けに生れつきの脱線をやつたがいいでしょう。どうせ雑誌を買つて読むのは有閑階級のノラクラ者だ、ヨタでも頁数の多いのを悦ぶバカでしょう。内容が無くても肩のこらぬ方がどうせ受けがいいときまつて居るから遠慮無く脱線した方がいいでしょう。

〔主〕そう露骨に煽動しなくても、好い加減に脱線しますよ。併（しか）しあなたも大抵知つて居る通り、今の中ので歌にある通り「世はくつがえる、無よりすべてに、此たたかいにつどえよ、あすは我等がもの」、此偉大な世界（伏字）〇〇（命）（革）の中心近くにおつて、呑気（のんき）なヨタでもありませんまい。上海を見よ、広東を見よです。

〔客〕だから、産児調節法問答でも、ブルジョア新聞なみにノンベンダラリとヨタを飛ばす必要が特に此際あるというのです。心学道話の歌の様に「見ればたゞ何の苦も無き水鳥の足にひま無き我おもひか

な」です。わかりましたか。

〔主〕 なる程、わかつた様でもあり、どこかわからぬ処もある。兎に角脱線ついでに、問答の主客が逆にひっくり返つたのは妙だ。

〔客〕 ヘン、とぼけるのもいい加減にしておきなさい。「罷市問題（市場を開くことを止めること）に關し帝國に不利なる報道を掲載する時は、発行禁止を命ずる事あるべし」と、お上からお達しがあつたでしょう。

〔主〕 いかにも其通り。併し罷市問題と調節問題と何の關係がありますか。

〔客〕 精子と卵との交渉のイキサツがわかつて、人間社会の波瀾の底が見通せぬと、私の様な労働者でも学者を罵倒しますぜ。わからぬ頭なら強いてわからせる必要も無いから、注文通りにヨタを飛ばしなさい。

〔主〕 ハイハイ仰せの通り、これはグズグズして居たら横面はりとばされそうだ。じゃあ、どういふヨタを飛ばしましょう。

〔客〕 どういふヨタだつて、そう改まり返つたら、ヨタでなくなる。一体全体今あなたもいふ通りに、今は歴史が全く書きかえられようという偉大な時代である。そして問答者お互に忙しい人間だ、とすれば、其まん中であつてヨタ問答をしているのは、顧みて他を云うゴマカシでなかつたら、ヨタそれ自身に何か重大な価値を認めて居るわけじゃないのですか。

〔主〕 それは勿論です。生物学者が顕微鏡で硝子ガラスの上の水一滴の中に活躍する精子を調べて居る時、今見た事から出てくる結論で、いつか世の中が大変化する事もあると思ひ、化学者が試験管の中の液を振廻し、或は物理学者が電気の火花を飛ばせて見る時、此研究の結果が、将来の人間数百万数千万人が或は



食物を得る事となり、或は刹那に粉微塵こなみじんに吹き飛ばされる事もあるうと、心ひそかに悦び又は恐れる事がありましよう。

丁度ちやうどそういう風に、初めから来るべき結果を予想せず今日の様にヨタくつて居ても、今のヨタが十年の後又は百年の後になって、或は適切な予言として将来の社会人の進路を示した事に結着するかも知れませぬ。

十九世紀の末、オーストリアの片田舎の僧院の庭で一人の坊さんは、暇つぶしのように豌豆や金魚草を栽培して花粉をいじくつて種を作り、それを播いては育て育てし乍らな、何か独語ひとりごとをブツブツいつて居た。その坊さんは穏やかに此世を去つて後二十有余年、初めて彼の存生中人の気もつかぬ其田舎の学会の報告に出しておいた結果が、同時に三人の植物学大家に掘り出され、今は世界に名高いメンデル法則として、二十世紀の新しい遺伝学、優生学の一中心となった。彼メンデルの独語は「今に見ろ、俺の世の中がくる」であつたが、実際メンデルの世の中になつた。

現にどこかの国で尊い御方の縁組の下相談の節(昭和天皇の婚約にあつて、島津家の家系には色覚異常)の遺伝があるといつて、山県有朋ら長州閥が反対した、此メンデル法則が引張り出され、それから色々のゴタゴタ、国中の上を下への大さわぎ、元来其国は大砲と軍艦と新薬とをこしらえる以外には科学の厄介にはならぬ半開国であつたけれ共、其時ばかりは無暗に遺伝学の法則にこだわつて騒いだ。俺の世界がくるぞとメンデルは云うたろうが、エンドウマメの問題から八百屋の店先バナナの廻りに飛んで居る蠅(アメリカのモーガンが色覚異常遺伝実験に用いたショウジョウバエのこと)に移り、それから人間社会の宮廷陰謀に飛火しようとは、お釈迦様じゃないが、メンデル様でも御存じはあるめえ。

〔客〕オヤオヤ呆あきれた先生だね。いくら暑さのせいだつて、そんな変な声を絞り出してコワイ口を使う

のはことわろう。どこの国でもエライ人の事をいえば罰があたる。殊に当節宮廷事項を余り長く書くこと新聞でも発行部数が減じるさ。庶民共の反感を唆るからという説明だが、実に不屈き極まる庶民だ。併し君の雑誌でも栄養不良なら不屈きでも背に腹はかえられぬから、其問題はその位で切上げておき給え。

〔主〕ハイハイどうも御忠告ありがとう。そこで、……

〔客〕中心問題である調節法の研究が、人類社会にとつていかなる意義をもつかという事だ。まあヨタ話でもさせてる中に、大抵見当がついてきた。まあ学者という動物の中でも少しは世界がわかっている方だと、ほめてやろう。やっぱり労働学校へ出稼ぎすると、玄人仲間では頭が散漫になると剣呑がつても我々の目から見れば、学問が血と肉の中にしみこんで身についてくるようだ。精々勉強しなさい。

〔主〕ほめたり、けなしたりか、ヤレヤレ。

〔客〕まあ誰でも、自分がやって居る事が重大だと思わなければ、金儲けとラヴ以外の事に熱中されそうな筈はない。おれが居なけりや世間は暗闇という奴でね。

〔主〕そうともそうとも。性研究という事が、あたりまえの人間の眼には実に穢らわしいもので、それを専門にやるのは人間のカスだと思われる。そこをやるのだから、よほど自惚れが強くなければやりおせない。現に我々の仲間の中の或青年医学者の如き、性学をやった許りに愛人から軽蔑せられ、ちとエマーソンやカーライルを読んで精神の修養をなさいとたしなめられた挙句、それでも懲りずにサド風とマゾホ風の講釈をして居たので、とうとうその女子大学出身の才媛から匙を投げられた事件もある。

私でも角帽時代イモリの鞆丸ばかりをつついて居た頃、或中学生が研究室へ参観にきた。其後その中学生が知人に私の消息をきく時「あの人は此頃でも相変らず鞆丸をやって居ますか」というそうな。知らぬ

人がきいたら、性病患者の見舞の挨拶と思う事だろう。併し其頃研究科目を尋ねられて「イモリです」と答えると、必ず誰でも「イモリの黒焼は一体きくものですか」というにきまつて居た。

〔客〕よく下らない事をおぼえて居るね。今じゃあつかましくなってるが、初めはやはりピューリタンだった証拠だろう。それ丈苦にした事だから、おぼえて居るのかも知れん。

〔主〕そこもある。エリス（ハヴロック・エリス。イギリス生）も云うた、人前では云われぬインモラルの動機があつてね。一昨年の真夏まだ京都帝大の祿を食んでる時、夏季講習会で「性教育五講」をやった。或日の午前隣の講堂で植田寿蔵氏の「芸術哲学」をのぞいて見たら、御婦人連の聴講夥しく紅白の色とりどり、げにうるわしき眺めじゃなあ——だった。

〔客〕うるさいね、又へたなコワイロか、やめとけ。だがその時よその講演をのぞいて、どんな氣持がした。

〔主〕悪口をいい乍ら、君でも氣になると見えるな。それは美しい者を見れば、やはり美しいと思ふさ。ダンテとベアトリチェとレオナルド・ダヴィンチの研究をするのも、いいなあと思つた。

〔客〕若い美しい娘の柳眉をひそめしめ、時として席を蹴つて退席せしめる様な君自身の性学講演と引比べて、性学者たらしめた運命を呪いはしなかつたか。

〔主〕ばかいえ。それはそれ。これはこれだ。僕でも若い美しい娘達相手に現に毎週一回、自然科学概論をやつて居るぞ、カント・ラプラスの星雲説から説き起して、生物進化に及び、此頃は細胞染色体の事から愈々受精よじょうにふれてきた。之から月経、妊娠と奥の手を出すつもりだ。

〔客〕へーン世間も広いな。もうじきほうりだされるぞ。

〔主〕心配御無用。労農大学の出身の秀才たる君と今対談して様な荒っぽい事は、女学校ではおくびにも出さぬわい。苟も生物学研究いやくに志し、異なる環境に対する適応現象を知る以上、臨機応変、自由無碍、変通自在、大勢順応の妙を遺憾無く發揮する。

〔客〕えらそうにいうても、理論通りに実際が行くかしらん。何しろ柄にない附焼刃だからな。

〔主〕それら多少窮屈な思ひはやむをえない。多少困る事もある。第一おじぎするのが多いのに閉口する。校門を入ってから会う生徒が皆おじぎする。教室へ入ると講義始めに起立最敬礼する。つまりキケン視するんだね。何しろこつちはおじぎの少ない最高学府や野武士学校に馴れてる（日本労働総同盟大阪連合会の「野武士組」といわれたグループとの付合）からついでにゾンザイな答礼をする、頭をあげるとむこうはまだ頭を上げて居ない、これは失礼と又こつちでピヨッコリ、大袈裟に云えば、女学校へ半日行つて帰ると、頸をつる背の筋肉がウント疲労する。

〔客〕体操の一種として一週に一回それもよからう。

〔主〕それから一つ更に困るのは、日本人の女性の表情の不可解な事で、話を進めて行つても合点がてんしたのやら、何とも判然しない顔付きだ。あまり解説がくだけすぎると、バカにしたと憤慨されるかも知れぬ。わからなければ一層困る。その辺七分三分の兼ね合いで、人しれぬ苦労があるから、同志社大学予科で一週六時間講義するよりもその二時間の方が、あとでズツとガツクリする。

〔主〕それも性学者として必要な経験だ。精々ほうり出されぬように勉強しておきなさい。併しかし困る困るといっても困る事ばかりじゃあるまい。

〔主〕それはそうさ。第一校内がきれいだ。朝の点検後の日本軍艦のデッキみたい、校内に紙片一枚、糸一本落ちて居ない。それから教室へ入つても講義の声以外に針一本床に落ちててもきこえるような静けさ

よ……だ。

〔客〕君の話が退屈なので居眠る娘さんの軽いいびきも聞える位の静けさよ……だろう。

〔主〕まあ交ぜ返さずに、よっきき給え<sup>たま</sup>。緑の丘を吹き渡る薫風が一吹き窓から入ると、そこに突如として起る薫りのシンフォニー、えならぬかおりのほのかに風にただようおもむき。

〔客〕けがれなき乙女達のそのほこりよ……か。そうら、とうとう不良教師が本音を吐いたぞ。廻りくどい飾りを省けば、つまりいい薫りがするという所を、もって廻って形容してる。之だから労働学校の教師にきて、やはりブルジョア大学出の根性が抜けきらぬというんだね。それから、……

〔主〕そら悪口をいう君自身が話の続きを催促して居るじゃないか。此位の程度の感じは誰でも持つて居る。およそ「色好みならずむ男は、いとさうくしく、玉の盃の底なき心ちぞすべき」<sup>(徒然草 第三段)</sup>と昔兼行法師の喝破した如く、この色好みは「性教育講話」にも書いておいた性の微妙なる発現にして、此殺伐極まる人生にうるおいと艶を授くる有力な要素である。だから君でも、女学校の話をキンチョウしてきて居るんだ。

公言するのは不良じゃない。或新進歴史学者で風采も高雅な理想的紳士だが、その内へ講演を頼みに行く、まずさきに婦人聴講者の有無をきいて、男子ばかりですと正直に答えると、即座に断るといふ明瞭な人もある。

善良だから告白するんだよ。もし不良だったら告白しないで、不言実行するだろう。

君は一体教師を不良不良というが、君達労働運動の若い指導者でも、紡績工場の争議だと、大勢総出じゃないか。糸やの娘さんを前に大雄弁を揮い、壇から降りて後そばの人からズボンのボタンの外れたの

を教えられ、メートルの上った後に冷汗三斗という話も聞いたぞ。あれは君の事と違つかね。

〔客〕ウーンおれの事じゃない。まあ長くなるから、不良善良の問題は此位で打切る事にしよう。

〔主〕イヤ打切らぬ。事は教育者一般の面目に関して、教師の人間性冒瀆の問題だから、飽迄徹底的糾弾を試みねばならぬ。

一体今日君が尋ねてきたのは、簡単な避妊法を教えろというので蒸気機関や鉄道迄引張りだしたんだね。

〔客〕うんそうだ。B・C (Birth Control) 運動で銭儲けができるかいと野次つたら、君も昔ブルジョア大学で「先生と呼ばれた程のバカ」の一人だった気持が復活して、ムキになって弁解するものだから、初めのヨソユキの「あなた私」から、つい「君、おれ」になった。初め処女のごとく踊り、脱兎の如き今有様だ。

〔主〕そこで話はその処女性の事で、こういう話を聞いた事がある。

君も御存じのコンドーム、即ち通常は性病予防用に用いられる男の性的器官の一部にかぶせるゴム製の帽子が、我国でもB・C用に屢々転用される。

〔客〕坊間にひっさぐるルーデサック (Road-rack オランダ語) といい切れば、早わかりするのに、どうも専門家の話は廻りくどくて困る。こいつは近頃敷島やアルマ (敷島もアルマも) と同じ紙包みに入れてある。此間上海へロケーションに行ったキネマ (映画) 俳優団の土産話に、支那町で久し振りに敷島を見つけたから、少し高いと思うたが、二、三箱買入れて合宿所に戻ってあけて見たら、口附煙草の紙筒の中から出てくるわ出てくるわ、皆桃色のゴム袋だったので、一座唾然たるばかりと新聞にあったがね、こいつは大分眉唾物だ。上海へ行かず共第一お膝元にウジャウジャとある。それにキネマ俳優ときたら箱入息子ではあ

るまいし、学習院の貴公子ならばいざしらずだが。

〔主〕所がその学習院出の貴公子が平民以上に凄いなだね。角帽の頃の級友に就いても、大抵平民以上に下情にお通じ遊ばされて居る。つい此程貴族院議員になった理学士某子爵の如きは、性的下情に通ずる事当時の我輩以上で屢々僕も教えを乞うた事もある。

〔客〕其位に精通してるから、生物学に就いては君程知らず共、貴族院議員に成れるんだ。君も華族の子にうまれておれば、労働学校で労働者にいじめられず共、貴族院内研究会の新人位になれるんだ。うまわかかつてこい。オット又々脱線脱線、あだし事は扱ておいてコンドーム問題に話を戻そう。

〔主〕やはりききたいんだね、宜しい。

扱て其物は、君のいう意味の蒸気機関の如く、粗雑であるが、しかも実用的だ。霞を隔てて遠山の桜を望むというか、或は漢字節減の折柄困る形容句だが、例のカッカソウヨウ（隔靴挿痒）の感ありという風の名残り惜しさが欠点であるが、兎に角破れさえしなければ精子の機械的遮断という避妊の一要件を充たす事ができるので、アメリカなどで最も広く用いられて居る。

所が破れなければという条件つきが厄介なので、ゴム製品は造つて日が立てば、赤ん坊のおしゃやぶりや万年ペンのスポイトのお古の通り、パリパリになる。コンドームの古いのも同様で、顕微鏡で見て初めてわかる程度のひびが一面にできる。そこから精液が一満でも漏れたら最後、三億乃至六千万匹の中の何十何百匹かがノコノコサイサイ泳ぎだす。使用した当人は一廉破れなかった積りでもそうは行かぬ。あとで大騒ぎの起つた例が随分ある。

所で、西洋人の中でもあつかましいのは、薬店店頭で細い穴が無いか、一々風船の様に吹いて試験する

そうだが、君の如き山本門下の秀才でも薬屋の店先で風船を吹いて見る丈の科学的精神と勇氣が具わっているかね。

〔客〕まさか……それ丈はねえ。

〔主〕君の如き勇士でもためらう位だから、況や常人に於てをや……だ。材料選択に十分な考慮と努力が払われて居ない其上に、更に使用が粗暴、操縦拙劣ときたら、メチャメチャだ。之も亦可成にあてにならぬと、予め引導を渡しておく必要がある。

〔客〕そうら又例の癖のあてにならぬが出てきた。どうしたら、もう少しあてになる様にできるか。

〔主〕第一に品物を選ぶ事、次に使用の際に細いわれ目があつても泳ぎ出さぬ様に、全面に消毒殺菌薬を含むワセリン軟膏又はクリーム類を塗る事、そうすれば不快な摩擦をも減じ、従つて破れる事も稀になり、奏効率は高くなる。

〔客〕そうした所がやはり、自慰の一種変形としての物足らなさがつきまとうてくる。此注文はぜいたくだが、害はありませんか。

〔主〕害は無いが、ストープスやサンガーの説によれば性交によつて男女双方に与える特別な衛生的利益が生じないそうである。其話は別に改めて詳しく話そう。

〔客〕所でさき程えらい剣幕で乗出した徹底的糺弾というのは……

〔主〕それがコンドームの事で、「不良青年」の話さ。まずある都会に一人の不良青年がおりました。彼は毎日毎夜そこはかとなくさすらい歩くに、いつも其ゴム帽子を肌身離さず貯え、それと目ざした女には遠慮無く勇敢に云い寄つた。そして最後の瞬間に其秘蔵の携帯品を示して、之さえあればと、最後の武器



をいつも示した。本来こういう色魔的活動は数でこなす主義だから、中には肘鉄砲の恐ろしいのにも出くわすが、大体として統計的に或標準以上の成功率をあげればいいので、労働組合戦術と同じく、断言と反復暗示と最後の肉迫という一定のプログラムがあるんだ。どうだ、君もおぼえがあるだろう。

〔客〕 ウウン、ありそうな話だね。

〔主〕 所がその携帯品を示す新戦術が、今迄のやり方よりも遥かに効果が多いというんだ。

〔客〕 そこがブルジョア社会の貞操という概念の唯物的基礎とでもいうか、書齋の中で籠つてる道学者にきかしたら目をむいて怒るだろう。

〔主〕 君のようなプロレタリア闘士がきいたら、一つ応用して効果をためそうと思いやしないか。いや君自身がその色魔じゃないか。人を不良不良というが、僕のは中年的低徊性不良で、君達の方は青年的直接行動性不良だ。前者は陰性、後者は陽性、どつちが社会的に影響が多いか。

一体全体君達が簡単な法をと、ヤイヤイいうが、凡そ結婚前の男で、こんな要求をする連中の心の底を探つて見ると、今例に引いた色魔青年と余り違い無い様に思われる。それで居て、君の様に我輩を不良だというから、徹底的糺弾をせにやならぬ。こらどうじゃ。

〔客〕 へへエ、一言もない。うまうまはかられて釣り込まれた。が、兎に角痛み入る。

〔主〕 別段痛み入る必要もない。自分に迷惑を背負いこまぬようにというのは、利己的であるが併し或種の責任觀念の始まりと見るべき事で、めくら滅法よりずっとましだ。責任を持込めばやっぱりおとなしく引き受けるんだらう。エリスのいうた性的責任觀念というのでも、初めはここからくるのだ。

〔客〕 可成うまい事をいうてるが、あまり適切すぎるから、夫子自身の告白と違いますか。

〔主〕 エエやかましい。学者は体験を超越す……だ。一々身に引比べて見なければならぬなら、楠公みたいに七度うまれ変つて恋愛三昧に没頭したとて、性学者になればせぬ。歌人は居ながらにして名勝を知るといふ句を知らぬか。バカ！

〔客〕 ハイハイ。やっぱりこうなると「先生」という先にうまれた奴の方が、鳥居の数を潜つて居る丈あつて胆が太いようだ。

〔主〕 そんな事も無い。経験がませば実行力が減じる。実行力があふれ切つても、それを調節すべき経験がない。世の中はうまくできて居るな。

〔客〕 何だかゲーテのファウストの独白を聞いて居るようだ。叱られて居るようでもあり、又愚痴をきかされて居るようでもある。どっちかしらん。

〔主〕 両方だ。まあ青春は再び来らず、顧みて悔い無いように活躍しておき給え、いかんとは云わぬ。但し人に迷惑を掛けぬようにね。

〔客〕 所で例の帽子の信頼し得る程度は、どうですか。

〔主〕 まだそんな事を、「かくなればかくなるものと知り乍ら、やむにやまれぬ大和たましひ」という吉田松陰の歌にもある通りだ。なるようにしかならぬ。人事を尽くして天命を待つのだ。

〔客〕 チェ梅雨の加減か昔の新派劇のせりふみたいな文句ばかり列べてる。科学者も暑さでどうかしたぞ。

〔主〕 どうもせぬ、至つて正気だ。ただね、そいつが蒸気機関の様に簡単だ、手に入り易い、鉄道の様に修繕も利くが其外の新しい文明の利器に比べると、物足らぬ点も多いという事なんだ。つまり蒸気機関

だ鉄道だと、初めから観念の臍をきめてからの仕事ならば、何が突発しても文句はいえまいという事さ。

〔客〕初めから承知の上ならば、アツサリ諦められるというわけだね。

〔主〕左様左様。殊に此コンドーム戦術の如きは、實際その話の様に効果が多いというならば、殊に用心して貰いたいのは女の方である。

〔客〕いかにも其通り、最後の刹那にゴム風船をヒラヒラさせたつて、さすがは難攻不落と伝えられた二百三高地、かねて用意の銃砲ズドンとくれば、攻囲軍は忽ち一溜りも無く撃退されるわ。併しこいつは秘密の計略だから、ムザムザ御婦人達に云っちゃいけませんぜ。

〔主〕だまれ、不良少年。貴様のような奴が世間に居るから、女向きの啓蒙運動が特に今の世に必要なんだ。性教育講演なんか廻りくどいから、娘さんは猿股をおはきなさいと、お上から俸給手当を貰うて日本全国をへめぐつて居る人さえある。「墮落頹廢し切った青年男女の風紀」が娘の猿股一つで解決するんだつたら、我輩の所へももうじきに放送局から一席の御講話をと頼みにくるだろう。

〔客〕「JOBK大阪放送局、これから淫学大家山本先生の『神聖なる処女性の尊嚴』と題する御講話があります」とやると、マグナヴオックス（スピーカーの名称だがここではラジオのこと）を前に一家ダンランの中では、老人連は顔をしかめる。娘達は「おおいやだ」と口ではいい乍ら、其実からだ中を耳にしてキンチョウ（聴）する。受話器を耳にはめた、若い男のファンは、ソサクサと鉛筆と紙を用意する画面だね。

〔主〕さて御講演なるものは至つて簡単だ。初めに勿体らしくエヘン「扱て世間の若いお嬢様、近頃到る処に不良青年が桃色のゴム風船を携帯して出没するそうでございますが、あれを用いたからとて肌身を許していいとは安心できませんから、暑さの折柄猿股の紐をしめ直すと共に、十分御用心遊ばせ。講演は

之で終り、サヨナラ御機嫌よくお休みなさあい」だ。

そうすると。すぐ其あくる日から。婦人雑誌各社では「欺かれたる私の告白」原稿がバツタリこなくなつて、大キヨウコウ(慌恐)。

〔客〕イヤそれより前に、コンドーム製造者同業組合は国粋会のバラケツ団をけし掛けて、宇治川のほとり産児調節評論社に躍りこませる。

〔主〕その時こそ師弟の誼(よし)みだ。平生ボロカスにこき下しておいた労働学校の諸君に泣きついて對抗して貰(もら)う。

〔客〕イヤだ。味方の秘策を敵たる女共(に)、知らすような裏切者なんか、泣きついてても相手にしない。断然たるボイコットだ、「墮落学者を葬れ」と声明書を公けにする。

〔主〕その積りなら、当方にも覚悟がある。すぐ放送局にかけて、全世界の女にゲキを飛ばす。曰く「失うものは処女膜のみ、獲得すべき全世界をもつのだ。万国の処女よ団結せよ」、そうするとどこからともなく、「処女赤衛軍」がノンノンズイズイ現れてきて、深刻極まる両性闘争の場面が之から展開される。即ち女の独裁政も出てくる。君なんかホウホウの体でどこかへ亡命するんだね。

〔客〕ウン男の兵なら恐くないが、女ばかりの赤衛軍なら、随分物凄(ひど)いだろう。此間も見せて貰(もら)うたフツクススの春的美術史にもフランス革命バスチーユ監獄叩きこわしの後に、官軍と民軍が対してると、武者振り勇ましい官軍の騎士の白刃の前に、民軍側の女勇士は無手勝流の極意を發揮して姫(姫御前。未婚)ごぜ(の若い女性)の若(ちよつと)い女性(未嫁)のあられもない、一斉におしりを向けて居る画があつたね。将来の男女闘争があんなかと思つと、一寸ゾクゾク寒気がする。もうヨタもよしてくれ。

〔主〕 やあい。平生から「我々虐げられた無産者」なぞと口癖にしてる癖に、その無産者の中でも女を虐げる君の様な人間は、一寸ヨタでも気味が悪かろう。自業自得だ。まあヨタでも夏なお寒き感がある位なら、一寸こころで打切ろう。肝腎要の調節法研究の社会的意義という問題は、改めて問答しよう。

〔客〕 八百長のヨタにしても、さて職業的によたくろうというのは、仲々骨が折れる。不まじめだと、読者にウンと叱られるぞ。

〔主〕 覚悟の上だ。ヨタでも正札附きのと、看板に偽りのあるのと、区別のつかぬ人も世間には多いからね。

## 其五 調節法研究の社会的意義

〔客〕 云うまいと思えどきよの暑さかな。それでも熱時熱を熱殺すという事もあるから前の続きで調節法研究の社会的意義を承ろう。簡単な調節法の問題だと又とんだ藪蛇をつつきだす事になるから、今回は一寸休みとしておこう。

〔主〕 何だい。そんなに予防線を手廻しよく張らなくてもいい。簡単な法を求める事は、素人でも専門家でも当然なすべき事だ。今日の避妊法でも相当の予備智識を具えた上で、綿密丁寧にとり行う必要があるという事実は、つまり方法それ自身に十分改良の余地があるという事を、示すのに外ならぬ。

一体全体、医療保健衛生の全般に亘って、根本的解決というのは「予防薬の一グラムは治療剤の数百グラムにまさる」という諺によく現れて居る。尚一步を進めて見れば、薬などは飲まずともよい健康状態を

保つ事ができさえすれば申分が無い筈である。

〔客〕それは君の様なプロレタリア学者の理想論にすぎぬ。今日婦人雑誌を読んで見給え。血の道の話から難産、ヒステリーの問題から月経不順の解決、無病息災の女でもあれを読んで居ると、おなかの中がムズかゆくなってくるそうさ。つまり群集暗示と活字の魔法で病人を人造する仕掛だね。しかしそういう風に自分ぎめに病人になつたとて、面倒は無い。東京、大阪の住人なら、すぐ診察して貰えるように、その通俗衛生の執筆者、それがし医学博士の診察所、診察時間、電話番号に至る迄詳しく其記事に添えて書いてある。

医者で問にあわぬ遠方の人にも用たしができるように、薬の名前から密封郵便の手續、それから振替口座がかいてあるなど、実に至れり尽くせりだ。

何でも近頃は東京方面では、産児調節に就いても通信問答で一件何円とかで金儲けする抜目の無い者が居るそうだね。君のことも潔癖を云わずに、ちと女事務員を雇つて問答専門部でも経営したら、儲かるぞ。

〔主〕溺れる者は一筋の藁にでも縋りつくからな。評論社へも随分くる。大抵は既にどこか雑誌やパンフレットにその答の発表してあることは、それをよんで下さいと答えて、僅かにそのお頼みに報ゆるが、随分難しい間があるので頗る当惑して居る。其間の内容はいずれ追つて詳しく述べるが、大体分けると、(1)専門学者でもわからぬ問題、例えば月経が起るのはホルモンがどんなに働いた末であるかとか、(2)分つて居ても三銭郵券をはった封書だけでは答えられず、十分に説明する為には一冊の本が必要な程の大問題、例えば妊娠の生理一般、どうして性交から妊娠に至るかの問題である。

こんなのは、「とても唯今手紙ではお答はできかねますから悪しからず」とハソコをおして、三銭郵券

は封じこんで返送する。それから其中で簡単に答えられそうなものは、いずれと手鞆に捻じこんで宣伝長途旅行の汽車の中などで片付けるが、数ある問の中でつい其儘に書類箱の「要返信」の中におさめこまれるのもあり、すまぬすまぬと思ひ乍ら其ままになつて居るものも少なくない。

〔客〕君の秘書結城静子君を一々煩わして、返事をだしてはどうかね。

〔主〕よしんば口述筆記で大規模に埒明らちけようとして、そればかりに年がら年中没頭して居てもあとからあとから来るから、少しも油断がならぬ。夏休みなぞ出来たのは昔の話、此頃は地方講演旅行中という触れだして蟄居ちつきよし、セッセとそれらの借金なしくずしをやつて居る。誰がきても面会謝絶で、講演はもうやめた。話をきかずとも、評論をお読み下さらばわかりますと、断つて居る。大抵こんな仕事に携わつて居る人間には共通の経験らしく、此間も水平社（一九二二年に結成された部落解放運動全国組織）の闘士某氏からも、宣伝講演などの実際運動と雑誌発行と二股かけるとどちらかがお留守になるから御用心、との忠告を受けた。

〔客〕理想としてはそうありがたいが、無産階級運動の初期はどこでも一人で色々な事をやらなければならぬ。君にしても自身の研究をやり、雑誌の原稿を書き、それから今の質問に答える仕事も果した上で、講演に迄駆けあるけまい。併しかしそんなに処々方々へ行つて、何を話すのか。一々違う事を云うのかね。

〔主〕あまり違わぬ。要求は大抵産児調節か性教育か、その二つだ。どちらにしても最短二時間、それ以上は伸縮自在、つまり例を引用する事の多少で加減ができる。

性学一般ならば一回の講演三時間宛で、即ち十五時間でザツト大学生程度の人に概念だけでも与える事ができる。東京帝大、早稲田大学、京大社会科学研究会でのが、此やり方であった。

所で、どこへ行つても人の知りたい事は余りかわらない。段々馴れてきて向うから出そうな質問は先廻

りして話しておくが、短い二時間講演では、とても話し切れぬから、会の後に質問が続出する。其時の問題は例えば、双子、三つ子のうまれるわけ、子の宿る順序、男女の性はいつ定まるか。調節の実行法、性病予防法など、銘々それ丈で一回以上の講演を必要とする程の大きさのばかりだが、其時は短い時間の事だから、やむを得ず簡単な答で切上げてしまふ。そうすると講演をきいて後初めて、何を問うべきかが明らかに見当がついて、更に研究したいとの智識欲が愈々発達してくる。

〔客〕 そういう風のありふれた問に対しての答は、小冊子を一々こしらえて、それを答にかえれば一々旅費を使って地方行脚をせず共すむわけだね。

〔主〕 左様左様。所が今迄は啓蒙運動の第一期で飛廻るのに忙しかった為にそこ迄手がのびず、つい其日送りに流れて居たが、これから覚悟をきめて一切の講演お断りと今月の正月から看板を掲げたけれ共、その前に約束したものが残つて居て、今なお時々引張り出される事があり、中々思うように行かぬ。が兎に角、此問答にしても既に述べた所、オナン風や安全期それから簡単な調節法などと、極めてよく問われる問の答だから、追つて一括して小冊子にしたら、一々返事を書く世話がいるまい。何しろ啓蒙にしても大規模にやらなければとても埒が明かぬからね。

〔客〕 それ程に君も人に智識を普及したがつて居り、世間の方で君の話のどんなものかを知つて居る人は、可成聞きたがつて居るのだから、ラジオ放送などを利用すれば、パンフレットなどを書かず共すむわけになるんだね。

〔主〕 聞きたがる人が山ほどあつても、途中で聞かせたがらぬ人が若干頑張つて居るから、とても当分は、此前のヨタ話ならいざ知らず、性教育講話の放送などは考えても見ない。



〔客〕 閑人の為に落語や浪花節をきかせ、社会の中でも極く少数な実業家の為に長々と米と株の相場を讀み上げる余裕があるのに、多数人の必要な性智識を伝える機会が無いとは、いかにも変だね。だから労働学校へ出てきて、進化論と群集心理学の講義をやるんだね。

〔主〕 さあ、そういえばそうだ。落語や相場よりも聞く価値の無い話を強いて押売りする必要も無い。精々滅多矢鱈やたらに遊戯恋愛をやった末に、中禅寺湖に飛込まれるもよし。寄宿舎の女舎監の話でイカサマ性教育を受けた末、罪もない赤兎の命を奪った挙句あげく、親の職迄放り出させる様な結果に及んだからとて、今迄臭い物に蓋という隠蔽主義を続けて来た事の、余儀ない結着であるから、お気の毒だという丈だけで、それ以上どうにも仕方がない。

〔客〕 過去をして過去を葬らしめよ。世紀前の有閑階級の頹廢とアンニユイ(退屈 倦怠)迄の世話はできかねるという所かね。

〔主〕 まあそうだ。僕の性研究の初め頃には、そこ迄の考えもなかった。唯世人の間に簡単な生物学の智識ちしきでさえ持合わせて居ない為、多くの禍を蒙る人が少なくないいくを見ても、何とかもつと手取り早く知らず工夫くふうが無いものかと、ひたすら活躍を試みようとして着手してみた。

つまり科学は超階級のもので、科学の智識のもたらす恩恵はブルジョアにもプロレタリアにも与え得るもの、否恩恵があるまいが、真理を求むる為のみ科学が存在して居る。その研究の結果に実用価値のありなしを問わぬ、と真正直に信じて居たものだ。

〔客〕 いかにもポツチャンらしい考えだね。今でもそう考えて居る若い学生が多いだろう。

〔主〕 左様、法科、経済科、医科の学問をやる連中にはまずあるまい。併しかし自然科学や形而上学をやる

うという仲間には、ない事もない。世間見ずの若い者が本だけ一所懸命に読んでおれば、そうなる筈だ。今から振返つて見ると、あの時は気楽だったと思うが、併しあの生い立ちと環境から見て、別段不思議な事でもない。使徒パウロの語にもある通り「わらべの時吾考ふる所、語る所わらべの如かりしが……」さ。芸術の為の芸術だとか、学問の為の学問とかいうのは、そのわらべ時代の文句で、はしかや百日咳と同じ様な小児の病かも知れぬ。

〔客〕吉田絃二郎のセンチメンタルな小説や、武者小路実篤のウヌボレ人道主義も、この類だね。併し小児病だつて専門の商売人になつたら、立派な口すぎになるぞ。世の中にハーモニカ吹き乍ら、ラブレターの文案に頭を悩ます中学生の種が尽きぬ限り、失業の心配はないからね。

〔主〕そういう君はハーモニカを吹いたり、こつそりラブレターを書いたり、親に逆ろうてクリスマスチャンになつたり、個人雑誌の計画を試みたおぼえはないか。

〔客〕それはあるとも、僕ばかりじゃない、知つて居る限りの連中悉く皆それだね。むろん稀にはそんな経験のないのも居るが、それは少年生活が特に悲惨な忙しさの中に過ぎ去つたからで、もし彼等でも暇があつたらやはりやつたに違いない。兎に角我々の目煎の豪の者は皆、その青春期に於て盛んにピーピー吹いたから、えらくなれたのかも知れぬ。

まあ吹ける時に精々ピーピー吹き、ラブレターを書く暇と根気があつたらウンと書いておく事だ。その年頃にやるのは悪い事じゃない。

〔主〕ウンそうだ、精々早くハシカや百日咳を卒業しておかぬと、おとなになつてそんなものに罹つた時厄介だという意味でね。芸術至上主義も之と同様にだ。

〔客〕併し思想上の小児病でも、商売になれば結構だ。世に女学生の居る限り、吉田絃二郎の原稿が売れる。中学生の青春期誇大妄想家のたえぬ限り、武者小路実篤氏の共鳴者ができる。つまり職業的の青春病患者というか、多くの青年男女に代つて悩む今の世の救い主だ。有難く思わねばならぬ。倉田百三君と西田天香君は代表的マゾヒストで繁昌したように、やはり需要供給の鉄則に支配されて居る。

〔主〕併しあまり仲間の少ない専門家になつても生命が短い。まあそういう特殊問題に入らず、性とか産児調節とかの大ざっぱな所が無難だろう。

〔客〕明治、大正の子供に対して「さゞなみ（巖谷小波。御伽噺を）開拓した児童文学者」のおじさんの「桃太郎鬼ヶ島征伐」が必要であつた通り、明治末期の中学生に対して江見水蔭や押川春浪の冒険小説の要求が盛んであつた様に、資本主義行詰りの大正日本に於て生活難に苦しむ夫婦共が産児調節評論社同人諸君の主張に耳を傾ける事も怪しむにたらない。

つまり小児病もあれば、青春病それから壮年病、更に進んでは常に社会の風紀頹廢を憂いてやまぬ老人病迄ある。産児調節の要求は壮年病の一種なんだろう。

〔主〕一寸待ち給え。小児病、青春病、やれ壮年病、老人病と、字の使いようがあまり荒つぽ過ぎる。何でも病とか症とかの字をつけたがるのは、日本の医者（いむゆる）の悪い癖で、所謂小児病といわれる原語のインフワンチリズムにしても、此頃よく無産階級運動の論戦に用いられるように、幾分罵倒非難をこめたものは本来なかつた。又今日少し前にいうた様なハシカや百日咳（ひゃくじこ）の如き子供時代に一度罹つたらもはや二度と罹らぬ子供特有の病気の事でもない。唯人が段々生長にするにつれ、年齢相応の変化を身体の諸器官に現わすのである筈（はず）の所が、何かの故障で体の一部又は全部が子供の時のままの状態に固まつてしまふ事をさ

したので。

だから、その「小児病」はいろんな所に現れる。病というよりも更に精確にいうならば、発育停止に基づく児性継続現象という方がいい。それで子供が子供らしい発育を遂げ、子供らしい活躍をして居る時には、別段「小児病」も何もない。唯おとなに於て初めて「小児病」が問題になる丈だけの事なのだ。

〔客〕つまり子供が霧隠れ才藏や猿飛佐助の真似をして「忍術でジャカデンジャカデン」と炭俵を燃やしてその煙の中をくぐって居るのはいいが、大人がそんな真似をしたら小児病だということだね。

〔主〕左様左様、今日の様な時代になって清水の次郎長や高山彦九郎や白河楽翁（松平定信。寛政の改革の実行者）や穂四十七士のお手本を云々するなども同じ事だ。エリスも引用したように、昔々大昔フエブライ民族の数の少なかつた時には「うめよ、ふえよ、地にみてよ」も正しい句であつたが、今日そんな事を本気に人に云つたら、それこそ人口問題に関する小児病だといつていい。

〔客〕マルサスにしても、苟いやしくも心ある人々は道徳的抑制をやつて、精々晩婚にすれば人口問題は解決すると、本気に考えたものらしいから、此点も小児病だね。

〔主〕所がマルサスの様に、親が牧師で自分も牧師、二十二歳そこでケンブリッジ学卒業、それから十年間みっちり本読み生活、それで生粋のイギリス紳士だといふんだから、道徳的抑制を小児病というのはチト残酷だろう。

〔客〕芋の煮えたも御存知は無ない学者の方へ、大變ヒイキするね。その様に同情すればプチブルジョア大学の先生達は皆同情に価する小児病患者になつてしまふ。

〔主〕併しかしむこうに云わせたら、ここらの連中は皆道徳的變質者になつてしまふ。同じ事だ。併しかしブル

ジヨア根性の重んずる彼等の形而上学には目も呉れず、自然科学の研究の重要さをば第一に考える我々は、彼等の目には小兒病患者と映じて居るんだよ。

〔客〕つまり学問は素人にわからぬ所が有難い。又腹のたしにならぬ所が本色であり、胃袋や子宮の空虚充実に無頓着であるべきだという所から出発しているんだね。

〔主〕没落に瀕する支配階級の御用学問は、常に教権を至上とするが、さて此点を丸呑みにて一般人は随分迷惑を蒙る。元来物それ自身の問題から出発する医学でさえ、精神治療とか何とか。色々手品のようなカラクリが必要になり、段々具体的現実性から遠ざかってくる。

所でそういう連中の云う事には、子供と野蠻人は具体的な絵や彫刻の如き物を見せなければ、納得しない。それ以上に高尚複雑な色んな観念は、子供や野蠻人と同じ様に心の発達の幼稚な「自然科学の信者」にはわかりっこはないんだといって居る。

〔客〕それもよからう。岩波哲学叢書がよく売れる。性研究のように「人格を傷つける」おそれも無い。そういう君自身でも、生物学の中でも形而上学臭いイモリの染色体の数でも数えて居たら、帝大をおわれずにすんだ筈だろう。

〔主〕殺した生物の事で理屈をこねて居る中はまだ無難、生きて居るものをつかまえて精神治療も人間ならいい。併し精液の中に活躍して居る精子を眼下に見下して、顕微鏡でにらんでエイツと気合を掛けて見た所が始まるまい。

〔客〕芝居の南禅寺山門の場で羽柴秀吉かが「アアラ怪しやつづらが動く」と睨む按配で「アアラ怪しやな精虫が動くアリアアリア」といった所で、いき物が動くのに怪しやなでもあるまい。

〔主〕 そうだ。此前のコンドーム問題にしても。破れる筈はずはないのであると、大隈式ソレルに当為ソレルをふりかざして頑張つて見た所が、破れたゴムのすきまから御遠慮無くお出ましになるのは仕方がない。

〔客〕 コンドームの亀裂から精虫のはいだすのを、顕微鏡で見たら、丁度大阪のメーデーの行列が中ノ島から天神橋の真中の階段を上つて、松屋町筋に繰出すような光景で、さぞ壯觀だろう。人間の労働者よりもお行儀がよくて、整然と四列縦隊を作つてるかも知れぬ。

〔主〕 まさか、併しかしまあ出るなど云つても、隙間があればどこからでもでる。丁度冬ちやうどになつて鴨緑江が凍ると、不逞鮮人が氷の上を伝つて国境を越えるようなものさ。

〔客〕 「不逞精虫そこ動くな」というても始まらぬ。鴨緑江ぶしなら、あすは又安東県につきかねるといふ所だがこつちは其反対で、あすは又たまごにつきかねるでなくて、チヨイチヨイと飛込むといふから、厄介な事だ。

〔主〕 そんな鴨緑江節が気に掛るなら、産児調節チヨイチヨイぶしを創作たまし給え。うまかつたら評論のあなうめにのせて上げる、そして評論一箇年分位進呈するから。

〔客〕 へへん、八月号の「夏のよみもの」みたいに、チェリーカクテルの味はしないよ。

〔主〕 もっとシヨタイじみた所で、関東煮の味ぐらいか。

〔客〕 学者であり乍らなが、譬たとえが兎角とかく下品だと叱られるぞ。チェリーカクテルで籐椅子にもたれ、とは評論社にも中々豪の者が居るね。

〔主〕 ウウン文学青年なら、可成古色蒼然かなりしよくそうぜんたる所から、中古チヨイ古、月おくれ五割引位の所迄そら揃うて居る。但し目下ただ発熱中四十度内外という風な重症患者はないから、御安心を乞う……だ。

〔客〕そこで一寸夏休みだと、山代山中から蒲郡の話、芸者渡世の裏表、何やら読んでると告白小説として一寸気が抜けて居る。

〔主〕それもその筈、青春期の熱がさがった後に絞り出したものだから、生ぬるくなって気が抜けたビールを、改めて氷びやしにするようなものだ。

〔客〕それに、宿屋の提灯持兼旅行案内としては、吉田初三郎の案内画や菊池寛の『火華』の様にあつかましくないから、物たらぬ。

それからローマンズの処々から後援、煽動、公示、拾頭だとか、物凄い字がヒヨコヒヨコ首出すから物騒だ。

〔主〕それはお里は争われぬさ。まあ暇な時に、我社のフロイド学者安田徳太郎君を煩わして、「夏つよみもの」の心理分析をやつて貰おうかなあ。

扱て、君と問答して居るとついつい脱線するが、我々の問題として居たのは小児病其他の病に就いてである。

それで君の意見によれば、産児調節に関する壮年者夫婦の要求は一種の壮年病だというんだが、一体「病」と名のつく状態は常態でないものを云うので、概して云えば産児調節の要求は此社会でジミチな生活をして居る多数の健康な男女に於て起るものだから、壮年期の常態現象であり、何も病気という名をつけるべき性質のものでない。

〔客〕それはそうさ。丁度元気な青年が朝に悲観、夕べに樂觀、大道狭しと町を歩き廻つて邪魔する奴はポエーンとはりとぼし、あくる朝は又やるせない物思いに悩まされるような有様で、病気でもなければ、

又其男が不良青年だという訳でもないのと、同じ事だ。

〔主〕だから小児病やれ壮年病のと、病扱いの荒い事は慎しめというんだ。

所で考えなければならぬ事は、一部の人々の間に於て、次のような考えを抱いて居る人がある。即ち避妊法の智識が普及したならば、第一に女の貞操の根柢が危くなる。第二には殊によれば命に別条ある程に危険を冒して迄して子を産む者はなくなるだろう、という心配を抱いて居るんだ。

〔主〕そんなに貞操が保存したい亭主共は、やがて中世紀のヨーロッパ騎士が十字軍出征の前に妻に貞操帯（妻が他の男性と性行為をしないように鍵穴付きの鉄製で排泄用）をはめたような仕掛を發明するだろう。  
（に尿道口と肛門のみに穴をあけた女性の性器部分を覆う器具）

〔主〕いや我国でも日露戦争の時旅順攻囲に出征した軍人の中で、西洋の事を知らずに、独立に發明した者があつたと伝えられて居る。およそ天が下に新しき物ある事無しだ。

〔客〕そんな物が普及したら、専売特許の錠前（じょうまえ）が売れるぞ。併しそこは女性の叛逆という所で、全世界婦人連盟で調査委員会を組織してあい鍵を工夫（くふう）するから、男性の専制なんか到底見込がないね。

〔主〕西洋の諺に「ラヴは門の扉のカンヌキやつつかい棒を嘲る」とあるが、此事だ。支那の先哲の曰く「ケツ隙をきつて」何とやらすると書いてある。

〔客〕その序（ついで）でに孟子を引用して、「もぐり能（あた）はざるに非（あら）ず、敢（あ）へてもぐらざるにあり」。貞操は男の強制によって守られる物なら、一箇三十五錢の南京錠とかわりがないが、女自分の意志で守るから有難いのだろう。

〔主〕その通り。一体こつという考えは、今眼前にある社会の中の性生活に対する見方できまる。つまり女という者は少しも眼を離されぬ危険な家畜で少しも監視の目を緩める事ができず、握った手綱（むち）と鞭とは



少しも手離しができない、という一種の性悪説に基づいた態度だ。

〔客〕丁度ちやうど今日の支配階級が新興プロレタリア階級に対する態度と気持が同じで、うわべは強いが、内心ビクビクしている。そして道德的自信が少しもないから、虚勢を張れば張る程内かぶとがハッキリ見すかされて、寧むしる憐れな気持がする。旧式な亭主がお客の目の前で、妻君の横よこっ面づらをはりとぼし、お客の御馳走にする式でね。

〔主〕敬意も払い兼ねるオヤジになぐられ乍なら育なつた男によくある型だ。此性悪説の人生観と女性観は永年叩き込まれたブルジョアの奴隷根性の一部たる恐怖と信仰であり、理屈だけでは到底覆す事のできぬ固定観念こていくわんねんというか、殆ほとんど潜在意識の問題になつて居る。

〔客〕人類全体の進化に関する信仰に帰着するね。そんな大問題は又今度にしよう。

〔主〕だから今日の所謂いわゆる女の貞操が果して妊娠の恐怖で辛かろうじて維持されて居るかどうかの問題は、当分保留しておいて、次の心配即ち避妊法を女が知つたら子を生む女があるまいという点に就ついてだね、君はまだ結婚して居ないようだが、どう考えるかね。

〔客〕さあ、或はそうなるかも知れぬような気持がする。うみの苦しみを経験する女の身にもなつて見てね。

〔主〕そう若い男は考えるだろうと思つた。併しかしそれは子宮という物をもたぬ男だけの考えでね、女に天が与えた母性本能は、到底経験に乏しい男には想像のつかぬ程、根差しの深い問題だ。いかにタワイもない少年少女の恋愛でも、女にはいつか母の問題が出てくる。

〔客〕結婚して下さいとすが継り付かれる場面だろう。

〔主〕 何だか体験のあるらしい口振りだね、まあ宜しい。所で子を宿しそうだから、ひたすら継り付くのではなくて、実は何の理由も無くただ何かなしに母になりたいと、年頃になると特別な感じが湧いてくるのだ。

〔客〕 女の子が「おかあさん、おみやげに人形を買ってきてね」というのが、進化するのかい。

〔主〕 さあ、そうだと解釈される。女が二十から二十五迄はただ青春期の不安が多いので、此母性本能がハッキリと自覚されて居ないが、愈々三十歳の声も掛ろうとなると母になりたいという気持が明らかに十分にわかつてくる。

其頃に既に人妻となつて居乍ら、子をもため女達は非常に子をほしがる。神仏に願を掛けて、或は湯治に赴いてと、生活に余裕のある人ならば色々な試みをやる。仲々産児ストライキどころのさわぎではない。

〔客〕 子を孕めぬと宣告を受けた芸者が、本当の赤ん坊よりも大きい人形におべべをきせて、愛撫する様な一種の寂寞をまぎらかすオモチャとして求める様なのならば、寧ろ有閑階級のゼイタク沙汰だ。誰かから性病を貰つた挙句の不妊ならばぜひも無い、うっちゃつておき給え。

〔主〕 それは残酷だ。ナモチャとしての子を求めるといふよりも、もう自分の短い半生もすぎた。あと半生をいかに有効に利用するにしても、そう長くもない。せめて自分の血を分けた児を儲けて、其子に自分の社会的生命の延長を求め、又他の意味での靈魂不滅を計ろうとする心持が湧いてくる。

この気分は殊に母性の発達した女に於て明らかだが、それに比べて割に無責任な男でさえ、三十歳を越えたと普通の人ならきつと親になりたい気持を起すものだ。

〔客〕 遊蕩文学の大家近松秋江君の子煩惱小説に見るが如しかね。

〔主〕まあそうだ。君だつて三十歳すぎた時に、初めてしみじみ悟る時がくる。革命家だつて子を残して悪いという法はないからね。子供なんこうるさい動物は眞平御免というのは、二十代の男だけの考えだ。三十すぎてなお、そんな考えを抱いて居る男は、それこそ本当の小兒病患者か、それ共若氣のあやまちで淋毒性睪丸炎に冒され、生殖不能に陥つた男の負け惜しみだろう。

〔客〕そうかなあ、君自身が子煩悩だから、そういうんじゃないか知らん。

〔主〕小説家は自分の告白で飯を食うが、自然科学者が自分一個の体験にこびりついて居たら、とても手も足も出せぬ。勿論性学は自然科学たると同時に、社会科学であるから、個人の体験が其中に入つてくる。併し小説の様に葦の髄から天をのぞく式の、たつた自分一人の体験ばかりでなしに、統計的に大勢の人々の体験を集めて、いわば編輯するものさ。むろん編輯者の個性は影響が無いとは云えないが、資料の数が多ければ多い程、その特殊な編輯でも編輯者の個性がぼかされて、現実の真に近いものが写し出される所に、自然科学的研究法の妙味がある。

それで、あちこち走り廻つて告白や批評を集めるのだが、此母性本能に就いて特に感じたのは、大阪郊外のブルジョア住宅区域の或邸で、「大会社重役及び其夫人達」の社交座談会に招かれて、一場の産児調節講演をやつた時の事だ。

〔客〕無産者がそんな寄合を聞こうとすると、色々の邪魔が入るが、その時はどうだったい。

〔主〕どうもない。金持のクラブや社交茶話会は治外法権だ。金があつて其上に横文字がよめたら、西洋の春画（ポルノ）や枕草紙（ポルノ）が自由自在に手に入る時節柄だ。科学講演より更にエゲツナイ実物教訓があるという位だからね。

〔客〕落語家に一席という代りに、近頃流行のサンガー夫人の話を、プロレタリア御用学者の榮養不良らしい所を一席というのかも知れぬ。

〔主〕そういう気持がわかつて居ても、そうそう毛嫌いする必要もあるまい。今迄のブルジョア御用科が自分の小天地にたて籠って、智識の独占を図って居たから、そのシツペ返しにプロレタリア科学も亦自ら城壁を高うして縮こまって居たら、勃興はおるか、早その初期に化石化してしまう。やはり学問の研究にしても宣伝にしても攻勢に出なければウソだね、学問の生存競争だ。

〔客〕そう肚を据えたつて、此頃の君の忙しさだつたらとてもそんな処へ首出す暇があるまい。其頃はひまだつたんだね。

〔主〕まあそうだ。所でその名流紳士淑女のお集りで、一回の中休み、午後三時間の長講、終つて質問は皆婦人ばかり、そして避妊でなくて、私の方では子供がなくて寂しいのですが、どうかして授かる法はありませんか、というんだ。

〔客〕つまり主人がどこかで活躍してくる、どこかに落し種があるような、それに対抗して彼の愛をつなぐというための手段で、可成外交的な動機からきて居るブルジョア家庭特有の悲哀なんだろう。

〔主〕そう残酷な批評を下すものじゃない。兎に角他人の眼の前で熱心に質問するその真剣さには同情した。そしてそれがただ一人、二人でなかつたのには、余程ビックリした。

〔客〕此前に君の雄娠生理の講義の中に、九州大学医院外来患者の女で不妊を訴える者に就いての調査では、その子のない夫婦の総計に就いて六割強は夫の欠陥、即ち精子が全く無いか、それ共あつてもフニャフナした弱い精子ばかりだから子ができない。つまり種に文句があるので、畑のセイじゃないという

くだりがあったが、あれを話しておいたのかい。

〔主〕ウン。チャンと先廻りして講義の中にいっておいた。そして其夫の生殖不能（性交不能でなくて）は、時としては前に菌の感染によつて辜丸炎こうがんを起し、精巢の生殖細胞層が全部又は一部荒された為に、そんな結果に立至る事もあると説明しておいた後の話だ。

〔客〕それを聞いて胸にギクリときたのと違うかなあ。

〔主〕イヤ、お話はそうありましたが、内のに限つてそんな秘密のありそうな筈はずがありませんがと一々断りがある。

〔客〕「知らぬは奥様ばかり也」か。その筈はずがあてにならないて。

〔主〕無論其人々にも多少疑いがあり、殊ことによつたら夫の欠点でお話の通りの様な事でしょうか、先生の御意見は、とくる。

〔客〕先生様におかせられましたは、どんな断案が下されるでしょうか、次の映画に御紹介……いうて、キネマならばあとは明晩という所だね。

〔主〕聞く方でも中休みを請求する位だから、思わせ振りではないが、一寸休みちよつととしよう。去年からの約束で、これから信州へ出発だ。盆すぎ十日間、飯田から諏訪へ掛けて性教育講演行脚に行つてくる。

（『産児調節評論』八号）

## 其六 精虫ものがたり（一）

〔客〕此前は、話が丁度面白くなつた処で打切つたが、あの続きをききたいものだ。

〔主〕あんまりあちこちと顔出しするものだから、問題が何やら、話がどのあたりで打切りやら忘れてしまった。御苦労だが覚えてる所のあらましを繰返して呉れ給え。

〔客〕よろしい。或金持の邸で午後開かれた談話会に君が招かれて、産児調節法の中、特に避妊法に就いて一場の話をした所が、其話がすんで後の質問に子を儲けたい奥様連がドシドシ出てきて、君を驚かしたという一条、私共の方に子ができないのは、先生の話の一節にあつた様に一体全体夫の欠陥によるのでしょうか、先生の御意見は、と詰め寄せられて、君が目を白黒させたという場面だ。

〔主〕オイオイ目を白黒させるなどと、大げさな形容をするものじゃない。

〔客〕だって其時弁慶ちつとも騒がずと、落着いて居たのでもなさそうな口振りだったね。

〔主〕それは少しはまごついたね。問題は抽象された普遍的のものでなく、聞く女と其夫とに直接影響の及ぶ事だ。答え方が不注意だったら、早速その講演を聞いて帰って其夜にも、家内に風波が起るかも知れぬ重大問題なんだ。此際十分前後を考えて、そのデリケートな所を外交的に切抜ける必要を感じた次第だ。

〔客〕と聞くといかにも勿体らしく殊勝らしいが、其実いかえて見ると、当り障りの無い様にごまかして其場をのがれようという算段だね。

〔主〕そうそう悪意に解しちやあ困る。が併し私生活の秘密もあるし、男の方の若気のあやまちで前非を後悔して居る事も多いし、よしんばその問う女の夫が、僕の親友であつて、彼の過去半生の色々を知つて居たにしても、其場合彼女の前に残酷な現実暴露を試みる事はできない。

〔客〕それはそうだ。特にほじくり立てて、平地に波瀾を起す必要も無し、今更旧悪をさらけだして、

夫婦喧嘩をさせて見た所が、慢性しやうがん睾丸炎が一日でも早く全快して、玉の如きごと一子をあげるという訳にもゆくまい。

〔主〕だから其際みすみす夫の側に不妊の原因があると見きわめがついて居ても、そうだと引導を渡す事もできない。まして初対面の女に応待して見て夫の性的器官系の一部に欠陥があるかないか、千里眼を働かす事もできない。

〔客〕併しかし其女の顔色、血色を一瞥いちべつして、あら方見当のつく場合もあるだろう。

〔主〕そういう事もないではないけれ共ども、病気がよほどひどくなければ、一見して看破する事も可能でなく、又他の色々な原因で。同じ様にやつれて居る事も多いのだから、一目見て何とかキツパリ断案を与える事はできない。

〔客〕でもそういう風に大事をふんで。オドオドして居らずに、やにわに質問者に対して「お前の夫はいついつ何日にかくかく斯かよう様のわずらいにかかった事があるに違いない」と、高飛車におつかぶせる医者もあるだろう。

〔主〕うん落語に出てくる売卜者（うらな いし）が田舎者の手を握って「お前さんの裏には柿の木があるじゃろ、ちゃんと手の筋に現れて居る。イヤないてウンそうそうないと現れて居る、ないからふり掛った禍を逃れる事できる」と。カマをかけて天眼通を誇って見たのも、古いやり方だ。併しかしこういう風のやり方ですきな人も少なくなないから。医者をおすぎの種して居る人は、時としてはそういう風に断乎たる語を下さねばならぬ必要にも迫られる。けれ共ども、今の場合何そんな言葉で問う人の度胆どきもを抜いて、エラそうな所を示すにも及ばない。

〔主〕 じゃ、何はともあれ、問われてもトツサの中に目を白黒はしなかつたけれ共、答え方次第で事は重大だと思ったから、色々考えた上で、やっと答えたというんだね。

〔客〕 ウンそうだ。

医者へ行け

〔客〕 そこで、その時の答はどうだった。

〔主〕 「あなた個人の問題は、あなたなり又御主人が専門医の診察を受けて精査の後でないと、何とも断言はできません。殊に私は順当な人間の性生理の研究者であり、色々の故障の解決の実際的処置は専門の医師の仕事として、私はでしゃばらぬ事ときめておりますから、どうか此件は其方の専門家に相談して、まず第一に見ておもらいなさい。その上でなすべき事が定まりますから」。

〔客〕 こいつ、うまく逃げたな。

〔主〕 逃げたわけじゃないが、そういうより仕方がない。帝大医学部の講師を一年余り勤めたと帳面づらにある僕だって、免状をもった医者じゃないから、直接人体について触診を試みたり、子宮鏡を持出すのはいささか遠慮する必要があるだろう。

〔客〕 たださえ医者 of 悪口で憎まれて居る君なんか、陥れられない様に、その位の用心は必要だね。職業意識からの縄張り争いで、後難がうるさいという事もあるから。

〔主〕 そうだ。普通の医者 of 所へ聞きに行つても、仲々要領を得ない事を引きくるめて、性学三時間速成卒業のお話なぞすると、一部の玄人から所謂「学の神聖」を漬すものとして、お叱りも受ける。



〔客〕つまり特権階級の独占に拘る智識の蔵を開いて、廉売をやるものだから、智識を惜しみ惜しみ乍ら売った奸商共がブウブブいうわけだね。

〔主〕ブルジョアの学問は、わかり切った事を精々モツタイらしくわからぬように云い廻す所にあるが味がある。手短にいえば一時間でもわかる事を帝大法科などへ行けば、何氏の曰く、何氏の説によればの連発で、三箇年でも一箇年にでも引延ばして居る。

〔客〕水枕といえど誰でもわかるのに、態々ヒョウチンと音読して、患者を面くらわして悦ぶ看護婦が居るのも、その気持だ。

〔主〕話はわかるが、此間も兵隊さんが行軍の道すがら一服の時に、銃をひねくり廻して、ゲツケイハツジョウ云々と云うてるのは、びつくりした。

〔客〕なある程、性学者の耳には「月経」と「発情」即ち医者の方でメンゼストとブルンストと響いたんだね。

〔主〕所で兵隊さんの口にするそのゲツケイ云々の何たる物か、君は知ってるか。

〔客〕そんな事位、憚り乍ら左傾したと雖も、我輩も在郷軍人の一人だ、チャンと心得て居る。ゲツケイは撃莖で、雷管の後の端を叩く針だ。ハツジョウは発条で、其針をはねるバネだ。爆発物に関係があって弾力性を具えて居る点では、この撃莖発条でも、君の早合点した月経発情でも、大して違いないが殺伐極まる兵隊の持物だ、鉄砲には一寸不似合な艶っぽいひびきを具えてるね。

〔主〕君の今という艶っぽいという語は、いいかえれば「いかかわしい」ともとれそうだね。

〔客〕左様左様、丁度君達の雑誌にあったカットみたいに、虚心平気で見ておれば何ともないのに、或

人に見せると、「いかがわしく」なるんだ。つまり「いかがわしい頭の持主」が見ると、何でもいかがわしくなるらしいね。

### いかがわしい問答

〔主〕そう見れば、此問答だって、いかがわしい人物が二人よって交換して居るいかがわしい対話だ。人物といひ話題といひ、いかがわしさの限りを尽くして居る。誰かが目を光らすのも無理はない。

〔客〕併し今我々の濫用するその「いかがわしい」という語の使い方それ自身が、第一いかがわしいんだ。日本語はどうも其点アイマイすぎる。

〔主〕そのアイマイな所が欠点の長所で、融通のきく日本語を活用して、ズルズルベッタリに性啓蒙に於ける攻撃精神を發揮するんだ。何にせよ「いかがわしい」という語が苦になるなら、その言海をくつて見給え。何とある、

〔客〕いかがはし イカガニヤ疑ハシオボツカナシ 可疑 とある。

我々の今の使い方では、一番後の意味、疑うべし、英語のサシピシアス、即ちうさん臭いと解して居るんだ。

〔主〕警察語の所謂「容疑」というやつだね。それなら見る人の感じ、気持という主観の問題になる。つまり余りいかがわしいかがわしいと騒ぎ廻ると、いう当人の神経過敏さをさらけ出して、人に内かぶとを見通させる事になる。

〔客〕併し我々の様に、何事にも興奮せず、「いかがわしさ」を感じぬ程に、神経過鈍になつても困る

と、連中共はいうてるんだらう。

〔主〕何でも「臭い物にはふた」と病的に興奮したがる性的隠蔽主義の立場から解放されるならば、誰でもこうした屈託のない気持になるのが本当なのだ。

〔客〕そこで徹底的ワイ談で夜明かしして、頭の中に張り込めてある「羞恥心」という一種の処女膜を取除く必要もできるわけだね。

〔主〕実際にさし向いで対話して居るなら、問題の内容は極く簡単だから、こうもダラダラ押問答を繰返す必要もないが、どうも活字にして紙の上に並べ、お上の役人の目を通すという事情の下では、ぜひも無い。

〔客〕それに商品として市場に出す以上、或程度まで世間並に頁数をふやす事も肝腎だ。併しブルジョア科学の廻りくどさを罵り乍ら、やはり廻りくどく持つて廻つて居る所は、ヨタそれ自身の滑稽さを通越して寧ろ悲惨というべき感があるね。

〔主〕それは移り行きの時代の事だ、仕方がない。産児調節だつて、左傾は左傾だが、左傾軟派だと人は見くびつて居ても、実は我々の考えて居る所を腹の底までぶちまけてズケズケ話したら、早速一大事が勃発するね。

〔客〕そんな事はお互の間に以心伝心さ、今更注意する必要もない迄に、そこは宜しく口舌を調節してらんじゃないか。所でそんなヨタ問答の種あかしや、過渡時代の愚痴はいい加減に打切つて、本題に立戻らう。

## 子無きは去るその前に

〔主〕 よろしい。丁度話ちやうどは、子が無い為に寂しさを味わう女に対する助言であった。で実際そんな困難があればその夫婦はすぐさま専門医の下に赴いて、健康診断を求め、まず第一に不妊の原因が夫婦のどちらにあるかを決定する事が肝腎だというたのだ。

〔客〕 つまり畑が悪いか、種が悪いか、それを玄人くろうとに見て貰もらうてきめると、いうんだね。

〔主〕 まあ言葉はあらつばいが、そんな所だ。そこで今迄は「子無きは去る」と、女房を追出す条件の七つある中の一つに数えられており、不妊は妻のみの欠陥によるものだと、あつさり断定されて居たが、実際そんなべらぼうな事はない。前申したように、福岡の九大病院の調べによつても、子の出来ぬ夫婦の六割以上も、君の所謂種いわゆるがわるい為に、其なやみがあるんだという事がわかつた。

〔客〕 子無きを以て追出されようとする妻は、放逐に先だつて、宜よろしく夫の精虫の健在いかんの調査を要すべし、という事になるわけだね。

〔主〕 その通り、種の悪い事は無論不妊の原因になるが、なお其外に、よしんば種に申分はなくても、種のみき方即ち夫婦相和する其様式の上手、下手で又子のできぬ事も起るから、閨房の秘事教えられず習わずして子宝を授かるうとしても、そう簡単に事が運ばない。此事は夫婦の性生活に於ける重大問題だから、追つて詳しく別くわに述べよう。

〔客〕 例の「いかがわしい問題」だとにらまれそうだから、そんな事を云つて体よく逃げるんじゃないか。  
〔主〕 ばかいえ。通俗雑誌にわかりよく書くのには、一寸骨ちよつとが折れるが、曲線や表を用い純学術的に説明するのには造作もない。現に私が三年前に公表した『性教育』には、図版四葉を添くわえて詳しい説明があ

り、科学の素養のある人には十分会得できるようにしてある。

### 精虫ローマンス

〔客〕 所で其種のよしあしを先決問題として調べるのに、精液をどうして純粹にとりだすんだ。例の家  
内手工業の御厄介になるのかい。

〔主〕 やむを得なかつたら、それも仕方がないけれ共、通常な順当な性交を行つてコンドームを添え用  
うるの法即ち Coitus condomatus によつて、純粹な精液を採取する。なお時としては、そういう風に普  
通の射精によらず、調べる人の肛門から精囊をおさえ、少しばかりおし出した精液が尿道の端からにじみ  
出るのを、硝子ガラスの上に一滴受けて、生理的食塩水にうすめて、すぐに顕微鏡のレンズの下へ持つてくれれば、  
其中にハツラルたるやつが縦横無尽に活躍しておるのがあたりまえだ。何しろ一回分の液の中に多くて四  
億から少なくとも六千万匹、即ち支那四億の人口よりも少なく、我日本六千万の人口よりも多い平均二億とい  
う莫大な数のいき物がウヨウヨ居るんだ、壯観だよ。

〔客〕 その二億匹全部が、顕微鏡でのぞくと、一時に見えるのかい。

〔主〕 のぞくなんて、八百屋お七か六反池おりえ殺しの、のぞきカラクリ眼鏡のように、顕微鏡を考え  
ちゃ困るね。飛行機で海上高く飛上り、見下せば、海底にうろつく、大はマグロより小はイワシに至る迄、  
さながらたなごころの中の物を指さすが如く読める、とよく按配あんばいの見晴らしじゃないよ。まず譬たとえて云え  
ば、水族館の魚槽を横から見ると一寸似てる。あの時は光線は横からさし込むのだが、顕微鏡だと硝子ガラス  
二枚の間に例の液がはさまつており、真正面から光線がくると、其部分、つまりレンズのさきさきに当る丸い

場所の中だけが見える。

〔客〕なる程、そうするとオペラ・グラスで芝居の舞台を見下した時の様に、目星をつけた外の処は見えないんだね。併しそしたら、見下した場所によって数の多い処やら少ない処やら、相当にムラが多いんだらう。

〔主〕ウン実際多少のムラはあるんだが、正確に数を読むには、動いて居るままではどうにもならぬ。獵期あけの夜あけに、湖の岸の藪かきわけて鴨打ちに行つても、愈々夜のしらじらあけにズドンと火蓋を切ると、其刹那ザツと飛上る鳥の数何百何十羽と間違ひなく数える事はできまい。

〔客〕そうだ、併し活動写真に撮影して其フィルムの或一片を現像拡大して、やきつけて見た上で一、二、三、四としらみ殺しに、写真の上の鴨に番号でもつけて見たらよからう。それで何百何十何羽という正確な所は突止められる。

〔主〕そうそう其要領で、生物学者は細胞の数や染色体の数を確かめるんだ。所で一体、二億という数をよむのに、一つ、二つと数えて行つたら、どの位の時間掛ると思うか。

〔客〕さあ二億円をば一円のさつ束で積上げると、丸ビルの頂上迄届くか、それ共富士の剣ヶ峯より高くなるか、そんな事は考えて見た事もない。

### 二億という数

〔主〕よろしい。では数の上で二億という大きさを考えて貰おう。一日は二十四時間、一時間は六十分、一分は六十秒、それで二十四時間は八万六千四百秒だ。だから一つ、二つと一秒に一つ宛数をよめば、一

昼夜不眠不休で稼いで、やっと八万六千四百、即ち精虫の数を一匹一匹数えたって一昼夜に十万たらずしか読めない。

〔客〕生物学者などは、社会的慾望の欠けたボクネンジンだから、八時間労働三交代なぞと云いはすまい。問題は極めて簡単だ。

〔主〕フン、生物学者だつて人のくいたい物はたべたい、人の飲みたい物は飲むぞ。そう見くびるものじゃない。唯問題は数勘定の事だから、労働問題は一寸休憩ちよつととするんだ。高利貸が、自分の富を十錢銀貨ならば何トン、五十錢銀貨で何トンと数えて悦ぶ道楽じゃないんだからね。

〔客〕まあ云い訳は簡単、こつちも交ぜ返さずにまじめに聞くから、進行進行。

〔主〕よし、で一昼夜不眠不休で精虫の数を読んで見て八万六千四百匹、大正十二年の推定人口で和歌山全市の頭数にざつとなる。それで毎日毎日その調子で数えて、二億を読みきるには驚くなかれ二千と三百二十四日、数え直して六箇年四箇月あまりの長日月を費す事となる。

〔客〕其時の一発で数えもれの一匹が命中してたら、もう満五歳と何箇月の腕白うしろざかりに迄、成人してらあ。

〔主〕所で実際そんな長い間に勘定し続けたと、君は思ふのかい。

〔客〕そんな馬鹿正直な奴があるものか、そこは宜よろしく便法で、どうせ無知文盲の素人輩しろうとにわかるものと、チヨイチヨイとごまかしておいたんだろう。

〔主〕ウン、ごまかしはしないが、全部数えて居たら、それ程時間が掛る仕事なのだから、液の一部を代表的標本と看做みなしてとり、其中で数を読み、平均の数をきめてから、全部にさかのぼるんだから、今云

う程に事面倒じやない。

〔客〕 そうだろうと思ひ乍ら、学者の素人おどかしに一寸釣り込まれて見せるような一種の八百長だ。

### 精液のかいほり

〔主〕 そこでまず、顕微鏡の下の液という小天地の一部を見下すに際しても、生殖能力のありなしを決するのなら、一寸とつて一寸見ればいい。ホンの一滴だけでいい、即ち新鮮なとり立てでありさえすればいい。

〔客〕 何も二億の大軍全部の観兵式には及ぼぬというわけだね。

〔主〕 所がそこによく誤解があるんだ。医者がよく寄生病虫の疑いのある患者に検便の材料を持ってこいと命ずると、一寸小匙に少しばかり入用の所へ、黄金塊一回分をしたたか折詰め持込んで、驚かすという風の喜劇が屢々起るんだ。つまり液の分量が多くなければ、決定ができないと素人考えして、液が少なくいと煩悶するんだね。

〔客〕 じゃあ、今度から前以て「精液多きを以て貴からず、精子ハツラツたるを以て貴しとす」と予告しておくといい。

〔主〕 フン、とんだ性的実語教だ。扱て、液は少量でもいいから、新鮮なものを見て、活発なのがおればよいが、たまたま相当の数はあっても、その銘々が、よしんば動くだけの活力が具わって居るにしても、頗る動き方が心細い様ならば、まず大抵はダメだ。子は当分できまい。但し永久にダメだと引導を下したんじゃない事を特別に断っておく。それから他の場合には、精虫の死屍累々たるものを見る時もある。



なお又、液があつても精子が一匹もおらぬ事もある。これは健全な男でも余り頻繁に繰返して、精液を消費する場合にも起る。

〔客〕 欲張り男が溜池のかい掘りを、年に幾回となくやる格だ。あまりさらえ過ぎると、鯉、鮒ふな、どじようだつて繁殖する暇もないからな。

〔主〕 まあそんなものだ。イタリアの性学者ローデが或一人の試験人物に就いて、四十八時間の中に適當の間隔をあけて六回精液を採取して、液内の精虫の数の変化を調べて見たら、段々後になる程数が減じて、しまいに第六回目の標本の中には、液はあるが精子の数は零だつたと報告している。

〔客〕 そしたら保留を永久に続けたら、無限に多くなるものかね。

〔主〕 君のさつきいうた溜池だつて、何年もさらえずにおけば、池の中は魚だらけになるかい。

〔客〕 そんな事はない。或制限があつて、一定数迄ふえたら、それ以上無限にふえはしない。かい掘りにしても、二年に一度とか三年目とか、丁度頃ちやうどあいの時期がある。

〔主〕 それそれそこだ。或定まつた環境の中で生活のできる一種の生物の数は、他種の生物の数とも関係があり、或一定の最大限がある。精虫でも、国の人口でも、満員電車の定員だつて、みんな同じ事だ。それでローデの観察によれば、精液を採る事一週間ななし乃至十日を隔てる時は、其液の中に存在する精子の数は最大だという事である。即ちそれ以上永く貯えておいても、もはや多くはならぬわけだ。

〔客〕 あまり長く貯えておいて多くならぬという事は、前に或中学の先生から聞いたことがあるが、ふえぬのは精液の中で精虫同士が互に共食いするからだという説明だつた。一体精虫なんて矢張やはり弱肉強食で共食いするのかね。

〔主〕その説明を文字通りに丸呑みされると、大いに困る。いずれ追つて精子の凶はのせるが、大体蛙の子のような形で、三角形の頭、棒のような胴、それから蛇の様に動く細長い尾、この三つの部分からできて居る。所でその頭にしても、別に目鼻口が具そなわつて居るのではないから、互にかみ殺しあうというても、ノツペラボウのお化けには出来ない芸当だ。併しかし其生命をつづけて居る環境の中で、与えられた一定の栄養分をとりこむ点で、抵抗力や何かで自おのずから適者が残るといふ事になる。此事を形容して、弱肉強食だと云うて云えぬ事はない。

〔客〕所で今の話に、七日乃至十日おきに精液をとれば精子の数は最大だといふ事実があるが、それでは其位の間隔を隔てて夫婦の道を全まうせよ、と云うわけになるのか。

〔主〕そう無造作に飛越たされて堪たまるものか。精子の数が多くて、そして其銘めい々むいが健全であつたら、勿論もちろんそれで卵に対する命中率が増加するのは、当り前の事だが、唯この一例だけで、すぐさま性交度数の法則を押立てられじゃ、余り気が早すぎる。

### お手作りの研究

〔客〕たつた此一例というんだが、お手前物の人間の事なのだから、小説家が自分の恋愛事件で告白小説を盛んに濫造らんぞうする格で、何も実験人物をよそに求めず共、世間の医学者や生物学者が銘めい々むい自分の家庭で実験観察をしたらいんだ。他人をモルモット扱いにする事は盛んにやつて居る。いい加減な注射液を造つては動物試験もロクスツポウやららずに、自分の子供達にメツタ矢鱈やたらに注射する事を、鼻高々と自慢する医者もある。之を宣伝と知らずに悉ことごとく丸呑みして受売りするバカ新聞もある。夫の研究にわたしの血肉

を提供しましたなぞとおつしやる未来の博士夫人も居られる凄じい世の中だ。実験動物の相場が上り、エサが高くなると、こうした自家研究がはやるんだが、精子の数の変化だって、君等がうちでコソコソ観察してやれば、立派な研究報告ができるぞ。

〔主〕こいつは参った。實際その通りだ。やってやれぬ事はないんだが、肝腎かなめの自分自身をモルモットにする事は、いかに科学的精神にあふれて居ても、今迄やれなかつたのだ。燈台下くらしという事もあるからな。

〔客〕今更恥ずかしいなぞと云われる程に、おとなしくもない癖に。

〔主〕そう詰寄せる君でも、扱さてそれでは、今晚から一年間衣食住に関して悉ことごとく心配の無いように保証してあげる、最低賃銀幾何いくばく、それから一年後の解雇手当幾何いくばくを契約するから、此一年間精液処分の其内容の検査に就いて、吾輩に全権を一任して呉くれるかね。

〔客〕異性と同棲ができるのなら、承知する。

〔主〕同棲させては実験観察が十分に完全にできぬ。矢張命令通りに条件附禁慾生活を続けて呉くれなければ、研究の必要も無い。それが注文通りにできるなら……。

〔客と主〕（声を揃えて）サアそれは、サアサアサア。ワハハツワハハ。

### 性的モルモットになりがたい人間

〔主〕そうれ見た事か。だから、こういう事は、資料が集めにくいというんだ。生活条件を一定にして、後から誰にも非難のいれる余地の無いように、科学的に厳密に条件を按配あんばいして、尚なおその上「風紀」を害せ

ぬようにと、四方八方の注文を満足させようとすれば、仲々手も足も出せる事じゃあない。

〔客〕そら帝大に職を有して、盆暮にボーナスをもらい、文部省から研究費の補助を受け、停年に達するまで大過無く勤め上げて、帝国学士院会員に納まり返ろうとプログラムをたてて居るから、学問と慾との二筋道で不可能に陥るんだ。

併し君のような「野武士ゴロツキ喇叭吹き学者」になつて見て、いわば立ちん坊アンコウ同然、といつてもプロレタリア同士で人間性を冒瀆するんじゃないが、お気に障りそうだったら（ブルジョア新聞の真似をして）ハイカラな方の「自由労働学者」とでも、尊号を奉られる方で、云う事じゃないそ。

〔主〕ウンその方はまず自由でも、所謂餓死するの自由の方で、野武士ゴロツキにつきまとう不自由もある。が、そんな事は何でもない。兎に角人間に就いて実験観察を進めようと取掛ると、例の「社会風教」の妨害以外に、人間自身の心持がイモリやウサギやモルモット以上にわかり過ぎて居るから、却つて手が出しにくいという点もある。

〔客〕そりやそうだろう。君達が動物商人から雄のウサギ何頭を買入れた時、各々の体量何百何十グラム、其後何日幽閉した後撲殺、屠殺後摘出した精巢に於ける所見……なぞと報告してると、非人情に見えるが、人間に就いて観察するとなれば、此実験人物はジゴマか出歯亀（のぞきをする男）の如き面付してるとか、之は特に文学趣味が深く常に「やるせない物思いに耽つて居る」とか、目に附くだろうから、それも考慮に入れるとなると、余程厄介だろう。

〔主〕ウンそういう事が随分あるから、やりにくい。つまり実験動物ならば、手当り次第に健全順当な型的標本だときめて掛れるけれ共、人間だと素性がわかりすぎて居る丈に、此男の体質、性向、氣質、系

統などを、健全正常な型的男子と取扱うてよいか、疑いの心がおきる。

〔客〕 学問でも初期には大マカで進むから、余り事こまかく詮索せず<sup>せんさく</sup>にやるより仕方がない。

〔主〕 とけしかけられても、みすみす粗雑な仕事もできない。こんな事は玄人仲間の打明け話なのだが、此性研究で色々調べようとして、苦勞した挙句集めた文献だね、例の独創的研究報告という奴なんだ。これが転々他の立派な教科書なぞに結論がのつてあるのを読めば、いかにももつともらしい、そうした確りした研究もあるのかなあと感心して、愈々正真正銘の本物に取りつくと、驚くべく簡単なものが多い。どういう材料に就いて、どういう研究方法を用いて調査してあるか、肝腎の事が一向に書いてないものが多い。どて、ガツカリする。だから其結論だけを簡単に無条件で丸呑みにするか、それ共こいつは眉つば物と匙を投げるか、取捨の判断はバクチみたいな事になる。問題が人間となると、いつもこうだ。性学研究というもの、素人の想像する程に、進んでは居ない。そして今も尚中世紀式の出まかせの怪談といおうか、荒唐無稽の話が、世上に滔々と流行して居る。其一例としては、かの精液至上主義の禁慾奨励だね。

〔客〕 へへん、恋愛至上ならお馴染だが、精液至上主義とは初耳だ。なぜそれが至上なんだ。

### 精液至上主義の是非

〔主〕 初耳でもない筈だ。此間も長野県下伊那郡行脚の際、数年前早大教授内ヶ崎作三郎君が宣伝して歩いた事を聞いた。内ヶ崎君でなくても、外に同類項が随分多い。中学校や師範学校の校長や教頭の間を探せば、精液至上主義者はザラにあるね。

〔客〕 へへんそんな主義者がおつては危険千万だ。政府もそれを取締らないとはおかしいね。で其主義

の内容は。

〔主〕ウン至つて簡単だ。精液は化学分析上燐の含まれて居る靈妙不可思議の液体で、その一グラムは血液、唾液等の数百グラムにも相当する栄養価値を有するものだから、ゆめゆめ濫費すべからず、というんだ。

〔客〕なあんだい、アレの事か。

(『性と社会』九号)

## 其七 精虫ものがたり (二)

〔客〕さあ前からもち越しの問題、君の所謂「精液至上主義」の批判をして見給え。

〔主〕よろしい。所で君もそんな説なら「なあんだい、あれの事か」と片づける位にお馴染らしい口振りだったから、君がかねて聞き及んだ所を念の為に今繰返して貰おう。

〔客〕左様、どこで読んだか聞かされたのか、一寸ハッキリ思い出せないが、兎に角今日血気盛んな若者になる迄幾度となく目と耳とから入つてきて居る。其説のあらましは、精液という物は文字通りに人体液の精粹だ、その一グラムは血液の数十、数百グラムに相当する程に大切な精分を含んで居るから、此液をなるだけ体外に流れ出ないようにしたならば、頭脳は透明になり精力は益々旺盛になるぞよ、夢おろそかに発射する事なかれ、というお説教だ。

〔主〕そうそう、その通りのお話は東西到る処に昔から語り伝えられている。まず出処のハッキリした所を最初に持出して見よう。丁度ここに貝原益軒の十訓があるから、読み上げて呉れ給え。

〔客〕へへん、貝原益軒というと、その昔尋常小学校（旧制の小学校、義務教育。一八八六年設置。当初は修業年限四年。一九〇七年に六年） 修身書でお馴染みの老先生だね。安全思想の大家で色んな逸話を残して居る。なんでも性交は人生の大事だから、本日は其儀慎重にとり行うの予定と玄関にはりだして、訪問者をおい払うたというのは本当かね。

〔主〕話も君の口に掛ると大ゲサになるが、まあそういう気持はこれから読んで貰うものの中にも現れて居る。

話序はなつひでだが、夫婦の交わりは軽々しく行うべきものではないという極くマジメな態度に就いて、幕末の大学者箕作麟祥の逸話がある。

〔客〕其人なら故菊地大麓男爵の伯父しゅうとか舅しゅうとに当り、動物学の大家達たる故箕作佳吉博士の父になるんだね。

〔主〕どうもそういう入り込んだ親族関係は知らないが、兎とに角かく今の東京帝大名誉教授医学博士呉秀三氏、同教授法学博士穂積重遠氏、元教授鳩山秀夫氏なども、直接間接に其末裔になるといふ程に其人の子孫と配偶を通して、エライ人の粒つぶが揃そろうて居るんだ。

〔客〕優生学的に恵まれた家系でもあろうが、併しか一方から見れば、学者の中でも閨閥けいぼつ関係だといえるね。

〔主〕閥と名づけると感じが悪いが、理智才能すくに関して勝れた者が相引いた人じんいどうた為淘汰たうたと見れば、大変結構な組合せだ。氏素性すちようじんもあまりわからぬ素町人すちようじんふぜいが、兎とや角かく云々と嫉妬心だと解釈されるぞ。

### 名門の豚尻

〔客〕いやそういう風に環境がチャンと出来上つてると、其家筋にうまれたら、少々バカでも大学教授

になれるに違いない。

〔主〕コレコレそんな失礼な事を申すものでない。いくら親と家庭がよくても、本当に才能のない者なら、親の光りと蔓かすろばかりでは大学教授何学博士になれるものではない。

現に箕作、菊地家と肩なちを列べる程に、大家を多勢だした或医者の家筋の嫡子に気の毒な例がある。つまり姉や妹つれのれあい者〔配偶〕は皆医学博士がそろって居るのに、其人ばかりはどうもがいても高等学校に入れない。

〔客〕高等学校〔旧制の高等学校は大学の予備教育を行う学校。現在の〕だつて此頃は多くて、ピンからキリ迄ある。田舎の高校出身者の或者ときたら、大都会の中学生に少し毛のはえたような連中も居るね。そんな所へ都会落ちすればよかつたのだ。

〔主〕いや其頃は今程の学校の数も少なかった。それに加えて、親族に大家が揃そろうて居るよううちでは。うちの息子を入れる高等学校は、東京の一高か京都の三高以外ありませんと頑張る母堂がいらつしやるにきまつてる。

〔客〕そんな賢母に監視を受けると、大学生を雇うて家庭教師にして、年がら年中受験準備をやらされるんだ。

〔主〕ウンそういう熱心な母親の下に、得てして頭のよくない子供が居る。余りガミガミいうて追倒したから。却かえつていじけるのらしい。

〔客〕そんな令夫人に限つて自分の子の頭の悪さを柵もろに上げておいて、家庭教師のセイにする。勿論もちろんひとりで勉強ができる頭なら、家庭教師なんか雇わないが。



〔主〕学生の内職の内幕話で、大分ウツパンがもらされるようだね。

〔客〕いや家庭教師でも稼いで見て、そのマダムにがみがみ云われると、ツクツクブルジョア大学存立の意味を考えさせられるね。

〔主〕つまり無産者に秀才が多く居ても大学に行けぬ境遇に居るのに、金さえあればバカでも金の力でどうにかこうにか潜りこむ事を見て、憤慨するのかい。

〔客〕ウン、しかもそれが無産者からギウギウ絞上げた租税で、金持のバカ息子を収容して居るのを見るよ。いやでも危険思想にかぶれるんだ。

〔主〕まあそうそうここで憤慨したって始まらない。

扱て話の一件は、その名門の嫡子はどうしても帝大に入る事できなかった。そして親や弟姉妹から低能児扱いにされて、不愉快な月日をすごした末、とうとう気がヘンになり、終に毒を仰いで自殺した。

〔客〕可哀そうに、「やせ馬に重荷」という所だ。併ししか気の小さい男だね。僕がそんな金持のあと取りだったら。大学教授や博士ならなくても、金に不自由ないから、大い耽溺して見せる。芸者買いに博士や教授の肩書はいらないからね。そしてそんなセツカハンリユウ（折華攀柳。花柳の巷にあそぶ）沙汰にウンザリしたら。こんどはカナデアン・ロッキーの山登りにでかける。

### 礼服用の儀式

〔主〕そういう太い根性のポツチャンなら、自殺はしないね。ああ又脱線だ。話を元の処へ戻そう。扱てその箕作先生在世当時、既にその家には粒揃いのいい子供が多かった。

〔客〕今でいうと。安部磯雄先生のうちみたいだね。

〔主〕ウンそうだ。所で或人がきて、どうしてそういう風に自由自在にいい子が作れるものか。教えて下さいと頼んだ。

〔客〕「無礼者さがれ」と怒鳴られたのだろう。

〔主〕どうしてどうして、箕作先生は至ってマジメに答えた。即ち我等が今迄子を儲くるに先だつて。此人生の大事をとり行うには決して漫然と行動したのではない。吉日を選び、時をト(ぼく)して、互に精進潔斎の後沐浴(湯または水で体を清める)してから礼服用の上、事をおごそかに執行したのだ、という風の意味だった。

〔客〕礼服用というても真逆、上下羽織袴(はおりはかま)でなかつたらう。そんないでたちで一体実行が可能かね。

〔主〕オイオイまぜかえし半分に、そんな事を僕にきいたつて、当業者じゃないから「答弁の限りに非あず」だ。まあ、その位の気持だと解しておくものさ。

〔客〕よしよしそんな話はわかった。

### 精気を保ちてへらさず

〔主〕わかつたらいい。あだし事(むだなこと)は扱さておいてと、肝腎要の精液至上主義に戻ろう。さあ今渡した益軒十訓の中の養生訓巻第四、慎色慾のくだりを読んでくれ。

〔客〕ええと、こうつと「一、素問そもんに、腎は五臓の本といへり、然らば養生の道腎を養ふ事を重んずべし。腎を養ふ事葉舖をたのむべからず、唯精気を保ちてへらさず、腎気ををさめて動かすべからず」か。なあ

る程、漢法医の虎の巻たる素問に、精液を保留せよとあるんだね。

所で一体ここで腎というのは、今の生理解剖学という腎臓とは違うようだね。

〔主〕 いや今我々の腎臓と称する器官、即ち血液の中から老废物、毒物をこしとる働きをするその物をさして居るのだけれ共、其昔の考えによれば、此物は「精氣」を貯える所で、性慾の活動と密接な関係にある事、恰も現代の内分泌学説で睪丸を見るのと同じ事だった。

〔客〕 ハハアン、それで「腎虚」(漢方の病名、過度の性交による男子の身体の衰弱)という語があるのか。

〔主〕 君も若い癖に妙に古臭いことばを知ってるね。

〔客〕 いや子供の時に、内のおやじと友人がよって盛んに猥談をやっていたのを、そしらぬ顔して傍聴した時、ふと、ききおぼえたんだ。

〔主〕 すると猥談縦横も親ゆずりなのか。

〔客〕 淵源ここに存すという次第だ。僕ばかりじゃないね。大抵の日本人の内ではそうだろう。

〔主〕 いやかく申す小生の如きは、クリスチャンの家庭に人となり、親の口からワイ味芬々(強いにおい)

たることを聞いた事もなかった。そして青春期にはカンカンのクリスチャンだ。側で猥談でもやる奴が居たら、それこそ「サタンよ退け、ああ神よ彼等を救い給え」という勢いさ。』

〔客〕 そういふ君が、今日の「淫学大家」なのか。やあい、ざまあみやがれた。アハハ。

〔主〕 アハハ「万物は流転す(古代ギリシアの哲学者ヘラクレイトスの言葉)」だ、お玉杓子だって蛙になるぞ。

〔客〕 フン厚かましい点では、確かに「蛙の面に水」だ。道理でキヤアキヤアいい乍ら、水へ飛込んだり、陸へ這い上ったり、水陸両棲動物の本性を發揮してる。

## サタンの葬式

〔主〕まあ何でもよい。兎に角昔の思い出を辿つて見ると面白い。つい此間も京都で救世軍が、「悪魔の葬い」だと名をつけ、兵士が悔い改める前に所有して居た淫書春画や徳利、三味線、ラヴレターの類を集めて一括し、何か釣台の様なものにのせて、市中をかつき廻つた上、さかり場新京極の路傍で弔いの讚美歌を歌うた末、焼払う儀式をやつて示威運動をした事がある。ああいう素朴な気持に同情もできるだろう。

〔客〕ウンあの話を見聞に見た時、こん畜生、救世軍のバカ、一つきやつらの向うを張つて「悪魔の復活祭」という催しをやるうかと思うたが、そんな暇もないからよした。併しこんな考えは、彼等を偽善者だと見くびる偽善者気分なんだ。若い時の事を思い出したら、やっばりもつともだな。

〔主〕君の如き悪漢でさえ、そう思うのか。

〔客〕ウン丁度十七、八の時、うちの本箱のひきだしをかき探したら、春色何とやらと題した小説がでてきた。見るともなしによむと、実に「いかがわしい」ものだ。道のフ、ス、ウに達して、実にけしからんものだった。

〔主〕蕪奥に達するという事はあるが、フンスウとは変な熟語だな。漢字でどうかくののだ。

〔客〕性学者の癖に頭がわるいな。英語で申すラブ・シーンの極致だ。わかつたか、喝！

〔主〕こいつ一杯くわしたな、そこでけしからんと思つても熟読玩味したろう。

〔客〕熟読玩味するなど落着いた気持はない。気もそぞろ、あたりを見廻してこわごわ読み終つてため息をホホツとついた。

〔主〕 やれやれ君でもか。

〔客〕 君でもかとは、とんだごあいさつだね。僕にしても初めからそうそう徹底して居ないよ。それこそ「わらべの時はわらべの如く」だ、ベーシヨン（マスターベー）党の錚々たる一員にもならぬ頃だ。読み終つて荘然としてそれを引きだしへソーツと返しておいた。所でそのあくる日の事、その本の存在を思い出すと仕事を手につかぬ。

〔主〕 なる程、又読んで見たかつたんだろう。

〔客〕 ウンそこもある。併し読みたくはあるが、実に怪しからぬものだ。こんな怪しからぬ物を親が秘蔵したのも怪しからぬが、兎に角あすこにおいておけば弟か誰かが又読んで、自分と同じようにビツクリするに違いない。こんな害毒を流す物を隠しておくのも本箱のけがれだ、断然やつつけてしまえと、矢庭にその本をひつつかんで裏の畑へ走つて出て、炭俵を燃やしつけるや否や、其ワイ書を火の中にほうりこんだ。

〔主〕 それこそ「悪魔のとむらい」だ、天晴れ天晴れさすがは君だ、その勇氣に感服する。

〔客〕 バカな事いうて、おだてちやいかん。勇氣どころか、火中に投じた本の手垢に汚れた厚い日本紙の表紙がポロポロになつてるのに火がついて行くのを見ながら、ワナワナふるえて居た。

〔主〕 火がおさまつた後灰を掻探して見ると、表紙こそ燃えたが、中身は日本紙だから十分灰になり切らずにクスクスくすぶつてゐるのを、未練たらしく引摺りだして中をあけて灰の中の字をよもうとしたんだろう。

〔客〕 オヤ君もよく知つてるな、経験があるらしいな。

〔主〕 いや残念ながら其経験はないが、千有余集った告白を調べると、君みたいなのが可成かなりある。やはり青年はうまれ乍らまがに潔癖けつぺきなのが、常態なのだ。お互に青春期はそれ程ピューリタンであつても、今日の様な不死身になる。やはり年のせいだ。

〔客〕 年のせいだとは、何だか老人臭い文句だな。何しろ今になつても昔と同じ様なピューリタンだつたら、此命が續かぬぞ。

〔主〕 所が人によつては年を食つても、やはり中学生同様にピクピクする例は、前号の性教育講話に出た老教師や僧院の隠者だ、あれでは苦しいだろう。

〔客〕 又例の「同情をする」のも、チト同情の大安売りだ。いい加減にしておきなさい。そして話を本題に戻そう。

### 戒むる色にあり

〔主〕 ようし、じゃ養生訓の続きを読み給え。たま

〔客〕 エヘン「論語李子篇いりに曰く、若き時は血氣まさに壮なり、之を戒むる色に在り」か。「聖人の戒守るべし、血氣さかんなるに任せ、慾色をほしまゝにすれば、必ずまづ礼法にそむき、法外を行ひ、恥辱を取つて、面目を失ふ事あり、時過ぎて後悔すれどかひなし、かねて後悔なからん事を思ひ、礼法をかく慎しむべし」

いかにもその通りだ。礼法を慎しむという意味が、目上の者にごまをすり、上役のお髭の塵を払うのでなかつたら、あとの全部は現代人たる吾輩だつて肯定するね。

〔主〕 そうだ。無産階級の解放運動でも、金銭と性の問題にダラシない人は早晩失脚するんだ。僕もその間の消息にかけては、可成かなり近づいて見て此二、三年つづけて觀察して見たが、この人こそと望みを掛けた人がヒヨんな事で運動の圏外に追放される。一向いっしょう此頃顔を見せないなあと思うて居たら、何か女か金の問題で人中に顔だしがでなくなつたという事を聞いた。

〔客〕 ウンそんな戒いましめを初め聞かされた時、なんだこいつオヤジ臭い事をぬかすな、あすは甘糟大尉がおれをしめるかも知れぬ、米村をズドンとやりそこなつたら、きやつにズドンとやられるんだ、飲めよ食えよ、あす〇〇ふせ字（命）革来るべければ也と、メートルをあげて居た（酒を飲んで気あせ炎あせ上げる状態）連中が我々の近所にも相等居たが、そんな連中がボツボツ落伍してしまつた。そして残る同志は、皆「不景気なシミツタレ」と罵倒やからされた輩やからばかり、やはり用心に如くはないようだ。

〔主〕 一度しきいをまたいで外に踏出せば八人の敵あり、武士は門を潜り四つ角を廻るにも油断すな、尻尾を敵につかまれぬよう、御用心御用心といえ、封建時代に帰つたような気持がするが、併しかし今時でも此注意は肝腎だ。

〔客〕 殊ことに此頃は物騒で、所謂「主義者」「労働運動者」の中で、性的問題が突発したりすると、その当人をどこかへ引張り込んで「君のやつた事はこれこれの刑に処すべきであるが、併しかし今後君の行動次第で不問に付してもよい」などと脅迫威嚇して、其れからスパイにするそつだ。

〔主〕 ありそうな事だ。今に始まつた事でない。

〔客〕 現に東京帝大の新人会に入り込んで居たスパイの如ごときは、正真正銘の大学生であつて、デカダン文学青年で放蕩耽溺の末三、四年掛つても学士になれぬ。自暴自棄の上角帽をぼうり出して、労働者にな

ろうと口を探して居た所、犬もあるけば棒ではない、元の通りに角帽をかぶり直し給え、そしてこれこれ斯様の報告さえして呉れたら、月六十円の手当はやるというボロ口にぶつかつた挙句、そんな事をやって居たという事だ。

〔主〕大学生といはぬ、危険思想家ばかりじゃない。苟も此世に現れて何か一仕事をやろうと覚悟した人間の生活に、そんな隙があつたら、すぐにそこへ附けこんでくる何物かが現れる。世間はそうそう寛大ではない。又たとえ一時寛大であつてもいつか又ひどい目にあわすんだ。

### 支配階級のあのザマ

〔客〕そうだ。危険思想家の私行を非難し陥れ、醇風美俗の擁護者を以て任じて居る支配階級の連中のザマは一体どうだ。日本きつての二大新聞、しかもブルジョアのブルジョアたる所の大阪毎日、大阪朝日の此頃の夕刊を読んで見給え。

〔主〕大阪市の乗合自動車会社の紛擾の事かね。

〔客〕ウンあれだ。歴代の警察部長が政商に金と酒と女でグダグダに抱きこまれて居た事、それから司法官の歴々の或者が十円の会費をだして鱈たらふく酒をのんで酔い倒れ、青楼せいろう（売春婦を居住させて売春させる）にかつぎ込まれ、翌朝目がさめたら傍にはべる妖艶な美人を発見した事、もし之が全部自弁ならば安く見積もつても一宵百円をふどころにして居たとて足らぬ事、そして司法官でも警察部長でもそんな金のゆとりがありそうな筈はずがない事。二つの大新聞が筆を揃えて書いて居る。しかし其人名が明らかに書いてあるのもあり、それと察せられるようにも書いてある。同じ穴のムジナなるブルジョア新聞が見るに見兼ねて責



める位だから、事実はもつとひどいに違いない。

〔主〕あれは全くひどい。労働組合の幹部が、もしあんな事をやったら、どうだろう。

〔客〕そうら問題はこんな抜差しのならぬ所迄進むものか。火のない処でも煙をたてるブルジョア新聞の怪腕は、尾ひれをそえ、柄の無い処に柄を上げて、早い中に書きたてるに違いない。そしたら大して大事にならぬ中、そんな事件の責任者は葬られてしまう。

〔主〕そうだとすると、あんな所迄に腐敗がすんだ理由は、結局支配階級が全智全能振りに自ら陶醉して、誰憚るものも無いと安心して活躍した事に始まり、又一方有力な報道機関が同じ仲間の自由になる為に、自分の階級の威厳を失墜するような報道をできる丈握りつぶした、それで臭い物に蓋主義でズズズルベツタリで進む中に、こんな調子なら我々仲間をやるうと世間の奴は文句はいわれないものときめる馬鹿者も出てきて、あのテイタラクになったわけだろう。

〔客〕つまり、あんな泥沼に引摺りこんだ責任者の中に今ワイワイ云う新聞も含まれてくる。耳の長い人間を多勢雇うておいて置き乍ら、今更初耳ですでもあるまい。色んな事の起った其時に沈黙を守って居たという事は、其時多少の默契か承認があったか、それ共鼻薬をかがされて居たと責められたって、一言の弁解もできない。

〔主〕まあ斯くの如くして、資本主義の上層建築は自ら崩解して行くのであります。次に映写する第何巻に於て如何になりますか………だ。

〔客〕マルクス『資本論』に詳しくかいてあります………だが当座の所。一体どうなるだろう。

〔主〕そうら公式通りだ。告発、新聞記事、検事、泣き付き、採消し運動の暗中飛躍、記事差止命令、不

起訴、ウヤムヤ、それからおきまりの七十五日(人のうわさも七十五日)がすんだあとで、転任や依願免官でなければ隠居位がしまいだ。九州大学の例を見たらわかる。

〔客〕帝大教授だと或罪でも、辞職さえすれば勘弁して呉れる。所が一方労働者だと、衆議院ぬり替へのペンキ工見たいに、当人も腑に落ちぬ事でさえおっかぶせられてる世の中だ。

昔から間男は七両二分と相場がきまつて居るのに、昨今の大阪では、金持のボンボンの音楽師が請負師の妻を誘惑して、其わび料二万何千円はボンボンも知らぬ中におふるの中着(さい)から出た。その中から、昔「鬼検事」の名を天下に轟とどろかした其弁護士は、一万円棒引して問題になるとやら、実に目まぐるしい世紀末の現象がどんどん出てくる。「それにつけても金のほしさよ」だ。

### ひもじい魚の目のエサ

〔主〕金のほしさよなどと、さもしい事をいうな。

〔客〕併しかし瘦我慢やせがまんもいい加減けんのんしておかぬと剣呑(あや)だぞ。此事件で見てもわかる。表向きの収入だけではトテも芸者買いもできぬ栄養不良な役人に、少し芳醇な酒をのませ、少々うちの妻君よりもあてやかで話もテキパキわかる女を拝ませると、すぐどうかなくなってしまふだろう。

〔主〕そういう理屈をひっくり返して見ると、少し許りのアルコールにドジョウの如ごとくたやすく殺されず、少し許りの金にも呉れず、一寸ばかりの美人の秋波(ウイ)や肉迫にビクともせず、という風に日頃から修業しておく必要があるね。

〔客〕そうだ、云いかえ見れば、君の性教育講話にもある通り、誘惑無き世界の道德的低能児では、此

恐ろしい世の中を大過無く渡る事もできない。

〔主〕 じゃと申しても、警察部長や判検事で少しもすきの無い生活を送つてる人間、否下手にシツポを出さぬ男なら、道徳的有能児だと君は云うつもりかね。

〔客〕 いやブルジョア道徳なら、そういうかも知れぬが、我々の方からいえば資本家階級の忠実有能な番犬、と相場つける丈の事さ。所が実際そんな隙のない生活してる役人なんか稀らしいね。

〔主〕 そうだ。出張旅費や傭人夫賃のやりくり位で、渡つて行くのは上等の部だ。石をかじり鉄板を食い電信柱を肴にする位だから。

### 芋蔓のくさり芋

〔客〕 そこでだね、今世間を騒がす大事件が起つたとして、それが他に及ばず影響はどうなると思う。  
〔主〕 然らば一つ譬え話を出してみよう。

或男が薩摩芋畑に来て、一寸した気まぐれから一本の蔓を手繰つて見た。何だか重いから、面白半分にグイグイ引いたら、土の中からゾロゾロ芋が出てきた。

〔客〕 所でその芋をしらべて見ると、ズルズルに腐り切つてつつかと悪臭芬々鼻をつくテイタラク。  
〔主〕 まあそうだ、所で其男はどう処置するだろう。

〔客〕 さあ、その畑全部の芋に対して痛切な利害関係を有する男ならば、確かにビックリする。こいつは一大事だ、何とかしなければならぬと、勘考するに違いない。

〔主〕 併し其男が若し野次半分に芋蔓をたぐつたとすれば、どうするだろう。

〔客〕それは其まま逃出すさ、そんな臭い物をいじくった事が知れて、かかわりあいになつてもうるさいから、ほげくった処へボシヤボシヤと土ふりかけて跡は野となれ山となれと、話はきまつてるね。

〔主〕所が初めたぐり掛けた男が野次で、自分のやった事の案外な結果にビックリして逃出したあとで、芋畑の持主がきたとする。芋が腐つてるのを見て、臆病な男なら腰を抜かすだろう。

〔客〕そうらそうとも、畑全部の芋が腐つて居たら一大事だからね。

〔主〕さあここで話が二つにわかれる。若し其持主が科学的なアタマを持ち且勇敢であつたならば、今たぐり出した腐り芋を目前にして考える。此芋だけが腐つて居るのならば、すぐ周囲の土ごと掘り上げて全部焼くとか、消毒剤を掛けて他の芋に病菌を移さぬようにする。

〔客〕併し臆病な男だつたり、無精者ならそんな事はしない。元の通りにいけておいて、今腐つた目に見えたのは心の迷いであつたのだ、本当は腐りもして居ない。アノクタラサンミヤクサンボダイ、我が植えた芋に冥加あらせ給え、弥栄弥栄（いよいよ栄える）と拍手三回をやっておいて兎に角自分一人で安心しておく。

〔主〕まずそんな所に落着くんだろうと思うが、つまり畑の極小部分を掘り返して見て、そこに暴露した有様を見た時、否が応でも腐り芋は目に見えたとして、それから畑全部の芋はどうだと思ふ。

〔客〕掘つて見なければ、わからぬ。その一部分が眞の代表的状態であるか、それとも其一局部の現状に止まつて畑の他の大部分はそれとまるきり違ふかも知れぬ。

〔主〕そうだ、それが本当の厳密な科学的態度というものだが、併し予想を加える事は許されて居たとして……。

〔客〕左様、まず本年は特に雨が多かつた、其畑全体も特に湿地である。尚又畑を歩き廻つて見ると、到る処土がポカポカして、氣のセイカ鼻をビクつかせて見ると、変な臭気もするらしい、地上に現れてる藁や葉の色艶いろつやも悪く、処々に怪しげな斑点も見える、という風な諸要件しよけんが揃つて居たならば、もう躊躇ちゆうちゆうする必要は無い、すぐ断案を下してよい。即ち掘つた芋で畑全部の芋が大抵わかる、一事が万事だ、此の畑の芋は全部腐つてゐるぞ、と絶叫してよい。

〔主〕併しかしそんな事が、他の畑の持主にきこえると外聞が悪いから、当分内証にしたがいに忠告する人もでてくるぞ。

〔客〕なあに、芋の腐る年は大抵どこの畑でも同じ事さ。同じ氣候と同じ土地で、そうそう大した違いはない。

〔主〕そう悟りがあつたら結構なんだが、人には愚痴と未練がつきまとうて居る。今掘つた芋が腐つて居たとしても、一事が万事といい切るのは「部分ハ全体ニ等シ」という程に僭越せんごな文句なんだ、やっぱり他の芋は皆揃そろうて健全に相違無いと思いたがる。

〔客〕違ちがひないと信ずる為に、何一つ条件が無い時でもそう思うて居るならば、それは盲目的な気休めか、迷信じゃないか。

〔主〕そうだ。不快でも真に近い科学的予想を求めるのと、愉快なしかも全く根拠の無い信仰すうがに縋すがつて居るのと、大衆はどちらを選えらぶと思つて居るのと、大衆はどちらを選えらぶと思つて居るのと、話がきまつてゐる。

〔客〕教育の問題だ。併しかし愉快なウソと不快な真実とどちらをとるかといえば、大抵ウソでも愉快な方をとると、話がきまつてゐる。

〔主〕だから、常に啓蒙運動に携わる人が悦ばれないというのは、昔から世間の通り相場だ。

〔客〕但し今の芋畑の問題では、愉快不快というのは芋の持主だけの事で、持主以外の第三者には芋が腐ろうが余り関係がない。

〔主〕併し人の芋でも腐ったら、ザマ見やがれというのも余り残酷じゃないか。

〔客〕いや腐るような免疫性の無い芋は勝手に腐らせた上、別に健全で抵抗力のある芋を作ったらいいんだ。薩摩芋が悪ければ、馬鈴薯ばれいしょ（イモ）にかえもよい。それでもいかぬというなら、小麦でもよい。腐り芋の持主と一緒に泣いたりわめいたりしてゐる時じゃない。

〔主〕所が人の芋でも、同情して泣いたり心配する人も随分多い世の中だ。

〔客〕それは奴隸教育の中毒というものさ、併しそれが多いにはガツカリする。

### 大政治家は大色魔

〔主〕いつのまにやら、精虫ものがたりが薩摩芋物語に化けてしまった。一体どこから脱線し始めたのかね。

〔客〕脱線などと今更いう迄も無く、徹頭徹尾脱線だ。いや外れようにも初めからレールなんかありません。

〔主〕無論そうにきまつて居るが、えーと、ウンそうだ、戒むる色にありという処からだね。

〔客〕主義者戒むる色にありから始まつて、警察部長戒むるに色と酒にあり、其他の高等官以下雜輩皆悉く之を戒むる色にありとなつて、日頃あまり栄養不良に陥れておくと、イザという時にがんばりが利

かぬから、日頃なし崩しに酒も飲み余裕があつたら芸者買ひも自費でしておく方がいいという風な所からだ。

〔主〕芸者買ひなんか奨励したおぼえは無いぞ。

〔客〕いや君は奨励しないけれ共、支配階級が養成する官吏共は、つまりブハーリンの所謂、民衆という猛獸を操縦する曲芸軽業師なのだから、其手品の小手調べに前以て、芸者買ひ位の所で予行演習をやっておくと、官吏教育の能率があがるだろう、というこつちからのお察しなんだ。

〔主〕併し芸者買ひで卒業して通人になつたら、官吏なんか退屈なものはやらぬ。皆如才無く民間に下つて実業家になる。そして芸者に操縦せられたり、したりした際のコツを利用して、労働争議に臨んで来る。

〔客〕なある程、それで慶応あたりにゴロついて居るドラ息子共が、堂々と親から芸者買ひの運動費を貰うて活躍して居るわけも読めた。つまり昔芋の煮えたも知らぬ大名が吉原がよいして、世情に通じ外交術の要領を心得る訓練を授かつたのと同じ事だね。

〔主〕まあそうだ、日本人は芸者買ひして人間の学問をするが、アメリカ人だと、男女共学の中に芸者買ひと同じ修業をする。その方が金を使わないでもすみ、人道上にも非難は無い。

〔客〕ブルジョアならできるが、無産者にはできない事だ。日本の外交がまずいのも、予備教育が待合芸者以外になかつた事によるんだ。

〔主〕そういう論法ですると、大外交家は即ち大色魔なりという事になるぞ。

〔客〕ウン、少なく共資本主義制社会組織の中に於ては、所謂大政治家は即ち大色魔というていい。日本では原敬を見よ、後藤新平を見よ。初めは異性をごまかして手馴しとし次に其手腕を多くの同性に向

けて、つまり個人相手の手練<sup>てれんてくだ</sup>手管<sup>てくだ</sup>が段々多勢<sup>たせい</sup>に向けられるようになった。伊藤博文<sup>いたとうぶん</sup>も亦然<sup>またしか</sup>りというべきである。

〔主〕此説を称して性的政治観といおうか、君の新説でもない、一九二二年ドイツでハンス・ブリュヘルが本を出して、其中に述べるよう、国家の基礎は所謂<sup>いわゆる</sup>「精神」でもない、経済要件でもない、我々が国家を造るその根本は愛慾にある、即ち男の同性愛を土台においた性慾国家観がそれだ。

〔客〕およそ天が下に新しきものある事なした。

### 結論の御催促

〔主〕所で、一体全体精液至上主義はどうなったかい。

〔客〕どこやら飛んで行った。くさり芋がどうしたとか、芸者買いは奨励すべし、すべからずとかいうてる中に、とうとう貝原益軒先生失敬しちゃった。ここもと精虫至上主義批判は腎虚のていとござあい、東西とうざあい。

〔主〕そうだそうだ。その腎虚の説に就いて、西洋はギリシアの医聖ヒポクラテスに始まった舶来の「腎虚説」Tabes dorsalisを受売りして。其序では書聖レオナルド・ダ・ヴィンチの画いた男女和合の図 Venus Obvesaを話そうと思つて居たんだが、これは来月廻しとしよう。

〔客〕気が短いようだがその精液至上主義の衛生法は、信じてよいものか、まず結論をいうておき給<sup>たま</sup>え。  
〔主〕一部分信ずべし。但し其他<sup>ただ</sup>の一部には全く信ずる事のできぬ嘘ツパチがあるから、丸呑みができないと、まずいうておこう。



精液保留を絶対に行えるものか。自分の体の現状をよく考えて見たら、簡単にわかる。健全な青年が禁慾して居れば。月に一回は遺精が起るのがあたり前だ。決して病氣じゃないから心配する必要はない。絶对的保留は不可能だが、よしんば可能だとしても、保留すれば長命健全だというならば、長寿の翁は皆独身で、ただ帳面づらばかりでない人だという事になる筈だ。

〔客〕 そんな篋棒べらぼうな事は事実ない。高砂の尉と姥というのも相当あるんだから。

〔主〕 よろしい、それ丈だけまず納得しておいたら、話を進めるのは難しくない。いずれ来月。

〔性と社会〕 十号

## 其八 ラジオ。身の上相談。みやこ踊り

〔客〕 やあ今日は、講演に出掛けぬと触れ出しておきながら、やっぱりあちこちと駆歩いているらしいね。  
〔主〕 ウン前からの約束のあつた外に、断り切れぬ義理のある処もあるから、とうとう堺と紀州日方と神戸とに引張り出された。

〔客〕 そうそう神戸で妙な演題のピラを見たっけ。

〔主〕 関西学院社会学会の主催で、僕は「ラジオと産児調節」それから森戸辰男氏の「政治と青年」だ。  
〔客〕 帝大から追放されたのを、うまく二枚看板に揃えたものだね。で、ラジオと産児調節と一体何の関係があるんだ。

〔主〕 ウン誰でも一寸首くちびしを傾げるだろうと、そこをねらったものさ。「その階級的意義」と註をつけたら、少しは見当がつくかい。

〔客〕 さあラジオはブルジョアの楽しみ、産児調節はプロレタリアの窮策、それを比較したらしいな。

〔主〕 いや違う違う、何しろ産児調節は初期の宣伝を終つて愈々実行の今日に入ったと迄云われる当節に、チヨクチヨク僕の耳に非難の声が入る。つまり調節は事面倒でブルジョアでなければ行えないというお叱りに答えて見たんだ。

〔客〕 薬品や或は洗條装置や或は道具などと相当に元手が掛るから、というんだらう。

〔主〕 それそれ、なお其上に生物学上の基礎知識が必要だ、それが無いと可成の失敗が無知による手ぬかりで起る。

〔客〕 そんなに口ハ（「只」(ただ)という字を分解するとカタカナの「ロ」と「ハ」でやりたければ、いつかの問答にあるように、事後に冷水をガブガブ、それからエヘンと咳払い、それに加えてデカンシヨ式にやればいい。

〔主〕 君は教育しておいたから、其辺迄は合点（がてん）して居るが、外の人ではそうは行かぬので困る。近眼鏡をはめるにしても、義歯をはめるにしても、今時少しは金もかける世の中で、B・C（Birth Control）ばかりを口ハでやろうとは、あんまり胴慾な話だという事さ。

〔客〕 ハハハわかった。ラジオを盗みきくファンでさえ、最小限で針金と受話器と鉦石とが必要なものか。

〔主〕 そうだ、ラジオと云えば五百円以上千円も出して何とかダイソとかいう、お仏壇宜（よろ）しくの物を安置しなければ解決のできぬ初期がすめば、中学生が少々の臍線（へそくり）を出してさえもぐれる時代になる。御注意しておくが、何もラジオの盗み聞きを奨励するのじゃないがね。

〔客〕御丁寧千万な釈明だなあ。併しもぐる側の連中に云わせると、盗み聞くんじやない、入る様な装置をしておけば自ずと聞えるんだといってるぜ。「聞く」というのは、計画と企てと欲望が含まれているが、「聞える」というのは、音波が電波に変わり又音波になるという自然現象と、それから人間の耳の構造が其音波に反応する様にできており、尚又神経中枢にその刺戟が伝わって感じるようになって居るという生物学的現象の組みあわせに過ぎない。そこに何等の意志欲望も加わって居ないんだから、法律上でも無責任だとかんばって居た男が居たぜ。

〔主〕泥棒にも何分の理屈ありとは、此文句に対してだ。併しアンテナを張り受話器を買込んでおき乍ら、聴きたいという意志欲望も無いなぞとは、こじつけだね。

〔客〕ウン隣座敷の底抜け散財がこっちの耳に入ったり、或は隣のかば焼屋のうなぎの匂いがこちらの鼻をピヨコつかせ、ひいては胃液の分泌を招くという場合とは一寸違う。

### ラジオのきき賃音ばかり

〔主〕併し只今の三百代言式ラジオ泥棒に云わせるならば、自ずときこえる場合に聴取料をとりにくるのは、恰も隣座敷の散財の割前をこちらへ掛けてきた如く、或は鰻屋が晦日に匂いの代を隣へ請求しにきた時のように、ヨシきた、ほうら受取りなといって、財布をチャラチャラ云わせれば払いができる事になる。

〔客〕音の払いは音ですか、都々逸みたいだが、ラジオに対して音の支払は妙だ。聖書にもある通り、眼にて眼を償い、歯にて歯を償うものだ。而も音ばかりで浜の松風みたいな連中ばかりだったら、放送局

は立行かぬ。

〔主〕併し立行かぬといつても、聴取料もとらずに放送局を経営して居る国が西洋にはあるんだから。一体儲ける積りで掛った大阪放送局初代の重役共なんかは、宣伝事業の社会的意義を心得ぬ事も甚だしいな。

〔客〕併し社会的意義や責任を心得るといつても、君のように一文の銭儲けにもならぬ身の上相談の返事をかく為に、一週間に丸々二日も潰して居るのもバカ正直だ。

〔主〕併し読めば涙のこぼれるようなものを、其まま紙屑籠に葬る事ができるものが。我々が最高学府でゼイタク極まる勉強させて貰うたのも、彼等無産者の心血を搾って集めた租税のお蔭と思えば、其恩返しはぜひ共せねばならぬ。否せねばならぬのでなくて、そういう手助けのできる位置におかれた事は社会に対して感謝すべき事だ。

〔客〕感謝すべしと心得たつて、毎日毎日三銭返信料郵券封入で続々手紙がくるのに、さすが君でも辟易するだろう。助手でも雇えばいいに。

〔主〕いや親展書の身の上相談を、人に読ませて代筆の返事なんかできるものか。助手はあつたつて、こんな事には使えない。

〔客〕あんまり社会的責任を感じるのも、よしあしだ。併し君の様に自分の考え文ではプロレタリア御用学者でも、くらしはブルジョアの寄生虫として文化生活してゐるような有様だから、金儲けにもならぬ手紙書きをやつて、社会的責任を果す余裕があるんだ。ツブのプロレタリアであつて見給え。其日のくらしに追われて、そんな処迄とても手が廻らぬぜ。

### 相談と返事の催促

〔主〕だから、割に暇の多い身分だから、生活に追われて居る人々の代りに、僕でなくてはできぬ仕事をさせて貰うんだ。我々の生活は芝居じゃない、何も花道で大見得を切ったりせず共、仕事はできる。

〔客〕それやそうだ。無産階級運動にしても、もう演説会で警官と格闘して悦ぶ時代を過ぎて、座談会と膝詰談判に入った世の中だからね。

〔主〕一つは恐怖時代に入ったからでもある。尚もう一つは公開の席で云える事は云い尽くした。即ち大風に灰をまき散らすように大ザツパな概念論で切抜ける初期の啓蒙時代がすんで、之から個々別々な特殊な場合の対策を研究せねばならぬようになった。此点は労働運動も産児制限も同じ事だなあ。

〔客〕そうだ、併し座談会や膝詰談判はまだ相手と応対でいいが、手紙での応対ではいささかノレンに腕押しのでたよりなからう。第一面談と違つて、書くのに暇が掛るだらう。

〔主〕面談といつたつて、日本人の会見は要件に入る迄の前おきが長いから、手紙かきと負けず劣らず暇つぶしだぜ。僕でも田舎に居るからいいものの、東京の山の手あたりに住んでたら、しょっちゅう朝から晩迄面談だらう。

〔客〕「新聞記者及び原稿あつめ、之より内に入る事を禁ず」だらう。

〔主〕京都帝大の法学部、経済学部にも、たしかそうあつたようにおぼえて居る。

〔客〕そんなに断つたつて矢張ドシドシチン入るさ。

〔主〕丁度僕の処へ手紙がきて、雑誌の仕事で少し溜めておくと、返事の督促が矢のようにくるように。

〔客〕三銭郵券封入した事でウンと恩に着せた積りじゃないか。

〔主〕たまにはそんなものもある。そんなのに限って、数百頁の大著述でも著わさねばわからぬような大問題をきいてくる。

〔客〕一寸癪ちよつとにさわって郵券なんか返送してしまうのか。

〔主〕癪にもさわらぬが、僕にしても自分の短い一生を社会的に有効に使いたいから、そうそうは人の注文通りになつておられない。

〔客〕山本とはどんな面つらをしてるか、面だけ見たい青年団の講演申込をハイハイいうて居たら、いくら身体があつても廻り切れぬようにか。

〔主〕ダーウインは、或田舎牧師から、説教の種にしたいから『種の起原』の概要をフルスキャップ二頁に約めて書いて呉くれと頼んできたら、忙しい中にも拘かかわらず、書いてやったそうだ。僕にはとても其真似はできない。

〔客〕進化論に興味をもつ田舎牧師の数と、多産に苦しんで制限法を知らねばならぬ親の数とは、とても比べものにならぬからなあ。併しかしそんなダーウインの自筆が今残つて居たら、大したものだろう。

〔主〕此間東京で井上侯の売立てに定家卿の懐紙とかが何十万円で落札されたが、僕が骨董屋だったらダーウインの手記にその位だすね。

〔客〕そうおもわくつけても、日本の金持にダーウインの自筆では、豚に真珠だ

身の上相談のかずかず

〔主〕所で手紙の問題なんだが、安部磯雄先生の処も随分多いそうだが、僕の処は制限ばかりでなく、外の問題が随分多い。配偶者選択に就いて、遺精自慰の害に就いてなぞが最も多い。

〔客〕『大阪毎日』の小説「小夜子」みたいに、癩病は遺伝しますか、結核は遺伝しますか、血族結婚したのですが畸形児が生まれはしないでしょうか。

〔主〕ウンそれだ。遺精自慰は共に概して無害、詳しくは小著『性教育』を見よとで、すむ。所がなお他に多いのは、私の陰莖が人のに比して小さいのですが大きくする法、これが随分多い。当人は自分一人の苦しみと思ひ込んで居るが、実は可成多いのでこつちがビックリする。

〔客〕ああいう物を見る方向で、大きさが非常に違う。銭湯で人のを正面から見ると偉大だと思ひ、自分の持物を眼下に見下すと、いささか卑下する気持が湧くが、扱て鏡の前に立つて自分の秘蔵のお道具を真正面に眺めると、人様に負けず劣らずと思う。

〔主〕ヤレヤレと安心したのか。同様な事は自分の手を見てもわかるね。お膝にお手をつけて指をのばした時、見てさのみ大きい手とも思わぬが、手首を眼の前迄あげてきて、手首をひねって指先を眼の方へ向けて、手全体を見ると、これが自分の手かなあと驚く程大きくみえる。

〔客〕我物と思うても長し五本指か。

〔主〕くだらぬ焼直しはやめて貰おう。が、いつもいう通り、顔の異なる通り性的器官の大小形状は違ふんだから、小さくても悲観する必要は無い。

〔客〕小は大を兼ねるといえば、諺と逆だ。

性慾六十四秘法

〔主〕 インドの秘書たる性典『カーマストラ』には男女の性的器官を、或は獣に或は花に譬えて、組みあわせと対策を述べ、性慾六十四秘法でどんな組みあわせでも、場合によって相当に完全な享樂のできる法がかいてあるから、小さすぎても、大きすぎても心配はいらぬ。

〔客〕 心配はないと保証したつて、インドの愛経ではそれこそ二階から目薬でなくて、天竺からの助け舟だ、早速の間にあわぬわい。

〔主〕 いや今迄あつたフランス訳や、英訳よりもっと完全な訳が、しかも日本語で京都の大谷大学インド学会から出て、専門家の手にだけは其当座わたつたが、間もなく頒布禁止になつたのは惜しい事だ。

〔客〕 そいつは耳よりだが、あとから聞いたつて仕方がない。所で君もその所謂専門家の一人なら、一部位もつて居るだろう。内証で一晩貸してくれ。

〔主〕 バカ、そんなもの今頃ここに残つてるものか、一度貸したら最後までこやら本に羽がはえてとんで行つてしまつた。所がこいつは内証だがね、今は知らぬが、確かにひとまとめに数十部があつた処がわかつてる。

〔客〕 押収した警察にだろう。

〔主〕 そうだ、さすが蛇の道はへびだなあ。

〔客〕 警察が蛇で、俺がへびなら、君なんか学者をふり廻して蛇をおびやかすナメクジだろう。併し昔々何十部か警察本部特高課か何々署に押収されたつて、今頃そんな処に残つてる氣遣いはない。

〔主〕 フーン焼棄ててしまふのかい。



〔客〕君も学者だけあって、下情に通ぜぬ事甚だしいなあ。焼棄てる所か持つて帰つて珍藏愛読してらあ。

〔主〕今頃誰が珍藏愛読してるんだ。

〔客〕所謂「こわい目を光らすオジサン達」が、鼻の下を長くしたり、よだれをたらしたり、胸をワクワクさせて読んでいるんだ。此間も或記者の実見談だが、『世間』という娯楽雑誌が風俗カイ乱でおさえられて、警察に山の様につみ上げられて居た。そのあくる日にすっかり消え失せて居たから、不思議に思うて行方をただと、そこらの面々皆ニヤニヤ笑つて居る始末さ。

〔主〕「警官の威信」もワイ本の前にはゼロだなあ。

### ワイ本処分の他の一法

〔客〕まだ其外に使い途がある。思想要視察人などと札をつけられた男の処へ、始終くる高等係が自分の尾行する時にまかれたりせぬよう、予め<sup>あらかし</sup>歛心を買う為にこういう風な物がありますが、なぞと呉<sup>く</sup>れる事もある。

〔主〕ウンそれなら僕も札付きの危険人物でない積りだが、経験がある。京都の労働学校で性学講義をした時、補講用の印刷物をくれと来た高等係に一部はやった。其上二部くれというけれ共<sup>ども</sup>、二部はやれん、一部やろうと、丸で桃太郎のキビ団子呉<sup>く</sup>れるような対応をした。實際余分がなかったのだが、僕が意地悪で呉<sup>く</sup>れ惜しむと誤解したかして、「先生どうぞまげて御承諾下さい、其代りに之を差上げますから」と紙一枚差出した。ふと見ると、なあんだ、都踊りの招待券よ。

〔客〕 山本氏性学統計表数枚と、買えば一円五十銭する入場券と交換すれば、此物々交換はこつちが儲けだ。第一性学研究と都踊りだ。とりあわせが頗る妙だ。パンを求むるに石を与え。魚を求むるに蛇を与えるようなトンチンカンでない所がいい。此高等係こいつは禪をやったな。

〔主〕 下らぬ事に感心してる。扱てその件はないからやれぬで、突放したが切符だけ残してサツサと帰った。

〔客〕 所で好意を空しうせず、ヨオイヤサアを見に行ったかい。

〔主〕 不肖山本宣治、警察の招待券を横取りして都をどりを見物しなくても、見たければ自前で行く。

〔客〕 そういう学者臭い事いったって「自前」なぞと専門語を使うから、尻尾が現れるぞ。併し切符は惜しかったなあ。

〔主〕 御心配御無用。そこに居た一闘士が我物にして、社会見学に行った。

〔客〕 大ブルジョア専門の芸者の踊りを見て、さぞ階級意識が鮮明になるだろう。

〔主〕 まあそう云うものじゃない。サンガー女史でもミヤコホテルから桜月夜にリキシヤに乗って都踊り見に行ったからなあ。

〔客〕 君も一緒にかい。

〔主〕 魚学者シヨルダン翁の為には、お上のガイドでザユバや和歌の浦や鳥羽山田の魚市場も漁ったが、サンガー女史の都踊り見物の案内だけは御免蒙った。

サンガー女史とみやこをどり

〔客〕をどりを見てから彼女の感想はどうだった。

〔主〕 知らん。翌朝早く亀岡へ出発して保津川下りをしたし、こっちも忙しくてあえなかつたので、それ切りだ。ただ見物に出かける前に、チェリーダンスとはどんな物かときかれた。

〔客〕 何と返答した。

〔主〕 それは日本の左傾運動とフェミニズムとの関係の話のあとで、日本にも石本男爵夫人以外に、ヨサノ・アキコとかヒラツカ・ライテウとかの論客が居るといふ話の序ついでだから、ありのまま答えた。

〔客〕 別に国辱でもなさそうだから、隠す必要は無い。矯風会員みたいにカツカになるまい。

〔主〕 さりとて都の誇りとも思わぬが、ありのままだ。

即ち、会場は学校にも見られぬような贅沢極まる木造大建築で、さながら国立大音楽堂の観がある。実際其維持費にしても間接に国から出たような物で、出演者たる芸者は皆各々大資本家をパトロンとして所  
有し、半永久的に支持されて居る。丁度ちやうどペリクレス時代のギリシアに於ける白拍子即ちヘテラミたいものだと。

〔客〕 仲々気位が高いから、官尊民卑の風習盛んな田舎の県庁町位で、ロハの御馳走の添物に恐悦して居た警察部長輩が、紙園万亭位へきて威張つたつて、「あてら役人さん、えらそうにポンポンいわはるばかりで、お金を一寸も出さはらへんさかい、大嫌いやわ」なぞときめつけられてる所迄いえばいいに。

〔主〕 話はそうそうあらあらに云わなくても分る。其時でも一寸アメリカの事を云うておいた。つまりお国で申せば、ニューヨークのメトロポリタン・シアターに出演するプリマドンナとかスターとかと考えたら、わかります、とだけ一句が追加だ。

〔客〕女宣教師や矯風会員にそんな答をしたら、はばか 懼り乍ら米国には公娼を衆人の目前に列べて国の大臣や議員がその見物に公おけに出でくる事なんかありませんと、柳眉を逆立てられるぜ。サンガー女史はどうだった。

〔主〕今更怒るような野暮でない。フンフンと聞いておった。

〔客〕平気で云う人間もあれば、平気で聞く人間も居る、いい取組みだ。どっちもどっちだ。

### 通弁の手加減

〔主〕おや、こいつは一寸ちよつとおかしいぞ。君は一体僕が都踊りの事をサンガー女史に聞かれた時、それを国辱だとして、女学生むぎの返事で臭い物に蓋をしようとしたと思うて居たのかい。

〔客〕まあ英語でもペラペラしゃべって、漫画のマジギーよろしくの相手をつかまえて、応対してるブルジョア大学の先生を想像したら、その位しか思えぬね。

〔主〕サンガー女史はマジギーじゃない。アインシュタイン夫人はドイツ人であつて、アメリカくさい程陽気な話好きの人だった。之に反してサンガー女史は、アメリカ人にしてはや少々大陸じみた落着きがあつて、しかも人をそらさぬ所、一寸ちよつと大学教授の娘が外交官夫人になつたといふこ気持がする。それで女らしい所が豊かにある点では、とてもそこのちよつと噛みちやくつて吐き出した梅千の如ごとき感じのする女宣教師とは比べ物にならぬ。

それに対する我輩だつて、英語はしゃべるが、山門の登り竜、下り竜を指して「スネーク・ゴーイング・アップ・エンド・ダウン」なぞ云うて居る人々と一緒にされては困る。

〔客〕リキシャメン並には見ないが、専門ガイドになると、不良洋人をヨシワラに案内する。それから学校の先生はそれと反対に、車の近道が遊廓をすぎても廻り道させる。たまに迷い込むと、西洋人と同じ様な表情で顔をそむけ、オー・シエーム・プアー・ガールズなぞと云うてらあ。

〔主〕併し昔、ヤソ教（キリスト教）の乞食坊主の中には、わざわざそこを見せて、こんなのを救済する為にと、青い目の善男善女の浄財をあつめた末、救済する所か、それを携えて逐電し、洋行して政治経済を学んで帰朝したえらい人もあるそうなの。

〔客〕えらくなつて金を返したかい。

〔主〕そんなのに限つて返すものか、廃娼運動の寄附金を絞りに行つても玄関払いときまつてる。

〔客〕公娼制がある事が国辱である以上に、そんな男が嘗てあつた事の方が国辱だなあ。

体面にかわりはしないならば

〔主〕そこで云うんだ。よくそこいらの連中が、一等国たる体面上、公娼制は廃止しなければならぬという。

〔客〕此間も東京で大家名士、それから婦人運動家の錚々たる面々が、あの国際連盟の白奴隷売買年齢制限の問題で色々論じた末、日本にはあんな二十歳以下十八歳以上の女迄も取引してもよいと主張する人間ばかりだと、列国に思われても一等国の体面に係るから、何でも連盟本部へ電報打とうときめたらしい。

〔主〕宮費で電報打つのに苦情は申し立てないが一体面上体裁が悪いから、やめようというのは、逆に体裁さえ悪くなければ継続したつて、どうせ無産者の娘の宿命だ、おれ達には無関係だという薄情極まる

ブルジョア根性がある。

〔客〕 そう思えばそうだな。なる程それでサーベル連（警察幹部）が官費で欧米の魔窟めぐりしてきてから、怪気焰をあげる筋道がわかる。

〔主〕 西洋諸国でも軍事教育をやりますから、我日本でも之をやりますという筆法で、西洋でもある売笑制だから日本も殊更（ことさら）に恥じ入るに及ばない。つまり範を泰西に取るという事だけで、宜（よろ）しい。否宜（いなよろ）しいという程でなくても差支（さしつか）えないという所になる。

〔客〕 そういう君でもサンガーに対する答弁の終りに、アメリカにも同類項がありますよと一本突込んだ所は、サーベル連の猿の尻笑いと同一所があるぞ。

〔主〕 いや僕のはそんな国粹主義とは意味が違う。アメリカにもあるから、日本にあっても恥じ入る必要は無いという論理はなりたため。恥ずべきものだったら、それがヨーロッパ、アメリカ、日本どこにあっても、人間として恥じる必要がある。

〔客〕 それでは、売笑制は、人間として別に恥じる必要がないというのかね。

〔主〕 どうしてどうして、僕の所信は絶対だ。ただその恥辱を帰すべき当面の責任者が人類全体だというよりも、もっと他のものにあるというんだ。

〔客〕 いつかの合評の結論にあつた通り、女が金で売れる或物を持ち、男は買うべき何物かを女に求め得られるという仕組、そんな事実が公けでも内証でも存在し得る社会制度、それが不届（ふとど）き千万だということだね。

〔主〕 そうだ。女の貞操が商品化され、美貌が金に換算され、金爵結婚の行われる世の中が悪いんだ。

〔客〕その世の中は我々人間が作つてゐるんだから、矢張結局我々が悪いんだという事になる。

〔主〕併し人間の中で特に誰が悪いんだろう。

〔客〕概して芸者、娼妓又は私娼、それから妾は、無産者の娘ときまつて居るが、彼等は売らねばならぬ窮境に居るのだから、よぎなく売つたつて仕方が無い。絶対無責任とは云えまいが、買う男程に責任は無い。

〔主〕そうだ。買いに行く男の方がより多くの責任があると申せる。

〔客〕併し男に云わせると、売物がある以上、買いに行く、尚又ふとい奴の口に掛ると、買ってやるのは或意味での救済だと迄いい張つて理論つけて居る。

### 男というケダモノの救済

〔主〕救済で思い出した面白い問答がある。或法学士が芸者を呼んで駄弁を弄して居た酒の席上、ふと其男は口をすべらして前の美人を「オイ三杯芸者」とよびかけた。

〔客〕その「三バイ」という術語の説明がいるね。

〔主〕ウン東京で「不見転」というのに当る京都特有の語だが、其由来と語原は明らかでない。兎に半永久的保護者を有する程に格式の高い「白切符」級でなくて、余儀無く一夜妻として仮の契りを結ばせる女達に適用される名称だ。無論輕蔑の意味が含まれて居る。

〔客〕おこつただろう。

〔主〕うん早速柳眉を逆立てた美人の曰く、「三バイ三バイというても、性慾に飢えた餓鬼が男に多く

て、あとから突貫してきよるさかい、施してやりますのや。高尚な男ばっかりやったら、三バイみたいな必要があらへん」と。

〔客〕高尚でない男が目をパチクリさせた所が、目に見えるようだ。それにしても中々此頃は芸者でも理屈っぽくなつてゐるな。

〔主〕芸者でもと、でもをつけて、差別待遇すると徹底的キウウダンされるぞ。金魚みたいなまいこ、即ちお酌が農学博士をへこました話さえある。

〔客〕農学博士のノウは、無一物、ナツシングのノーと違うかね

〔主〕まさか。其人が洋行する時、友達が集つて鴨東の旗亭に別れの宴を張つた時、やがて数人の舞妓が現れた。

〔客〕長田幹彦の『祇園情話』で、ダラリの帯をさげて、「ハアさん今晚はおおきに」と出てきて、たわいもない話をする連中だね。

〔主〕本よみだけで仲々精通してゐるな。感心だ。そこで其きれいな女の子を前においた農学者は、矢張やはり人間だから悪い気持はしない。牛や馬の鞆丸こうがんをくりぬく時の殺伐な気持はどこへやら、そこでつい口に出た文句は「こんなきれいなのを前においてゲシュレヒトツリーブなんかとても起らないなあ」というんだ。

〔客〕その横文字は一体なんの事だ。

〔主〕君は知らなくても、祇園の舞妓はドイツ語のはしくれ位チャンと聞きおぼえて、心得て居る。

〔客〕やっぱり日頃から、「最高学府の不良教師や不良学生」の教育が行届いて居るせいだ。祇園の舞妓にお目に掛るにさえ、ドイツ語をわきまえなければならぬ今日、一人前の共産主義者になるのにドイツ



語のいるのも、無理はない。

〔主〕ドイツ語で、変な具合にコミュニニストと舞妓をくつつけたな。

〔客〕まあいい、そこで舞妓がどうして農学博士をへこましたんだ。

〔主〕そのドイツ語が性欲を意味して居る事を心得て居る娘達が声を揃えて、「ああいやらし、ゲシュレヒトツリーブやて、そんな事いう人、大きらい」。

### 誰でも廢娼論者

〔客〕男がそんなに心の底の氣持をさらけ出して一種の差別觀念を暴露してやつつけられるのも痛快だが、「醜業婦」だなんて、とり澄まして見下して居る令夫人達も、そんな具合にやつつける必要があるぞ。

〔主〕うん今日の結婚制度は、妻の生活を保証して、其代りにほしいまま怒な性的享樂を彼女の全部に求めようとする点に於て、まごう方無い売笑制だ。

〔客〕一夜妻だから下等で、一生つれそう妻だったら上等、其中間たるめかけ妾は中等だ、なぞと延べ時間で等級を定めるなんて、頭の悪い事も甚だしい。

〔主〕所で、誰でも其間の筋道がわかりさえすれば、あらゆる種類の売笑制度は人間性冒瀆ぼうとくだという事が明瞭になる筈だ。此点に於ては何人も廢娼論者であるに違い無い。

〔客〕少なく共既得權侵害を心配する女郎屋の亭主と、「弱きを助け、強きを挫く」と看板をあげておき乍ら、娼妓の鞍替へ足拔きの機に乗じて甘い汁を吸うだな共を除いては。

〔主〕ただ目前の急を解決すべき手段に就いて、各々見る所が違ちがうから、対策がかわつてくる丈だけの事で

ある。

〔客〕所で、前いうた「一等国の対面」はどうする。

〔主〕さあ体面論からいえば、公娼廃止論の或者の如きは、公娼全廃の布告だけでも、既に売笑制撲滅の第一歩を踏出したのだから、或種の精神的効果があると主張する。

〔客〕その主張はよいとしても、他の公娼改良調節を求める側に云わせると、取締りや何かの点で実質上の弊害が公娼廃止によって増すとすれば……

〔主〕実質的効果と帳面づらと、いずれをとるかという問題で対策がわかる。名と実とどちらという決定は、実に其当人のうまれつきで大体きまる。

〔客〕女は名を選び、男は実をとる。女は公娼廃止請願書に署名を求め、男は……さあ何をやるかなあ。

〔主〕さあ、まずもって根本をといえば、社会の改造を求める為にそれ相応な事をやる。君ならば廓清会を尻目にかけて労働農民党の建設運動に行くんだろう。

### 娼婦生活の改善

〔客〕そうだ。併し人によつては色々の事をやる。例えば最近に岐阜県では、関屋警察部長が芸娼妓取締規則を改めて、日中はどこでも尾行無し散歩ができるよう、働いても働いても借金がふえる様な事がないように、楼主に搾取を許さず等と。女達の生活改善を考えているそうな。

〔主〕それなら現実政策として結構な事だ。一つ其県へ照会して全文を取寄せて見たいな。

〔客〕所で法文の字句の体裁は結構だとしても、どの程度迄にその目的が表現されるかを疑うね。

〔主〕 警察部長の心巡査知らずで、中々うまく行くまい。

〔客〕 そこだ。ヤトナ（京阪地方の雇われ仲居）に迷うて首になつた署長と刑事が京都府にあつた。自分の座敷へ或酌婦を呼ぼうとしてこなかつたとか、憤慨した末抜刀して全町の人を驚かした署長が兵庫県にあつた。何しろ、廃娼論者と少しも懇意でない癖に、警官はバカに楼主や紹介業者と仲がいいんだから、帳面づらが心配になる。

〔主〕 心配はするが、君だつて其法がうまく行われるように希望してるんだらう。坊主にくけれやケサ迄で、サーベル嫌いだから序ついででにそれも失敗しると迄に、意地は悪くないんだらう。

〔客〕 それはそうさ。鬼が唱となえたつて念仏は念仏だ。唱となえるばかりでなく、功德くどくを施す事を実際にやつたら、それこそほめてつかわす。

〔主〕 つまり改良主義改良主義と冷かすように云うても、まんざら無用だというのじゃないね。

〔客〕 今我々が百を要求して居る時に、片一方に五十を要求して居る人が居る。こつちの考えでは、もう今頃五十位の事なんか手に入るときまつてる。それ以上要求しなければ要求じゃないという心持であつたら、彼等に対して扱さて扱さて君方の望みは小さいなあ、もうじきそれが手に入つたらすぐ我々に追いついてき給たまえ、という丈だけの事さ。彼等の企てを非難したり、又輕蔑はして居ない。

〔主〕 例えば労働農民党の政綱に「二十歳以上の男女に選挙権の賦与」とあるようなもので、今の普選で不徹底ながらも得た物は無用の長物だというて居ないのと同じく。

〔客〕 所が此頃は物騒になつてきたせいか、それ共頭が悪い奴が多くなつてきたせいかどうか、そこいらの点が誤解されて困る。つまり百の要求を出せば不届ふとどきだと剣突けんつをくらわされるから、まず「泣く子に

地頭」と五十位で我慢しておく、今度は要求がケチだと冷かされる。そればかりか相手のオヤジの曰く、「貴様のつらつきはとても五十がとこで満足する様な相じゃない。雁首が気に入くわぬ。さがれ」なんて、虚勢をはつていやがる。つまり雁首次第で百でも五十でも要求を出す事それ自身が、危険だなぞと毛嫌いされじゃあ、愈々危険とならざるを得ないね。

〔主〕 ハハアン無産政党ぶちこわしの鬱憤かね。売笑制から段々事は発展して行くぞ。

〔客〕 君もゲシュレヒト何やら、ドイツ語を濫用する事を慎しむがいい。剣呑だぞ。

〔主〕 なぜ医者や生物学者の使うドイツ語が危い。

〔客〕 つまり素人しろうとにわからぬ符牒だから、局外者の目の前でペラペラとテニヲハ丈だけ日本語にして云われると、何だか悪口でも云われてるんじゃないかと、気がひがんできて、つまらぬ所へ気を廻されるからな患者ばかりでない。与力・同心・岡ツ引迄変に思うぜ。犬にドイツ語がわからぬのも無理はないが。

〔主〕 ああその事か。此間も帝大生が電車の中でワイ談をやつて居て、娼婦の事をプロ(prostitute)と略称して会話して居たら、主義者(社会主義者、共産主義者のこと)と見た刑事が尾行した末、色々調べたそう。プロとはプロレタリアの事と一つおぼえしてるから、外のわからぬ事は皆危険思想じゃと思込んだのだ。危険は危険でも性的に危険な問題にすぎなかったのだが。

〔客〕 特高課長は申すに及ばず、警察部長でさえ御存じの無いドイツ語を、学生風情ふぜいが警官の面前で使うとは、実に陰險極まると怒られるんだ。

〔主〕 学者だったら、勘弁して呉くれるぜ。あの人はわからぬ事をいうからえらいって、アハハ、それこそ Donner Wetterだ。

〔客〕何だ、又怪しい事いうな。

〔主〕なあに、雷という事よ。その雷が俗語で「ベラボーメ」に当ることばだ。臍へそはねらつても首はひっこぬかないから安心し給たまえ、さよなら。

(『性と社会』十一号)

## 其九 医師と産児調節

問答の場面 東南に面した二階建の階上の一間、四畳半の中は書棚とテーブル、椅子等でつまり、ゴタゴタして居る。日当りがよくてサナトリウムの様だと云い、見晴らしがいいから展望台だと或訪問者は云うた。兎とに角本かくと動物飼養の硝子瓶ガラスびんや、「万国の労働者団結せよ」と大書した日めくり暦や、その他「いかがわしい」器具をいれてあるらしい紙包みがひっくり返つて居る。但し主人は至つて平氣らしい顔付き、「客は学者の書齋」の余り乱雑なのに呆れた様な顔付き。

登場人物 主人 いつもと同じ当年三十八歳の男。客、いつもの青年とは違い、何か開業医らしい六十近い白髪白髭の上品な老人。一見此二人は親子の様に見える。

初対面の二人は大変インギン丁寧な挨拶をとりかわした末、椅子に席を占める。

〔客〕毎度『性と社会』の誌上で、若い元氣な方々の問答を面白く拝読して居りますが、談論風発、英氣颯爽という点に於て溜飲おいを下げるのは大変愉快です。併し調節から話が發展して天下国家の大に迄及びますと、私なんか旧弊人だからでもありませんが、読んで居てもハラハラする様な処もありますな。

〔主〕いや、お説ごもつともです。若い連中の掛合話だといついつい話が横道に外れ易やすく、調節問答やら何やらわからぬ所迄脱線して恐縮の至りです。併しあれでも何しろ問答を活字の上に現わそうという所か

ら、ウンと自制して居りますので、なお他の一方からは、なまくらなどお叱りを受ける程なのです。併し私にしてもそうそう気焔ばかり揚げて居ません。相手次第では神妙に研究上の話も致します。所で今日御訪問の要件は、やはりその調節法の問題でしょうな。

〔客〕仰せの通りです。実は私の息子が東京帝大の医学部に在学しておりまして、昨年五月社会科学研究会の主催で開かれた先生の「性学四講」も聴講しましたので、サンガー女史の主張する避妊法の大要も彼から大抵聞きました。それで大体は先生の講義大要もわかったのですが、あのお話を補足すべき色々の事や実際上の注意を伺いに参った次第です。

〔主〕宜しうございます。「性学四講」と批判その以後の問題ですな。併しあなたも多年御開業を続けておられる、なお又令息も最高学府に遊んでおられる、いわば玄人のチャキチャキ。伺うのは私からではありませんか。

### 開業医の忙しき

〔客〕いや私共は、毎日患者の手を握ったり舌をのぞいたり車にのって駆廻るばかりが仕事で、やっと落着いて一寝入りしたかと思えば夜中に叩き起される。まあ新智識吸収といえは息子が帰省した時に土産話を聞く位が関の山、医学雑誌を車の上でひろげても、とても新しい事なんか呑込めません。その上に横文字の原書ときたら、とてもですな。時々大病院へ患者を紹介した時、ドイツ語の術語をきくと、ああ俺も若い時学生時代に片言位おぼえて居たのだがと、感慨無量ですな。それであっばれ心得てるだろうと、若い部長さんからドイツ語で何かお話があると、冷汗が流れる事もあります。

〔主〕なる程、臨床家で忙しければそうなるのも、やむを得ません。世間は何事も分業ですからな。

〔客〕所でその専門分業の世の中で、私共は玄人なのですが、どうも医者仲間にはその玄人という職業心理がこびりついて居て、いい事もあるが、又面倒な事があって困ります。

〔客〕 どういう点がお困りですか。

〔客〕 何しろ昔から医は仁術なりで、国を医する大医と迄行かず共、田舎では一村の中の物知りは医者と僧侶とときまつて居た通り、一般人から有識者と奉られて居る関係上、一寸した事でも買被られて聞かれるのです。

〔主〕 ハハア成程、其際知らざるを断然知らずと云い切る勇氣が普通の開業医諸君には欠けて居るでしょうな。

〔客〕 新しい頭の人に対してなら、そうあっさりと告白した方がいいでしょうが、まあ大多数の病家でそんな返事をしようものなら、あの医者ではたよりないと、先方から匙を投げられまるから、矢張其場でお茶を濁すという程にずるくはなくても、何とかキツパリした返事をしなければなりません。

〔主〕 あの人では病気が直るかしたら、覚束無いようなフニヤフニヤしたのは、直る病人でも不安を抱くから。一種の精神治療法で断乎たる暗示をまず与えるわけですね。

### 見るから先生お見舞のてい

〔客〕 エエそれが習い性となつて身に染み込んで、ツイと取澄ましてあごで人をあしらう一種の型にはまつてしまいます。医者と坊主とは、いかに服装をかえて居ても、宴会の席上盃に酒のつがせ方で。芸者

が其人の本職を看破するという位ですから。

〔主〕私の様な学校教師でも「先生といわれる程の馬鹿」の中で、其仲間内ですな。

〔客〕いや先生は特別です。科学的ジャーナリストと自称された丈だけあつて。例外です。私の印象では少し如才じよさいな過ぎて商売人みたいで、所謂いわゆる先生の中には入りません。

〔主〕そうですね、自分では学シヤ、医シヤ、芸シヤ、そんなシヤのどれにも属しない学界ゴロツキだということですから。ちと自重じぢゆうしろとよく云われますけれど。

〔客〕いや、型にはまらなければ職業をやれない者程つまらぬものはないと思います。強しいてそんな型にはまる必要はありません。私が今日うかが伺つたのも、あなたの既刊書の書き方が従来の医書の型を破つたものであつたればこそ、御相談に参つた次第なのです。

〔主〕ハハア、従来の型を破つたと仰せられる点は？

〔客〕つまり表紙装幀せうていなどに向無頓着むじんちやくな小冊子の中に極く平易な語で最近の智識が盛つてあり。そして数ある虎の巻の出所を明らかに記し、其各々の要点が要領よく纏まとめてある。小さくても苦心の作だと、息子が申して居ました。

〔主〕ありがたい、そう見て呉れる医学生があつたら結構ですが、大抵、なあにパンフレットか、フン通俗な、と横むいてしまふ人が多いので悲観します。

〔客〕そこが今申す職業心理で、医者と法学者とは、同じ文章でも平仮名交りでは威厳が無くて読む気がせぬと云いたがる。本の中身の如何いかんは二の段です。金縁背革で和書でもドイツ語の題名がチャンと刷り込んであれば、診察室の書架かに列ならべて对患者のこけおどしに使うのです。



〔主〕 成程、金持の応接室に読みもせぬ大英百科全書を飾っておく様なものですな。

〔客〕 左様左様あれなら本を買うより、金文字入り背革だけ張附けた箱でも備えつけた方がいい位です。

〔主〕 いやそれなら米国の成金百姓に売付ける為に、チャンと仕入れの商品がありますね。

〔客〕 さすがは米国ですな。併し訪問者が正直に読もうとしたら、主人は目を白黒するでしょう。矢張私共と同じ様に本箱へは嚴重に鍵をかけて置くのですか。

〔主〕 医書なら生殖器の解剖図を子供が見ていかぬからとでも逃げられますが。沙シエークスピア 翁全集では一寸鍵を掛けるにも口実に窮するでしょう。アハハ。

### 虎の巻ばかりは内証内証

〔客〕 何しろ医者の方では昔から「門外不出の秘書」とか「二子相伝の秘法」とかいう語もある通り、近世の科学研究の共同動作のやり方よりも、コソコソと自分一人でうまい事を掘り出して、それで自分一人利益を占めようという旧式な卑劣な根性があつて困ります。

〔主〕 いやそれなら医者に限りません。軍人の所謂「軍機の秘密」というのもそれでしょう。中をのぞいて見ると、実にタワイも無い物を珍重がつて居るのにガツカリする事もあります。但し秘密秘密にしておくと、馬鹿な敵ならどんな物があるうかと、戦わぬ中に気おちさせるといふ利益もありますね。

〔客〕 医者立場が丁度それです。患者に色々の事を尋ねられた時、よしんば知らぬ事でも知らぬとすぐ兜を抜がないで、ウン其解決法は自分は知つて居るんだが、深遠な学理の問題だから一朝一夕で説明はできぬ。又説明がすぐ出来る事であるにせよ、素人がそんな事を知ると色々弊害があるからと、高圧的に

怒鳴りつけるのです。

〔主〕避妊法の質問に対しても、矢張やはりそういう風にこれ迄大抵の人は切抜けてきたのですな。

〔客〕エエお恥ちずかしい次第ですが、私もそうして切抜けて来た中の一人でした。所が此頃では、患者の方が物知りになりました、やれコンドームの、黄金ペッサリーのと申しますので、とうとうごまかし切れぬ所迄おし詰められた矢先、帝大生のせがれの受売りで、どうやらこうやら患者の相談相手にもなれる様になりましたのも、先生のお蔭と感謝しております。

〔主〕いや、おことばには痛み入ります。そう淡泊に内状を告白していただくと、大変気持がいいのですが、世間には色々の人もありまして、色々智識を得ておき乍ら、向うの方へ行つてやれ米国式の避妊法は不確実じゃの、或はすべての避妊法は皆危険有害だのと出鱈目でたらめを宣伝する輩もあり、山本氏はそうは云うて居まいと突込まれると、いや彼は「通俗講演師」で専門学者じゃないなぞと陰口をきく者もあり、私も一々そんなのに取合う程ケツの穴も狭くはない積りですが、廻り廻つて耳に入れば決していい気持はしませんね。

### 無学者おどかしの秘法

〔客〕いや、そこが当り前の医者根性なのです。つまり秘伝を口授して呉くれるなら自分一人じめにして、そしてどこから其秘伝の虎の巻が渡来したか、内証にして貰もらわないと、受売りする医者はいわば暴利を貪むさぼり、又は無学者に対して徹底的に牛耳ぎゅうじを取る（支配）事ができないから、困るのです。その点はどうも先生の啓蒙運動は徹底し過ぎて、僅か数回の聴講で「性学大家」以上になつたり、パンフレットだけでサ

ンガー学うんわうの蘊奥うんわうを極めたりする者が多くなるので、今迄もつたい勿体振もつたいつて居た連中が二、三冊の虎の巻の種明かしをされて大恐慌を来し、悪声を放つのですなあ。

〔主〕なる程そうすると、少しばかりの事を引延ばしてやればいいわけですが、丁度ちやうど此間答しこの様ように少しも要点に触れずに同じ処をグルグル廻りして居ると、最も理想的でしょう。併ししか一生は二度無いのですから、てつとり早く分る事は片付けてサッサと前進する事は更に必要じゃありませんか。

〔客〕それは実力もあり蘊蓄うんちくも豊かで何か独創どくちやう的事じでなければやる元気が無いという、丁度先生ちやうどのような人で初めて云える事で、大抵の人々は或物を少し吞込のみこんでは吐き出し、吐き出しては吞込のみこむという風に牛みたいな反芻はんすうをやつて居る始末です。現に私でも若い時に習うたか技術を元手とし三寸出して金儲かねもちけの種ことし。又一寸出しては金儲かねもちけと、永年繰返して居たわけです。但しただ可成かなりえらい帝大教授の中にもそんな反芻動物があるような話ですな。

〔主〕エエ或帝大法学部には何十年か一日ごとの如く同じ原稿を繰返して読む教授があつて、とうとうしまゝには原稿の折目に穴があいて抜けてしまったのに拘かかわらず、綴りもせずそこ丈だけは老眼鏡を左右に持換えて読んで居たが、とうとう停年制で其先生も古原稿もろ共に隠居したという逸話もあります。併ししかあなたの方は反復すれば愈々老巧になるんだから結構ですな。

### 金もうけの邪魔

〔主〕イヤもう講義の原稿ならつぎあわせさえすれば、教授の六十歳になる迄の耐久力もありましようが。同じ患者で私の世話になつて何十年も命が続く人はありませんわい。

〔主客〕（顔を見合せて哄笑）

〔客〕 兎に角世間で親子の間だけですな、つまり後進者が先輩よりもえらくなつた場合に、先輩が悦ぶのは、自分の子がえらくなり過ぎて怒る親はない。併し親馬鹿以外の例では弟子が出藍の才であれば大抵の先生は脅威を感じて一種の嫉妬心を感じる。私共でも患者の方が医者より物知りになると、そこが凡夫の浅ましきで余りいい気持がしません。近頃の産児調節の問題にしても、先生に対して悪声を放つというのも、其辺の消息でしような。

〔主〕 成程油断のできぬ世の中ですな、人の為を凶つてそして人に怨まれる。いやこれから用心致しましょう。

〔客〕 なに、あなた御自身に迷惑の掛る程邪魔する程に勇敢な者はありません。何しろ皆直接間接に御厄介になつて居る連中なのですから。併したただ僅かばかりの虎の巻を種に医学博士になつた連中には、先生の様にツケツケと「学の蘊奥」迄さらけ出されるとビクつく人間が相当多いらしいので、彼等の立場も相当同情されるのも必要かも知れませぬ。

〔主〕 併し学の進歩を凶る為には、そうそう四方八方気兼ねして居たら手も足も出せぬ事になりますし、博士や本屋の金儲けの手助けする為には、患者達に迷惑を掛けるのも不穩当でしような。

〔客〕 所が御承知の通り、我々医者仲間が自分の階級の金儲けの邪魔をするものに対する抵抗というものは、実に辛辣極まるもので、医が仁術か金儲けか、キツパリ断案を与える程に態度を鮮明にするのです。例えば昨年（一九二五）二月末普選（普通選）案の討議と同時に議會を騒がした医薬分業案ですな。

〔主〕 成程医者（なるほど）の金儲けの一手段たる薬の売付けを薬剤師に奪われまいとの躍起運動でしたな。ポス

ターは豊富にくぼる。院内へは羽織袴フロックコート（はおりはかま）の陳情員が堂々と練り込む、お上の圧迫は少しも無くて、運動費も多いらしい。丁度（ちやうど）当時行われた治安維持法撲滅の示威運動と面白い対照でしたね。

〔客〕金儲けと選挙ときては、当世の医者は大抵血まなこになりますよ。実費診療所とか平民病院という風な無産者に至極結構な企てでも、自分達多数の協定にかかる薬価診察料を安くせねばならぬ様に影響すると見れば、あらゆる反問苦肉の策を弄し、又一方で医師会などという天下の公器を濫用してぶつつぶし運動をやる。その間で私なぞが文句をいうと「医は仁術」なぞというのは封建的考え方だ、なぞと一溜りもなくやつつけられます。実に恐ろしい世の中になったものだといいたいんだが、古老に糺せば幕末の医者だつて今と同じよう期間医者が多かったのだから、そう昔ばかりがいいとは云えないのですが。

### 左傾したむすこもウイ奴

〔主〕あなたも老人の癖に可成急進的な考えですね。

〔客〕いやこんな考えは幕末から明治初年へ掛けての急進思想かも知れませんが、此頃の若い者の急進思想とは又趣きが違います。私の仲間なんか官学のチャキチャキですが、例の社会科学研究会には入って何か活躍してるらしい。此間も警察から高等係と名乗る者がきて、あんな会に関係していると将来の立身出世の為になりませんぞとか、いやがらせを云うから、大喝一声、不浄役人さがれ、不肖余輩杏林界に父祖の業を継承してここに仁術を営む事数十年、不敏ながらも郷党中の先覚を以て自任して居る、子弟薫陶に際しても決して親たる任を辱しめたとは思わぬ。彼も不肖の子である。何か思う所があつて活躍して居るのである、立身出世などとは耳の汚れだ、岡っ引きがれと叱つたら、文句もわからぬなりに目を自黒してコ

ソコソ出て行きました。

〔主〕へへエそれは痛快ですなあ。明治中期に育つた如才じよさいの無い連中より、昔者せきしや旧弊者と自認してゐる人々の方が、ずっと徹底してゐるなあ。それで医は仁術にんじゆつなりという根本義に就いて令息と話しあわれたのですか。

〔客〕エエ。その点でよく議論を戦わせたのですが、同じ思想を抱いて居るらしいけれども、そこが旧人と新人との違いで、当面の対策に就いては私なんかとても呑込のみこめぬ事をいうてます。

〔主〕まず第一にあなたの「医は仁術にんじゆつ」という考えにぶつかつてこられたでしょう。

〔客〕そうです。彼のいう所によれば、親父が一廉ひとかど仁術にんじゆつ気取りで時々貧者に無料施薬して見たり、盆暮のお菓子料を持つてきた無産者に突返して見たりするのは大抵よい事であるけれ共ども、封建的原始社会に於て初めて継続の可能性のある慈善行為で、今日の如き工業資本主義社会組織に入つて後は無意味な事だ。それで社会的害悪を救うなぞと考へるのは大海を耳かきでかい乾そうとする様な徒らいとやすな企てだ。更に言を強めて云えば、貴婦人が乞食に金をくれて自分の心の満足を計るのと大差は無ないのだといふんです。

〔主〕馬鹿ッ、親に対して語が過ぎるぞ、と怒鳴どなりましたか。

〔客〕まあ口さきじやそう怒鳴どなつて見ても、心の底では子供にへこまされて悦ぶ親バカ根性で、うい奴うい奴これならあとつきさせられるわいとホクホクとしている様な始末です。

〔主〕有難ありがたい親心ですな。中々そこ迄理解のある親は世間がありません。令息も幸福ですな。

老人も昔は左傾派

〔客〕 いや何と云つても若返りの妙薬は、若い者の中へ入つて接触を続ける事に限りませぬ。避妊法の問題でもまず時勢におくれずに、こんな老人でも患者の相手になつてやつて行けるのも、倅せがれを通して先生の説に接した為です。

〔主〕 併よし初めは少々物騒に思つたでしょう。大切のむすこが左傾したりする関係からね。

〔客〕 いや私も若い時は、ルソーの『民約論』に熱中した事もあり、何しろ明治十七年（一八）の民権自由の声喧やかましい頃の事も記憶して居る程ですから、不思議とも思いません。

〔主〕 怪しまないにしても、親と子と左傾の仕方が多少違ふでしょう。

〔客〕 それなんです。同じ仁術にんじゆつたる医業を行うにしても、私のやり方は「賢明な専制君主の施す恩恵」という考えが土台にある。医師と施療を受ける患者との関係が恰あたかも王者と奴隸ごの間の如き隷属関係であつて、今日となつてはも早時代錯誤の一つとなり終つたものだというんです。

〔主〕 失礼ですが、その語はおぼえておられるにして、本当の意味がピンと頭にひびきますか。

〔客〕 いやどうも近頃此マルクス系の経済学の術語でゴタゴタ云われると、私の様な旧弊頭ではすぐゴタゴタ不得要領に終るのです。

〔主〕 それでは私が代かわつて申し上げましょう。あなたは嘗て施療しかうしてやつた患者から一本も年賀状をよこさなかつたり、彼と道であうても顔をそむけて時候の挨拶あいさつもしなかつたらどう思います。

〔客〕 それは口に出して云わない迄も、矢張やはり恩知らず義理知らずだと不快をおぼえるでしょう。

〔主〕 まあそれがブルジョア社会の人情の自然でしょうな。

〔客〕 それじゃあ、先生の未来社会に於ける医者はどう考えるべきでしょう。

## 仁術を施す医師の気位

〔主〕そこで出てくるのが例のフランス革命の時の標語で「人の上に人を造らず」という所です。仁術を行うと自覚を抱いた医師が施療を試みた末、一種の優越感を感じたとします、又同時に恩恵を施したと後々迄もおぼえて居るとします。

〔客〕「とする」という仮定でなくて、実際そう感じたりおぼえたりして居るのですわい。

〔主〕よろしい。そういう気持ならば、あなたは少なく共自分の頭の中だけでも、自分は恩恵を他に与える余力のある優者だ、先方は自分より恩恵を授かった劣者だと、まず一人ぎめして居る。即ち「人の上に人を造ろう」とする観念的自慰だともいうていいでしょう。

〔客〕なる程、そう突きとめると結局そうですなあ。

〔主〕併し其気持は、所謂武士道精神の高潔な所で、よしんば封建的であり又時代錯誤であるにしても、我々青年は尊敬します。殊に一方より見れば「せねばならぬ」の最小限を行う丈で満足するのではなく、更に人として「なすべき」事は強いられず共やつて見せるという積極道徳でもあり、又ニーチェの語を以てすれば「奴隷道徳」を捨てて「超人の道徳」を奉ずる者だと云うてよろしい。

〔客〕いかにも、私の様な旧弊な考えでも、云い現わし方次第で新式といおうか、ハイカラな感じがしますなあ。

〔主〕そこへ以て来て、令息や私の考えは医者が病人を治療するにつけ、或は学者が素人に助言するにつけ、恩を施すの。恩を受けるのと。一種の君主対奴隷の関係を思い出させる様な感じを持つ込む必要は更



に無い、というんです。もう少し具体的に云うならば、いかに学問上得る所があったとはいえ、あなたの様な白髪の老人が私の如き青二才の所へきて、先生先生と頭を下げられる事は、私にとって頗る気持の悪い事だというんです。

〔客〕ではどうすればいいのですか。

〔主〕対等でオジギも敬語も節約してザックバランにやった方がいいだろう位の所です。

〔客〕まあ用語や敬称はお互に習慣の問題で、話をして見ればうちの息子同様親しみを感じるあなたでも、矢張其著書を読んで教えられる所があったら、先生と呼ばぬと私の昔風の頭が承知しませんのじゃ。

〔主〕用語位はどうでも宜しい、お互に対等関係だという私の気持がお分りになりさえすれば。そこで未来社会の問題なのですが、私共の念頭にすぐ出てくるのは此「社会」という全体、即ち我々自身を考へるにしても其全体に対する関係なのです。

〔客〕ハハーン、例の大機関に於ける歯車のギザ銘々に於ける如しという譬えですな。

〔主〕屢々此譬えは個性を認めない唯物主義をまるだにしたものだど非難せられたり、或は衆愚を嘲着する為の近代的専制主義の呪文などと悪評されますが、それは我利我利主義、一名個人主義の崇りを受けたアタマのせいばかりでしょう。

### 歯車のギザのたとえ

〔客〕併し私は頭が古いせいか、天下国家を云々し或は世界人類を口にする度に「矢張心の底には俺が居なければ天下闇という気持が抜切らぬのですが。

〔主〕いや無理も無い事です。社会主義運動の中の闘士でさえ、「俺が俺が」気分がぬけなくて、随分色々面倒めんどうが起きて居る当節の事ですから。

所で私共銘々めいめいが其歯車のギザ一つだと考えても、決して無情な金属塊だと卑下した訳でもない。歯車の歯一つがこぼれても他の歯車と食いあわぬ事となり、其まますれて一時全機関の運転がとまる事もあるから、歯車銘々めいめいが「俺がなければ工場が闇」と考えて居たつて差支さしつかえは無いわけです。

〔客〕私が今此処ここに長居しておれば、留守中に病家から電話が掛つてきてもダメだという程度でね。

〔主〕左様左様、一寸困るがすぐ帰らぬとあれば、どこか外へ電話を掛けて貰もらうてもよいし、機械の歯車の故障でも歯車を新調すればすぐに動き出すのです。

〔客〕レーニン没後のロシアの如ごとくですか。

〔主〕それぞれ、グラツとくる。例えば原敬没後の政友会や、現在目前にドガチャガして居る加藤高明の没後の憲政会の如ごとしですな。

〔客〕所が最近ロシアの内紛はどうです。

〔主〕ロシアと政友会、憲政会とを同一視するのが、考え方の土台から違う所じやありませんか。論より証拠、利に集る事砂糖に対する蟻ごもの如ごとき、そんなじよそこのウゾウムゾウのざまと、中心人物が変わっても依然グングン進んで行く大世帯と、比べてごらん下さい。昔風の英雄崇拜の時代が過ぎ去った事はわかりでしょう。

〔客〕件せがれでもそう繰返して申すのですが、こっちは矢張やは旧式の頭でともすれば「英雄豪傑」とか「偉人出でよ」とか考えたがるのです。

〔主〕だから今の官僚政治家が怖がつて居る大衆運動に対しても、幹部を買収したり陥れたり迫害したりする。いわば自分達の団体と同じ様に少数幹部を狙い打ちさえすれば、それに従う面々は烏合の衆だから蜘蛛の子散らすが如くチリジリバラバラになるだろうと作戦する。そして又初期の労働組合の如く、「文学青年クラブ」と相去る事遠くない。「主義者団体」の如く、至って子人数が親分子分という風の中世紀的關係で寄り集った集団に対してなら、此戦術は極く有効であったのです。

〔客〕つまり急所の一突きというやり方ですか。

〔主〕所が世帯が小さければその急所だつて、一突きもできる。団体も小さく幹部の数も少ない中は一寸「一夕の飲を尽くし御高見を拝聴致度」との招待で「某所に会合」したらすぐ様「肝胆相照らす」事もできたでしょう。つまり侍大将をねらい打ちすれば、あと陣笠はチリジリバラバラになれば解決するという公式で、事は簡単に運んだ。即ち圧迫する方も反抗する方も共に、急所をねらうやり口で、上からは脅迫投獄、買収懐柔で臨めば、下からも矢張暗殺や其他のテロリズムで応ずるといふ戦法であつたでしょう。

〔客〕それが今じゃ行われぬというのですか。

〔主〕いや現に行われて居ますけれ共、段々それに代る戦法が現れつつある。即ち昔のダリウス王のフランクス、それからジンギス汗の円陣、ひいては歐洲大戦（第一次世界大戦）の二重、三重の塹壕戦に及ぶ変化は、つまり攻撃防禦共に特別な急所を作らぬよう、一所の弱点から味方の総崩れにならぬように用心して持ちつ持たれつであつても、不死身なアキレスの踵やジグブリッドの唯一の急所の様な物を精々作らない様につける。よしんばそんな急所があつても精々敵に気取られぬようにしておき、弱点をつかれても直ぐ補欠ができるようにしてあるでしょう。

〔客〕なる程、大隊長が倒れたら先任中隊長がすぐ代るといふ風にですな。

〔主〕その調子で此頃の労働争議の様に組合の幹部が一網打尽の後に、又第二線から補欠の闘士が出てくる。それをやっつければ又あとから出てくる。結局弱い労働者でも数があつてそして組織さえあれば之を圧迫する少数者は結局敗北する。つまり階級戦にも組織的な集団戦術が行われる様に形勢が變つてくると。無訓練の者がテンデンバラバラに「ヤアヤア遠からん者は音にも聴け」なぞと云うて居ると却つて邪魔になるといふ始末になってきました。

廻れ右、そして我こそは清和天皇何代の末孫

〔客〕そうすると、施薬施療を道楽として居る私なんかその「近くばよつて目にも見よ」の方ですかね。

〔主〕お気の毒ながら、まあそうですな。令息はどういってます。

〔客〕矢張やはりそういう風に申します。あなたは仁術にんじゆつ仁術にんじゆつというが、取る金を儲けて片手間の施療ならやる事もできる。併し無産者の施療のみを専門としたら、済生会か慈善院の医員になる方が精力をそれに集中する事ができる。そのとき私わたしがなつたらそうそう威張いばる事もあるまい。所で受取る報酬はどうするのか。仁術にんじゆつなら無給で永代働くのが徹底するんじゃないかというんです。

〔主〕それじゃ仁術は徹底しても、親たるあなたが自分のむすこに永久にスネをかじらせ続ける丈の余裕がある場合に丈、実行できるわけで、大家のボツチャンだけがお道楽にやつて見せるんですな。

〔客〕まあそんな事に帰着します。私なんかそこ迄論理を徹底させずに、相当に儲ける口はそれとして保留しておいて、できた余裕で以つて貧乏人の滞とどつた葉価を棒引してやる位が関の山ですな。

〔主〕あなたは先手を打って棒引するが、因業な医者が一々それを取立てようとしても、病家へ執達吏を差向けるわけに行きませんまい。

〔客〕そこは、丁度料理屋、宿屋などの客商売で無銭飲食を始末して呉れた警官をねぎらい、或は無断広告をしたイカサマ新聞記者にも帳尻をあわせる為、毎年いくら切詰めても若干の棒引をしなければならぬ様に、私共町医者で父祖代々開業してゐる者には免れられぬ義務ですな。

〔主〕併し大都市に新しく開業した医学博士共なんか、そんな負担はありますまい。

〔客〕それを切抜ける為に色々たくらんで居るらしいので、貧乏人が呼びにきた時にタダの往診が嫌さに居留守を使うとかはまず普通ですが、之だつて露骨にやつたら医師法に触れますからな。

〔主〕そうすると歯抜き屋松井源水時代の様に、患者の身なり次第で初診料や薬価に色々融通を利かすといひ。ドイツ、オーストリアあたりでも此式を堂々と実行して居る大家もある様ですな。

〔客〕出せる金持からウンと取立てて、一方無産者には無料で施療する。丁度鼠小僧次郎吉のやり方をうまくすればいいのですが、大抵の医者は初めの事だけやつて、あとの方はヌキにします。

〔主〕それで臈をたてたり妾宅をたてる大家もできる次第ですな。

〔客〕つまり医者は金儲けの手段なのです。まず学位をとり開業して若干年、其土地のブルジョア倶楽部に入会して顔も広くなれば、政治運動に手を出すと、一種の公式が定まって居ます。

### 後藤、北里が医師の理想

〔主〕なる程、貴族院議員男爵北里柴三郎や金杉英五郎がその立志伝の目標となるおけですか。

〔客〕それがですて、表看板だけだといいが、子供が中禅寺湖に飛込んだり、娘が猫イラズ（殺鼠剤の名称）を呑んだりし易やすくて、困り物です。

〔主〕併しかしそんな「不肖の子」でなくて、あなたのとこの様に後つぎも秀才だとすると……

〔客〕秀才か鈍才か知らぬが、之も活躍が過ぎるので、時々警察の御厄介で困る。つまり婦人雑誌の御世話にならなければ警察の高等係と知り合いになる。あなたは「秀才」だとおだてたつて、そんな「秀才の親」になつて見れば……

〔主〕まず第一にあなたが北里、金杉の如ごとき金持になれなかつた事は確かである。

〔客〕その通り、だから此処こゝへきて医界ウツプンの条々を申し上げて、不平を洩してゐるだけの事に終るのです。所が倅せがれがいうのに、自分は最高学府に学ばせて貰もらうた、卒業した後何年学校に残つておれば、自おのずから学位もとれる事だろう、其間は無論自活はできないから、堂々とあなたのスネをかじる積りですと。

〔主〕積りがあるうがなかるうが、そうするより外に仕方ありませんね。

〔客〕それからどうするかと問うと、自分は決して北里、金杉の亜流になる事を目標としない。そして又第二の後藤新平となる事を理想としない事は勿論もちろんである。唯一個の熟練労働者として社会の要求に従うて自分の修得した技能を發揮させるを希望とするんだというのです。

〔主〕そうすると、結局あなたの様に仁術にんじゆつを一般民衆に施してやるんだと一種の先覚者たる気持を抱く事がなくなつて、寂さびしいのですか。殊ことに優越感もなくすべき事でもあり……

〔主〕どうも旧時代に人となつた私には、其辺の気持がピタツときません。成程患者と医師を対等の位置におくという事は、あなたの前にも申された「人の上に人を造らず」という趣旨にあてはまりますけれ

共、どうも余り考えが新しすぎてね。

### 自由思想家の信念

〔主〕それは無理ありません。令息なり又私共にしても、無産大衆で以て作られて居る人類社会の向上を図る為には、分相応の労力を捧げようとする時、その心の中には一種の宗教心ができて居ります。

〔客〕立身出世の役には少しも役に立たぬ事、損はあつても一文の徳にもならぬ事、それをやって官憲の圧迫を受けるわ、馬鹿な親族知人に毛嫌いされるやら、それを押切つて進まれる諸君の熱誠には感心せざるを得ません。丁度昔の殉教者を見るような気持がしますな。

〔主〕所が其殉教者が怪しいんです。天晴れ純真な新時代のプロレタリア・イデオロギーを自分の内に貯えて居る積りでも、矢張ブルジョア根性がチヨクチヨク出てきます。そのブルジョア根性でもいい意味での君主気分、つまりあなたが先覚者として仁術を以て天下に恩恵を及ぼそうと志されるような気持でなく、人の美を何とか彼とかいうて傷つけて悦びたい、人の美点をあげず、興味本位にアラ探しして快哉を叫びたがるブルジョアの奴隷根性が、そこここに首を出すのは実にお恥ずかしい次第です。

〔客〕いやお互に「根性」と骨身にしみこんで居るのですからな。其点でまず私なんか局外に立つ積りですが、観察する時に余り触れ出しの看板に拘泥しない事ですな。

〔主〕初期の所謂「プロレタリア文芸」に従う文士の「ブルジョア根性」みたいいでしよう。所で話を又医師の立場に戻したいのですが、その新社会に於ける医師は、即ち其社会の各員の健康を維持する為の監督技師とすれば、いわば社会という一大機械の油差したとも思う事ができます。

〔客〕 成程ね、なるほどそうすると優生学を研究する学者は次に作ろうとする機械の各部分の設計をやり、併せて製作の始終を指揮する者ですな。

〔主〕 さあ其たといへば余りに人格を無視する様ですが、兎に角医者でも優生学者でも、自身が其社会と  
いう機械の一部分であり、同時に其機械全体の構造と各部分の特質や機能に十分精通した者即ち熟練工でなければならぬわけです。そこで、今の世の中では所謂「労働貴族」という奴が、自分は永年技術に没頭して他人に勝れた経験を得た、従つて工場でなくてはならぬ人間だとして優遇されるから、とても氣位が高くなり、他の不熟練労働者を見下し易い事がある。

〔客〕 丁度医者が開業する迄に久しく修業せねばならぬから、必然社会に出ても上位を占める特権があると信ずる様にですか。

〔主〕 学者の頭が高いのも、同じ氣持です。無産階級の中でも交通労働者の多くが、俺達は最低限で高等小学卒業の学力を具えて居るから、他の一般労働者よりも乗客の中の腰弁（日々弁当を持参して職場に出勤する安月給取）位はやりこめる資格があるだけでも、えらいと思ふ様なものですな。

〔客〕 同じ新聞記者でも大新聞社の社員はヘッポコ新聞の記者を見下すようなものですか。

〔主〕 見下さなくても、何だか軽蔑される様に卑下する氣分が一方に起る事もあります。

〔客〕 官学出と私学出とが同会社に勤めてる時みたいにですか。

### 氣位の違つ事を撲滅する法

〔主〕 そういふ風な一方の高慢な事と、他方に卑しいヒガミ根性の存する事は、つまり教育上に於て今



日のブルジョア社会は極めて機会不均等な為です。即ち適材適所でない為に起るのだから、今もし人の性能調査が科学的に行われ、之と同時に教育制度の根本から変えて、金がありさえすれば馬鹿息子でも悠々と大学でゴロついて居られる、一方無産者の秀才は指を銜くわえて傍観しなければならぬという風な事をなくすれば、今理由正しからぬ反目をなくせる筈はずです。

〔客〕所がそんな「筈はず」が実現する迄随分暇が掛るでしょうな。

〔主〕無論それは我々人類の努力次第です。求めなければ与えられよう筈はずはない。小乗仏教の地獄極楽の教えを信ずる善男善女みたいに、極楽浄土に成仏じょうぶつしたら蓮はすのうてなの上でねころんで居られる様な、虫のいい夢物語じゃありませんね。

〔客〕でも所謂「主義者」の中でも呑気のんきな連中は、例の〇〇伏字(命)革さえやってくれば、彼等の極楽浄土は実現されるものと信じて居るのと違いますか。

〔主〕どうしてどうして、その〇〇伏字(命)革を無産者の手でやりおさせた労農ロシアの憲法に「働かざる者食うべからず」とある通りで、なまけ者の為の福音ではないのです。

〔客〕そこで、そうなった時は医者たは「大家国手」でなく、唯人の命をあずかる熟練工にすぎないとなるんですな。

〔主〕「に過ぎない」といわれると何だか不服らしい口振りですな。

〔客〕そこが頭の古いせいで、「労働者」とか「熟練工」だと聞くと、格が下るといおうか風韻を失うというか、残念な気持がします。併しかし又一方では「労働は神聖」の句も思い出しますけれ共ども……

〔主〕所が其時がきたら、つまり働かずして他人の労働の結果に寄生する生産的人物が整理されてし

まう筈だから、誰も彼も皆応分の労働を行う本当の人間に立戻る次第で、特に労働者なるが故に誇るべき理由が消滅してしまうのじゃありませんか。

〔客〕成程熟練工、不熟練工という機能も適材適所を得るとなれば、結局各々天賦の性能を發揮する事であるから、今更優劣を論ずると、結局胃の腑と脳髓が相争うて俺の方がえらい、いや俺の方がという様になりますね。

〔主〕だから自然医者がえらくて患者が卑しいとも云われない事になります。又労働者として正当な労働を受ける事当然ですから、決して辞退する必要はない。つまり医者成金もできず、そうかといって又回収不能の薬代や診察料、往復車賃などを棒引する必要もない社会を作りたいというのです。どうです、之が危険思想ですかね。

〔客〕さあ、金儲けができれば仕事をやる元気もない、勲章年金がつかなければ戦争商売もこわい、華族にして貰うのでなければ学校を建てないという連中の多い今の世の中では、矢張危険思想でしょうな。兎に角一朝一夕であなた方の理想は実現しませんぞ。

〔主〕それは重々覚悟して居ますから、私も性教育は施し産児調節を宣伝しよかというのです。

### 今日のむすび

〔主〕扱て今日は意外の長談義になりました。忙しい中を態々お越し下さって、肝腎の産児調節にも触れないで、未来社会の医師の心得なんか、ユートピア物語を申し上げて。

〔客〕いや結構でした。メスと聴診器の世界から、広々とした野原に出て浩然の氣（俗事から解放され、屈託のない心境）を

養う気持になりました。第一にうちの件せがれの考えてる気持が段々ハッキリしてきた様に思います。殊ことに医師が一労働者だという解釈は、私には余り新し過ぎて吞のみこ込めませんが、兎とに角糞かく、尿、痰、つぼの如ごとき排泄物を取扱とうて其あづく火葬場に送り込むという坊主隠おんぼしの仲間たる仕事は、その交換条件として多少共金儲かねもちけができるとか、或は社会に出て「先生」と奉くつて呉くれるとかを、口銭としてやってるという今の此根性がいかにぬ事だけは、ぼんやり乍ながら吞のみこ込めたようです。

〔主〕そうです、その所が医師の産児調節に対する態度を決する根底のある点で、その腹がきまらぬというと技巧の末節を論じたって何もなりませんからな。

〔客〕各自の職業が特権でもなければ、強制された義務でないという考えになれば、どうなりましょうか。

〔主〕自分のすきな事を自分が其事を行い得る資格を具そなえた人が、自由にやるのでしよう。

〔客〕雲みねが岫ごとを出でつる如ごとき無心のさまですな。さあそうすれば医師は兎とに角かく、肥とりや溝とさらいをする人間が出てくるでしよう。

〔主〕それに就ついて色々面白い事もあるのですが、此次に譲りましょう。今度はユートピア物語でなくて、未来社会の理想を目標として現実はどういう事ができるかの問題、例えばドイツあたりで手を着け掛けて居るクランケンカッセ即ち疾病保護と医業国営を折衷した様な試み、その中へ産児調節はすぐ入ってくるのですし、もし来られたら是非もう一度来て下さい、忙しいでしようが、今日の話はほんの序論なのですから。

〔客〕エエぜひ寄せていただきます、お邪魔でなければ。

〔主〕お帰りになつたら令息よろに宜よろしく。

〔客主〕  
さようなら。

(一九二六年二月二十八日)  
『性と社会』十三号)

- 山本宣治著「産児調節問答」(『山本宣治全集』第三巻、汐文社、一九七九年二月)所収。
- 旧かな遣いは新かな遣いに、旧漢字は新漢字に改めた。
- 読みやすさのために、適宜振り仮名をつけた。
- 理解を助けるために割注をつけた。
- 外国の地名はなるべく通行のカタカナ表記に改めた。
- PDF化には`LATEX 2ε`でタイプセッティングを行い、`dvipdfmx`を使用した。

科学の古典文献の電子図書館「科学図書館」

<http://www.cam.hi-ho.ne.jp/munehiro/sciencelib.html>

「科学図書館」に新しく収録した文献の案内、その他「科学図書館」に関する意見などは、「科学図書館掲示板」

<http://6325.teacup.com/munehiroumeda/bbs>